

平成30年度

(2018)

基盤教育科目履修案内

全学共通プログラム履修案内

茨城大学
全学教育機構

茨城大学 ディプロマ・ポリシー

茨城大学の教育目標は、変化の激しい 21 世紀において社会の変化に主体的に対応し、自らの将来を切り拓くことのできる総合的人間力を育成することである。

そのために茨城大学の学生が卒業する時に身につけているべき能力を、以下に示す 5 つの知識及び能力で構成されるディプロマ・ポリシー（卒業基準）として定める。これら 5 要素の比重は分野毎に異なるが、茨城大学を卒業する学生は、どの分野で学んだとしてもこれらの知識・能力を備えていることが必要である。

①（世界の俯瞰的理解）

自然環境、国際社会、人間と多様な文化に対する幅広い知識と俯瞰的な理解

②（専門分野の学力）

専門職業人としての知識・技能および専門分野における十分な見識

③（課題解決能力・コミュニケーション力）

グローバル化が進む地域や職域において、多様な人々と協働して課題解決していくための思考力・判断力・表現力、および実践的英語能力を含むコミュニケーション力

④（社会人としての姿勢）

社会の持続的な発展に貢献できる職業人としての意欲と倫理観、主体性

⑤（地域活性化志向）

茨城をはじめとする地域の活性化に自ら進んで取り組み、貢献する積極性

別に配付されている次の冊子も適宜参照してください

○いばだいガイドブック

大学内の各種相談窓口、学生生活における安全・健康管理、経済支援（奨学金や授業料免除等）、大学施設の利用等に関することはこの冊子で確認してください。

○茨城大学での学修の手引きー「大学入門ゼミ」から始めようー

大学での学修や注意事項、授業を受けるにあたってのポイント、茨城大学の教育課程・制度、図書館の活用法等についてはこの冊子で確認してください。

平成30年度 茨城大学学年暦

事 項	月 日	履修登録手続等
学 年 開 始	4月 1日 (日)	【第1/第2クォーター・前学期・通年開講科目】 ○履修申告票提出期間 4月10日(火)～16日(月) ・前学期・第1クォーター開講科目の履修申告票提出期間 ・通年開講科目の履修申告票提出期間 ○履修登録期間 (Dream Campus にて) 4月10日(火)～23日(月) ・前学期・第1/第2クォーター開講科目の履修登録期間 ・通年開講科目の履修登録期間 ○履修登録修正期間 (Dream Campus にて) 4月24日(火)～26日(木) ・前学期・第1/第2クォーター開講科目の追加・削除期間 ・通年開講科目の追加・削除期間 ○履修登録修正期間 (申請書にて) 5月7日(月)～11日(金) ・第1クォーター開講科目の削除期間 ・前学期・第2クォーター開講科目の追加・削除期間 ・通年開講科目の追加・削除期間 ○履修申告票提出期間 6月11日(月)～15日(金) ・第2クォーター開講科目の履修申告票提出期間 ○履修登録期間 (Dream Campusにて) 6月11日(月)～15日(金) ・第2クォーター開講科目の履修登録期間 ○履修削除期限 (申請書にて) 7月 6日(金) ・ <u>通年開講科目・第2クォーター開講科目の削除期限</u>
入 学 式	4月 5日 (木)	
各学部履修ガイダンス等	4月 6日 (金)	
	4月 9日 (月)	
留学生ガイダンス	4月 9日 (月)	
●前学期授業開始	4月10日 (火)	
◆第1クォーター授業開始	4月10日 (火)	
新入生定期健康診断 (工学部Bコースを除く)	4月12日 (木)	
	4月18日 (水)	
創 立 記 念 日	5月31日 (木) (授業実施)	
◇第1クォーター授業終了	6月 9日 (土)	
◆第2クォーター授業開始	6月11日 (月)	
○前学期授業終了	8月 8日 (水)	
◇第2クォーター授業終了	8月 8日 (水)	
夏 季 休 業	8月12日 (日)	
	9月20日 (木)	
後 学 期 開 始	9月21日 (金)	【第3/第4クォーター・後学期開講科目】 ○履修申告票提出期間 9月28日(金)～10月4日(木) ・後学期・第3クォーター開講科目の履修申告票提出期間 ○履修登録期間 (Dream Campus にて) 9月28日(金)～10月11日(木) ・後学期・第3/第4クォーター開講科目の履修登録期間 ○履修登録修正期間 (Dream Campusにて) 10月12日(金)～16日(火) ・後学期・第3/第4クォーター開講科目の追加・削除期間 ○履修登録修正期間 (申請書にて) 11月5日(月)～9日(金) ・第3クォーター開講科目の削除期間 ・後学期・第4クォーター開講科目の追加・削除期間 ○履修申告票提出期間 12月3日(月)～7日(金) ・第4クォーター開講科目の履修申告票提出期間 ○履修登録期間 (Dream Campusにて) 12月3日(月)～7日(金) ・第4クォーター開講科目の履修登録期間 ○履修削除期限 (申請書にて) 1月11日(金) ・ <u>第4クォーター開講科目の削除期限</u>
●後学期授業開始	9月28日 (金)	
◆第3クォーター授業開始	9月28日 (金)	
◇第3クォーター授業終了	12月 1日 (土)	
◆第4クォーター授業開始	12月 3日 (月)	
冬 季 休 業	12月27日 (木)	
	1月 5日 (土)	
授 業 開 始	1月 7日 (月)	
○後学期授業終了	2月 9日 (土)	
◇第4クォーター授業終了	2月 9日 (土)	
春 季 休 業	2月24日 (日)	
	3月31日 (日)	
卒 業 式	3月26日 (火)	
学 年 終 了	3月31日 (日)	

(注) 1. 5月29日(火)は、「振替金曜日」として金曜日の時間割で授業を行う。
 2. 5月30日(水)は、「振替月曜日」として月曜日の時間割で授業を行う。
 3. 1月15日(火)は、「振替月曜日」として月曜日の時間割で授業を行う。
 4. 1月30日(水)は、「振替金曜日」として金曜日の時間割で授業を行う。

平成30年度 履修カレンダー

(前学期)

日	月		火		水		木		金		土	事項
	クォーター 開講 講義 回数	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 講義 回数	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 講義 回数	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 講義 回数	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 講義 回数	セメスター 開講 講義 回数		
1	2		3		4		5	入学式・コミット・ 全体ガイダンス	6	ID等配付、ガイダ ンス・履修相談	7	4/1 学年開始・前学期開始
8	9	ガイダンス 履修相談	10	① ①	11	① ①	12	① ①	13	① ①	14	4/6、9 各学部履修ガイダンス等 4/5 入学式
15	16	① ①	17	② ②	18	② ②	19	② ②	20	② ②	21	4/10 前学期・第1クォーター授業開始 4/10 ~4/23 履修登録期間
22	23	② ②	24	③ ③	25	③ ③	26	③ ③	27	③ ③	28	4/24 ~4/26 履修登録修正期間 4/26 第1クォーター開講科目の追加締切
29	30											
			1	④ ④	2	④ ④	3		4		5	
6	7	③ ③	8	⑤ ⑤	9	⑤ ⑤	10	④ ④	11	④ ④	12	5/11 前学期・通年開講科目の追加締切 5/11 第1クォーター・前学期開講科目の 削除締切
13	14	④ ④	15	⑥ ⑥	16	⑥ ⑥	17	⑤ ⑤	18	⑤ ⑤	19	
20	21	⑤ ⑤	22	⑦ ⑦	23	⑦ ⑦	24	⑥ ⑥	25	⑥ ⑥	26	
27	28	⑥ ⑥	29	⑦ ⑦ (金曜 授業)	30	⑦ ⑦ (月曜 授業)	31	⑦ ⑦				5/29 振替金曜日 5/30 振替月曜日
									1	予備日	2	6/1 予備日
3	4	⑧ ⑧ 試験	5	⑧ ⑧ 試験	6	⑧ ⑧ 試験	7	⑧ ⑧ 試験	8	⑧ ⑧ 試験	9	6/9 予備日
10	11	① ⑨	12	① ⑨	13	① ⑨	14	① ⑨	15	① ⑨	16	6/11~6/15 第2クォーター開講科目 の履修登録期間
17	18	② ⑩	19	② ⑩	20	② ⑩	21	② ⑩	22	② ⑩	23	
24	25	③ ⑪	26	③ ⑪	27	③ ⑪	28	③ ⑪	29	③ ⑪	30	
1	2	④ ⑫	3	④ ⑫	4	④ ⑫	5	④ ⑫	6	④ ⑫	7	7/6 第2クォーター・通年開講科目 の削除締切
8	9	⑤ ⑬	10	⑤ ⑬	11	⑤ ⑬	12	⑤ ⑬	13	⑤ ⑬	14	
15	16		17	⑥ ⑭	18	⑥ ⑭	19	⑥ ⑭	20	⑥ ⑭	21	
22	23	⑥ ⑭	24	⑦ ⑮	25	⑦ ⑮	26	⑦ ⑮	27	⑦ ⑮	28	
29	30	⑦ ⑮	31	予備日								7/31 予備日
					1	⑧ 試験	2	⑧ 試験	3	⑧ 試験	4	
5	6	⑧ 試験	7	⑧ 試験	8	予備日	9		10		11	8/8 予備日
12	13		14		15		16		17		18	8/12~9/20 夏季休業
19	20		21		22		23		24		25	
26	27		28		29		30		31			
											1	
2	3		4		5		6		7		8	
9	10		11		12		13		14		15	
16	17		18		19		20					9/20 前学期終了

目 次

第 I 部 基盤教育科目の履修

1	茨城大学の教育課程	
1-1	教育課程の科目構成	1
1-2	単位制度	2
1-3	卒業に必要な修業年限及び単位数	2
	(1) 修業年限	
	(2) 各学部の卒業に必要な最低修得単位数 (履修基準)	
1-4	学年暦と 2 学期クォーター制	4
	(1) 学年暦	
	(2) 2 学期クォーター制	
	(3) iOP クォーター	
1-5	授業時間	5
2	基盤教育科目の履修	
2-1	基盤教育の目標	6
2-2	基盤教育科目の概要	6
	(1) 入門科目	
	(2) 共通基礎科目	
	(3) リベラルアーツ科目	
2-3	基盤教育科目の履修上の一般的注意	11
	(1) 「大学入門ゼミ」の履修	
	(2) 「茨城学」の履修	
	(3) 「プラクティカル・イングリッシュ」の履修	
	(4) 「情報リテラシー」の履修	
	(5) 「心と体の健康」の履修	
	(6) 「科学の基礎」の履修	
	(7) 「異文化コミュニケーション」の履修	
	(8) 「ヒューマニティーズ」・「パフォーマンス&アート」の履修	
	(9) 「自然・環境と人間」の履修	
	(10) 「グローバル化と人間社会」の履修	
	(11) 「ライフデザイン」の履修	
	(12) 各科目に共通の注意事項	
	(13) 入学前の既修得単位と大学以外の教育施設等における単位の認定	
	(14) 休学期間中に他大学で修得した単位の認定	
	(15) 短期語学研修に基づく基盤教育科目の単位の認定	
	(16) 編入学生における本学入学前の大学等の単位の取扱い	
	(17) 教育職員免許状取得に必要な事項	
2-4	休講・補講	23
	(1) 休講	
	(2) 補講	

(3) 休講・補講の連絡方法	
(4) 自然災害に対する休講措置	
2-5 保険への加入	24
3 履修科目の申告と登録	
3-1 授業時間割の作成	25
(1) 基盤教育科目の時間帯と専門科目の時間帯	
(2) 学部コード	
(3) 時間割の作成	
3-2 「科学の基礎」の履修希望調査とクラス分け	26
(1) クラス分けの工程	
(2) 「科学の基礎」の履修希望調査の手順	
(3) 履修希望調査マークカードの記入要領	
3-3 「初修外国語」の履修希望調査とクラス分け	28
(1) クラス分けの工程	
(2) 「初修外国語」の履修希望調査の手順	
(3) 履修希望調査マークカードの記入要領	
3-4 履修科目の申告	30
(1) 基盤教育科目履修申告票の提出	
(2) 受講生の調整	
3-5 履修科目の登録	31
(1) 履修科目の登録	
(2) 履修登録の確認	
(3) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)	
3-6 履修科目の申告から登録の完了まで	32
4 試験及び成績評価	
4-1 試験	35
4-2 茨城大学における試験及びレポート作成等に関する留意事項	35
4-3 追試験	36
4-4 成績評価	37
4-5 GPA (Grade Point Average)	37
4-6 再履修	39
4-7 裁判員制度に係わる授業欠席の取扱いについて	39
4-8 成績評価に対する異議申立てについて	39

第Ⅱ部 各学部の履修上の注意

1 各学部の履修上の注意	
1-1 人文社会科学部学生の履修上の注意	41
1-2 教育学部学生の履修上の注意	49
1-3 理学部学生の履修上の注意	53
1-4 工学部学生の履修上の注意	57
1-5 農学部学生の履修上の注意	67

第Ⅲ部 開講授業科目

1	基盤教育科目の構成	7 1
2	注意事項	7 3
3	開講授業科目（授業題目）一覧	
3-1	入門科目	
	・大学入門ゼミ	7 5
	・茨城学	7 9
3-2	共通基礎科目	
	・プラクティカル・イングリッシュ	8 0
	・情報リテラシー	8 9
	・心と体の健康	9 1
	・科学の基礎	9 5
3-3	リベラルアーツ科目 （多文化理解）	
	・異文化コミュニケーション（初修外国語）	9 9
	・異文化コミュニケーション	1 0 7
	・ヒューマニティーズ	1 1 0
	・パフォーマンス&アート	1 1 2
	（自然と社会の広がり）	
	・自然・環境と人間	1 1 3
	・グローバル化と人間社会	1 1 6
3-4	全学共通プログラム科目	
	・COC 地域志向教育プログラム	1 1 9

第Ⅳ部 全学共通プログラム

1	全学共通プログラム	
1-1	全学共通プログラムの種類	1 2 0
1-2	全学共通プログラムの履修方法	1 2 0
2	各プログラムの説明	
2-1	グローバル英語プログラム（GEP）	1 2 1
2-2	日本語教育プログラム	1 2 5
2-3	COC地域志向教育プログラム	1 2 9
2-4	地域協創人材教育プログラム	1 3 2
2-5	AIMSプログラム	1 3 4

第Ⅴ部 付録

施設配置図	1 3 8
初修外国語の紹介	1 4 6
学問分野コード・教育プログラムコード一覧	1 5 2

第 I 部

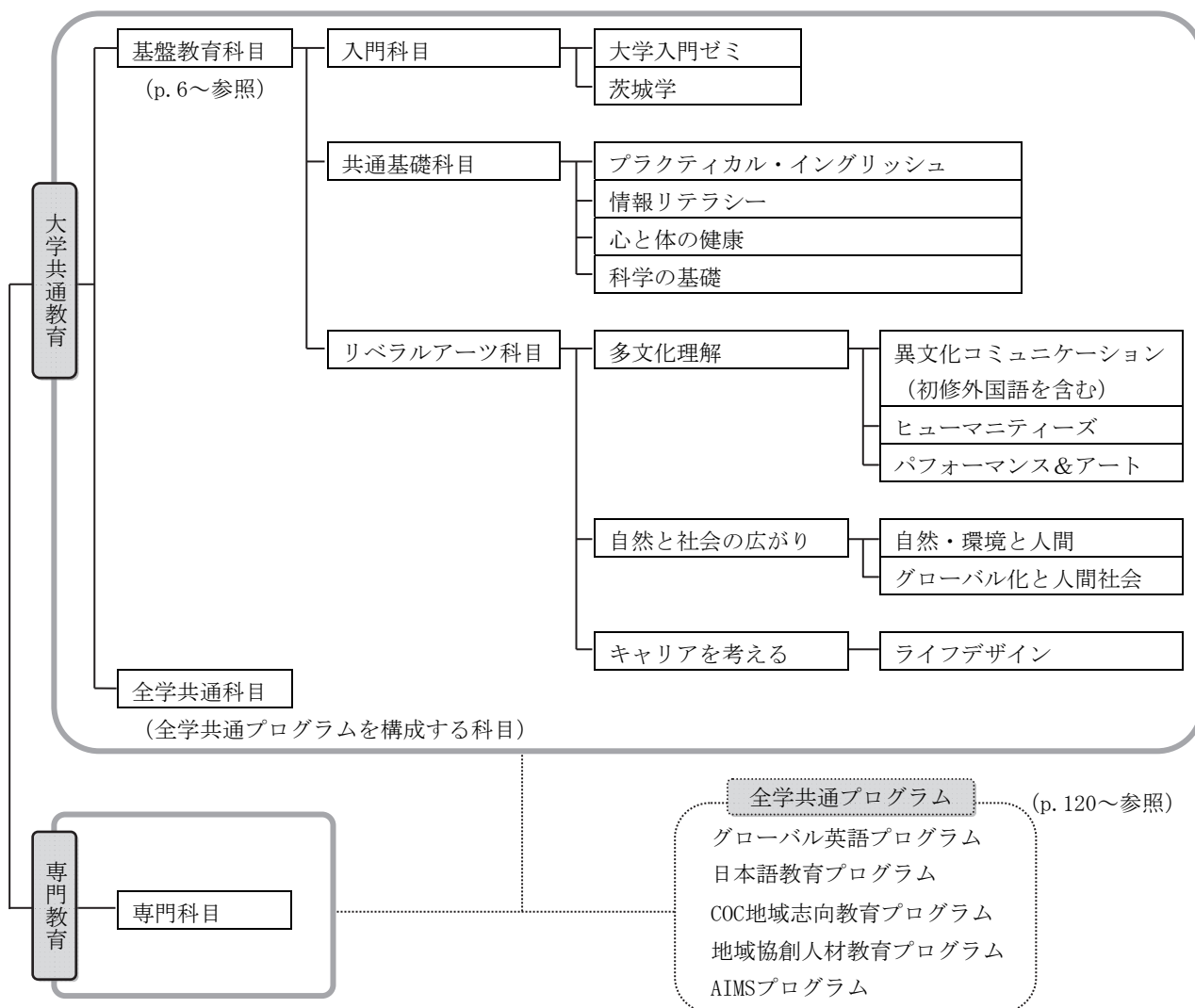
基盤教育科目の履修

1 茨城大学の教育課程

1-1 教育課程の科目構成

茨城大学の教育課程は、大学共通教育と専門教育により構成され、**図1**のように**基盤教育科目**、**全学共通科目**及び**専門科目**から成り立っています。各学部の教育課程を修了するには、一定の年限内に、定められた授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。詳しくは3ページの**表2 各学部の卒業に必要な単位数（履修基準）**を参照してください。

図1 茨城大学における授業科目



基盤教育科目、**全学共通科目**及び**専門科目**は、それぞれ複数の**授業科目**で構成されています。平成30年度に開講される基盤教育科目は、**開講授業科目一覧 (p. 75~)**を参照してください。**基盤教育科目（特にリベラルアーツ科目）**には授業科目名のほかに授業題目がついているものがあります。例えば、リベラルアーツ科目の「ヒューマニティーズ」における、「思想・文学」、「歴史・考古学」などといった名称が**授業科目**です。そして、授業科目「思想・文学」の中で、さらにいくつかの種類の授業が開講されており、その各授業には「変体仮名を読む」や「茨城の方言と民俗」などといった名称がついていますが、これを**授業題目**といいます。

1-2 単位制度

各授業科目には学修時間に応じた単位が定められており、卒業要件等の履修基準は修得すべき単位数によって規定されています。

表1のとおり、1単位を修得するには、大学で行う授業時間に予習復習時間を含めた45時間（2単位の場合は90時間）の学修が必要です。1単位45時間の学修のうち大学で行う授業時間は、「プラクティカル・イングリッシュ」、「異文化コミュニケーション」の「初修外国語」及び「心と体の健康」の「身体活動」については30時間、それ以外の科目は15時間と設定されています。

基盤教育科目の標準的な授業実施形態は、期末試験を除く週1回1学期15回、又は週1回1クォーター8回です。「プラクティカル・イングリッシュ」と「初修外国語」のなかには週2回1学期30回で実施されるものもあります。1回の授業はどの科目でも90分で行います。

表1 授業科目と単位数

授業科目等	単位数	授業回数	学修時間	
			授業時間	予習復習時間
プラクティカル・イングリッシュ 異文化コミュニケーション（初修外国語）	1単位	15回	30時間	15時間
	2単位	30回	60時間	30時間
心と体の健康（身体活動）	1単位	15回	30時間	15時間
上記以外の科目	1単位	8回	15時間	30時間
	2単位	15回	30時間	60時間

1-3 卒業に必要な修業年限及び単位数

(1) 修業年限

茨城大学における修業年限は、学則によって次のように定められています。

（修業年限）

第7条 修業年限は、4年とする。

（在学期間）

第8条 在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。

（休学期間）

第28条 休学は引続き1年を超えることができない。ただし、学長が、特別の理由があると認めた者については、更に1年以内の休学を許可することができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、在学年数に算入しない。

(2) 各学部の卒業に必要な最低修得単位数（履修基準）

茨城大学を卒業するには、4年間以上在学し、124単位以上を修得しなければなりません。各学部は、表2に示すように卒業に必要な単位数（履修基準）を指定しています。基盤教育科目については、入門科目、共通基礎科目、リベラルアーツ科目の各科目に示されている最低修得単位数を含み、各学部で定めている必要単位以上修得しなければなりません。

表2の中の**自由履修**は、基盤教育科目、全学共通科目及び専門科目の中から選択して履修する単位です。どの科目を自由履修とするかは、各学部・学科（課程）の指示に従ってください。

表2 各学部の卒業に必要な単位数（履修基準）¹⁾

科目群・科目区分		学部		教育学部	理学部	工学部	農学部	
		人文 社会科学部						
基 盤 教 育 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	2	2	2	2	2	
		茨城学	2	2	2	2	2	
		計	4	4	4	4	4	
	共通基礎科目	プラクティカル・ イングリッシュ	6	6	6	6	6	
		情報リテラシー	2	2	2	2	2	
		心と体の健康	1	2	1	1	1	
		科学の基礎	1	1	2～3 ⁴⁾	6	3	
		計	10	11	11～12 ⁴⁾	15	12	
	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	多文化理解	異文化コミュニケーション	3～5 ²⁾	2	2	2	2
			ヒューマニティーズ	2～3	2	2	2	3
			パフォーマンス&アート		2	2	2	3
		自然と社会の 広がり	自然・環境と人間	2	2	2	2	2
			グローバル化と人間社会	2～3 ²⁾	3	3	3	4
		キャリアを考 える	ライフデザイン	1	1	1	1	1
		計	12	10	10	10	12	
	合計	26	25	25～26 ⁴⁾	29	28		
	専門科目合計		77～79 ²⁾	79～93 ³⁾	86～93 ⁴⁾	88	83～90 ⁵⁾	
	自由履修		19～21 ²⁾	6～20 ³⁾	5～13 ⁴⁾	7	6～13 ⁵⁾	
	卒業に必要な最低単位		124	124	124	124	124	

- 注：1) 履修方法は各学部により異なりますので、**各学部の履修上の注意 (p. 41～)**を参照してください。
 2) 学科により異なりますので、**人文社会科学部履修要項**を参照してください。
 3) 課程、コースにより異なりますので、**教育学部履修要項**を参照してください。
 4) 地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラムは要件が異なりますので、**理学部履修要項**を参照してください。
 5) 学科、コースにより異なりますので、**農学部履修案内**を参照してください。

1-4 学年暦と2学期クォーター制

(1) 学年暦

茨城大学の学年暦は、学則によって次のように定められています。

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を分けて次の2学期とする。

前学期 4月1日から9月20日まで
後学期 9月21日から翌年3月31日まで

2 前項に定める各学期に2つの期間（以下「クォーター」という。）を置くことができる。

3 各クォーターの始期及び終期については、別に定める。

(授業を行わない日)

第11条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 土曜日

(3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第 178号）に規定する休日

(4) 春季休業 2月24日から3月31日まで

(5) 夏季休業 8月12日から9月20日まで

(6) 冬季休業 12月27日から翌年1月5日まで

2 教育研究上必要がある場合は、学長は、前項に規定する休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に規定するもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

なお、1年間の授業可能日は期末試験などの日数を含めて、大学設置基準により35週を確保することとされています（巻頭の平成30年度の茨城大学学年暦及び履修カレンダーを参照してください）。

(2) 2学期クォーター制

本学の授業期間は、前学期・後学期それぞれ16週（15週＋期末試験）にわたって授業を実施する方式（セメスター制）と、各学期をさらに半分に分け、8週で授業を完結する方式（クォーター制）を併用して授業を開講します。

クォーター制は、留学や長期インターンシップなど学外での学びを促進すること、短期間で集中的に授業を実施することも可能にして各授業科目における教育効果の向上を図ること、8週完結の授業科目の設定で履修の選択肢を増やすことなどを目的として導入するものです。

2学期クォーター制のイメージ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前学期						後学期					
ガイ ダ ン ス 等	前学期 授業期間		学外学修にお ける活動期間 (夏季休業)	後学期 授業期間		学外学修にお ける活動期間 (春季休業)					
	第1クォーター 授業期間	第2クォーター 授業期間		第3クォーター 授業期間	第4クォーター 授業期間						

主な授業開講パターン

	授業回数／週	授業期間	単位（※） （一般的な講義）
①	1回	8週（7.5回授業＋期末試験）	1単位
②	2回	8週（15回授業＋期末試験）	2単位
③	2回（2コマ連続）	8週（15回授業＋期末試験）	2単位
④	1回	16週（15回授業＋期末試験）	2単位

※実験・実習・実技及び一部の演習授業の単位数は、講義の半数。

2学期クォーター制では、授業開講パターンは8週完結のパターン（上記①、②、③）と、15週＋期末試験のパターン（上記④）とに分かれます。また、8週完結のパターンには、週1コマ実施（①）、週2コマを異なる曜日で実施（②）、週2コマを連続で実施（③）の3つのパターンがあります。上記のパターンを各々の授業に応じて、教育効果により併用します。

(3) iOPクォーター

本学では、3年次の第3クォーターを学外学修を促進する期間としています。そして、この期間をiOPクォーター（internship Off-campus Program Quarter）といいます。これは、社会から求められる「生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力」を身につけてもらうことを目的に設定する期間です。

この期間に実施する学外学修は、大学が提供する海外での語学研修、国内外でのインターンシップ（短期・長期）、ボランティア活動などの各種プログラムのほか、学生自身が企画・実施するものなど、様々な形態があります。

これらの学外学修を行うに当たっては、基本的に1年次で活動内容を構想し、2年次でより具体的な計画を立て、3年次に実際の活動を行い、事後の振り返りや専門分野への活用を行います。学外学修を通じて4年次又は卒業時にどのような能力等を身につけたいのかをイメージして計画を立てる必要があります。具体的には各年次にわたってクラス担任や指導教員などから指示があります。

この期間に事前事後指導を含む学外学修を行い一定の要件を満たした場合は、それを証明する認定証が交付されます。また、活動の内容によっては単位を修得することもできます。詳しくは別途案内します。

1-5 授業時間

授業時間は90分を一講時とし、次のように各講時の授業時間を定めています。

表3 授業時間

【水戸地区・日立地区（昼間コース）・阿見地区】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第1講時	8:40 ～ 10:10
第2講時	10:20 ～ 11:50
（昼休み / 11:50 ～ 12:40）	
第3講時	12:40 ～ 14:10
第4講時	14:20 ～ 15:50
第5講時	16:00 ～ 17:30

【日立地区（フレックスコース）】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第6講時	17:35 ～ 19:05
第7講時	19:10 ～ 20:40

2 基盤教育科目の履修

2-1 基盤教育の目標

基盤教育科目は、ディプロマ・ポリシー（本冊子の表紙裏を参照。以下「DP」と略します）で定めた5つの能力を全学共通に育成します。

具体的には、「入門科目」と「共通基礎科目」では、DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）及びDP⑤（地域活性化志向）の能力をとりわけ育成します。「リベラルアーツ科目」はDP①（世界の俯瞰的理解）、DP④（社会人としての姿勢）の能力をとりわけ育成します。また、専門教育と連携してDP②（専門分野の学力）の能力育成を担います。

特に、大学教育における初年次教育の重要性に鑑み、学生が学修を続けるために必要な基礎的な知識と技能を修得させること、および教育改革の重点である学生が主体的に問題を発見し、解を見い出していく能動的学修への導き入れに力を注ぎます。

2-2 基盤教育科目の概要

基盤教育科目は次のように「入門科目」「共通基礎科目」「リベラルアーツ科目」の3つに区分されています。さらに、これらの科目群はそれぞれ各科目区分に細分され、以下のような修得目標や内容を備えています。なお、各授業の内容については、シラバス（Web）を参照してください。シラバス（Web）は、茨城大学HP⇒ 在学生の方へ⇒ 授業 シラバス 又はDream Campus で閲覧できます。

(1) 入門科目

大学での学修・生活に必要な事柄を学び、本学で学ぶことへの意欲と地域への関心を高めることを目的とする科目。

【大学入門ゼミ】（p. 11参照）

大学という自由な環境の中で自律的・意欲的な学生生活を行うための知識・技能を身につけ、自らの専門分野を学ぶことに必要な思考力・判断力・表現力を知り、主体的・意欲的な学習の習慣を持つ。

DPとの関係

- ・ DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・ DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・ DP④（社会人としての姿勢）

育成する力

本科目では、以下の3つを育成することを目指す。

- ・ 自律的な学生生活を行う意欲と主体性
- ・ 自らの専門分野（学部・学科等）に関する幅広い知識と俯瞰的な理解の基盤
- ・ 協働的な課題解決のためのコミュニケーション力、思考力・判断力・表現力の基盤

【茨城学】（p. 11参照）

茨城を多方面から幅広く学ぶことを通じて、地域を多角的に捉える視点を養い、地域活性化への意欲を喚起し、課題を協働して解決する力を得る。

DPとの関係

- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・DP④（社会人としての姿勢）
- ・DP⑤（地域活性化志向）

育成する力

本科目では、課題解決のための思考力、多様な人々とのコミュニケーション力、社会の発展に貢献できる意欲、茨城をはじめとする地域の活性化に自ら進んで取り組み、貢献する積極性を涵養する。

(2) 共通基礎科目

大学での学修及び専門職業人に不可欠で基礎的な能力を身につけることを目的とする科目。

【プラクティカル・イングリッシュ】(p. 11参照)

グローバル化が進む中で、世界の多様な人々との協働を可能にする実践的英語能力を身につける。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）

育成する力

本科目では、英語を通じて以下の態度・能力を育成することを目指す。

- ・国際社会、多種多様な文化に対する知識と俯瞰的視野
- ・さまざまな情報やものの考え方に触れ、より総合的・全体的に物事を捉える態度
- ・広く情報を得ることにより、実証的な態度や物事を主体的に判断する能力
- ・専攻する学問と自然、社会および人間のかかわりについての考えを養うための基礎的な英語のスキル
- ・国際化・情報化の社会や職域において主体的に対応し協働できる言語的・社会的能力

【情報リテラシー】(p. 13参照)

高度情報化社会に対応して、情報処理の基本技術を実践的に修得し、情報科学の基礎知識を得て、ネットワーク時代の情報発信と情報評価、情報セキュリティなどの情報に関する倫理を身につける。

DPとの関係

- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）

育成する力

本科目では、情報を整理する力（インプットスキル）と分かり易い文書にする力（アウトプットスキル）を育成する。また、正しい情報倫理に従ったコンピュータの活用能力、大学内及び自身の持つ情報機器の操作能力も育成する。

【心と体の健康】(p. 13参照)

自分の心身の状態への気づきと他者との関係の把握のために有効な基本的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって健康的な生活を共同して営むための基盤を得る。

DPとの関係

- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・DP④（社会人としての姿勢）

育成する力

本科目では、生涯にわたり、健康的な生活を、多様な人々と共同して営むための基盤を育成する。そのために、自分の心身の状態への気づき、および、他者との関係を把握するための基礎力を習得させる。また、自分の心身の課題を把握し、主体的に解決するための能力を育成する。そして、「たくましい茨大生」の育成に資する。

【科学の基礎】（p.15参照）

自然科学の知識と方法の基礎（人文・社会系のための統計学を含む）を学ぶことで、科学的探求のための思考力・判断力・表現力を身につける。また、「科学と倫理」においては、科学の知としての特徴や社会的機能、科学者の社会的役割・技術者倫理について学ぶことで、専門的職業人として活動するための倫理的な基盤を得る。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP②（専門分野の学力）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・DP④（社会人としての姿勢）

育成する力

本科目のうち「理系基礎」「一般基礎」はDP②（専門分野の学力）およびDP③（課題解決能力・コミュニケーション力）を育成することに重点をおく。特に、専門分野の学力の基礎を育成し、課題解決能力の育成に必要な基礎学力を担保することがねらいである。「科学と倫理」はDP①（世界の俯瞰的理解）、DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）およびDP④（社会人としての姿勢）を育成することに重点をおく。

(3) リベラルアーツ科目

世界の広さ、多様性を様々な観点から学ぶことで、グローバル社会の中で自由かつ主体的に生きる力を身につけることを目的とする科目。

○ 多文化理解

【異文化コミュニケーション】（p.15参照）

異なる文化についての多様な知識、また英語以外の言語（初修外国語）を学ぶことで、グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身につける。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）

育成する力

本科目では、以下を育成することを目指す。

- ・世界に住む多様な人々の様々な価値観を認識することにより、世界を幅広く俯瞰的にとらえる力を身につける。
- ・課題解決のためのコミュニケーション力、思考力・判断力・表現力の基盤を身につける。

【ヒューマニティーズ】(p.17参照)

古来、多様な形で形成されてきた人間とその活動についての問いとそれへの答えの集積、およびその現代的姿について知識と俯瞰的な理解を得ることで、人間の知の多様性、奥深さを知る。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）

育成する力

本科目では、以下を育成することを目指す。

- ・人間と多様な文化に対する幅広い知識と俯瞰的な理解を身につける。
- ・古来より蓄積されてきた叡智を踏まえ、現代社会において直面する様々な問題を解決するための思考力・判断力・表現力を養う。

【パフォーマンス&アート】(p.17参照)

スポーツ、音楽、美術、ダンス・演劇等として形づくられている多様な文化について体験的に学ぶことで、人間活動と文化の多様性、奥深さを感じ取る。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・DP④（社会人としての姿勢）

育成する力

本科目では、スポーツ、音楽、美術、ダンス、演劇などの表現方法を理解、実践することで、人間と多様な文化に対する幅広い知識と俯瞰的な理解をもち、他者が何を伝えようとしているかを感じ取り、自らの意思を的確に伝えるための方法を考え、表出していける力をつけていく。

○ 自然と社会の広がり

【自然・環境と人間】(p.17参照)

自然現象の多種多様性と背後の規則性・法則性を厳密に理解しようとする科学知への関心と、自然環境と人間の関わりについての総合的理解を持つことで、自然・環境への幅広い視野を得る。

DPとの関係

- ・DP①（世界の俯瞰的理解）
- ・DP③（課題解決能力・コミュニケーション力）
- ・DP④（社会人としての姿勢）

育成する力

本科目では、科学技術と自然・環境および人間との関わりについてグローバルな視点から考察し、現在の人間をとりまく社会や環境における様々な課題を解決するための基礎的な力を育成する。

【グローバル化と人間社会】(p. 18参照)

グローバル化が進む社会の仕組みや様々な出来事について関心を持ち、それらについての社会科学的分析を幅広く知ること、現代社会に生きる人間に必要な問題意識を身につける。

DPとの関係

- ・ DP① (世界の俯瞰的理解)
- ・ DP② (専門分野の学力)
- ・ DP④ (社会人としての姿勢)

育成する力

本科目は、グローバル化しつつある国際社会に対する理解を深め、地域社会が直面する具体的課題に主体的かつ意欲的に取り組み、社会科学の基礎学力、思考力、判断力、表現力を育成し、課題解決能力を育む。

○ キャリアを考える

【ライフデザイン】(p. 18参照)

社会・地域の持続的な発展に貢献できる職業人として主体的に生きるために、必要な法や社会制度について知るとともに、男女共同参画、グローバル化、ダイバーシティ等の視点から社会の実情及びワーク・ライフ・バランス等の考え方を広く学び、倫理観や総合的判断力を身につけて、自らのキャリアデザインを可能にするための基盤を得る。

DPとの関係

- ・ DP① (世界の俯瞰的理解)
- ・ DP④ (社会人としての姿勢)
- ・ DP⑤ (地域活性化志向)

育成する力

本科目は、DPの育成を目指し、卒業後の社会に出て活躍できる能力を持つ人材を育成する。専門分野の学力、課題解決能力・コミュニケーション能力についてもこれを醸成する力を養う。

具体的には、

- ・ 主体的に課題を解決する意欲
- ・ 卒業後の社会生活を送るために必要な基盤となる知識の体得
- ・ 協働して社会で生きるためのコミュニケーション力、思考力・判断力・表現力の涵養などである。

2-3 基盤教育科目の履修上の一般的注意

茨城大学における卒業に必要な単位数は、表2 各学部の卒業に必要な単位数（履修基準）（p. 3）に示しました。1年次から、基盤教育科目のほかに専門科目も開講されます。履修計画をしっかりと立てて履修してください。平成30年度に開講される基盤教育科目は、開講授業科目一覧（p. 75～）を参照してください。

なお、専門科目については、それぞれの学部の履修要項などを参照し、必修科目・履修年次等を確認してください。また、教育職員免許状の取得を希望する学生は、本節（17）（p. 22～）を参照してください。

(1) 「大学入門ゼミ」の履修

初年次教育の一環として、茨城大学での学修への導入を図るための授業です。大学入学直後の時期において、学生が、自由な環境の中で自律的・意欲的な学生生活を行うための知識・技能を知り、専門分野の学修における思考力・判断力・表現力の重要性を理解し、主体的な学修の習慣を身につけます。

～「大学入門ゼミ」の履修上の注意～

ア) 全学部とも、2単位必修です。2単位を超えて履修することはできません。

イ) 全学部とも、1年次に履修します。各学部・学科（課程）等の指示に従い、開講授業科目一覧（p. 75～）の「指定学部クラス等」で指定されたクラスで履修してください。

ウ) 全学共通部分（最低5回）と学部独自部分で構成されています。全学共通部分は、共通テキスト「茨城大学での学修の手引き」を使用します。

(2) 「茨城学」の履修

茨城県の自然・地理・産業・歴史・文化などの学修を通して、茨城についての理解を深めると同時に、茨城の事例を他の地域と比較することで、地域を多角的にグローバルに捉える視点を養います。また、振り返りや、教員や地域の方々との意見交換などのアクティブ・ラーニングを通して、地域の課題や未来を考える基礎的な力を身につけます。

～「茨城学」の履修上の注意～

ア) 全学部とも、2単位必修です。2単位を超えて履修することはできません。

イ) 全学部とも、1年次の第2クォーターから第3クォーターにわたって履修します。

ウ) COC地域志向教育プログラム（p. 129）の修了要件の1つとなっています。

(3) 「プラクティカル・イングリッシュ」の履修

「英語を学ぶことによって、グローバルな視野を持ち、考え、行動し、多様な人々と協働できる人間を育成する」ことを理念とし、グローバル化が進む地域や職域において、世界の多様な人々と協働して課題

解決していくための、実践的コミュニケーション能力、すなわち、国際共通語としての英語のコミュニケーション能力の育成を主な目的とします。

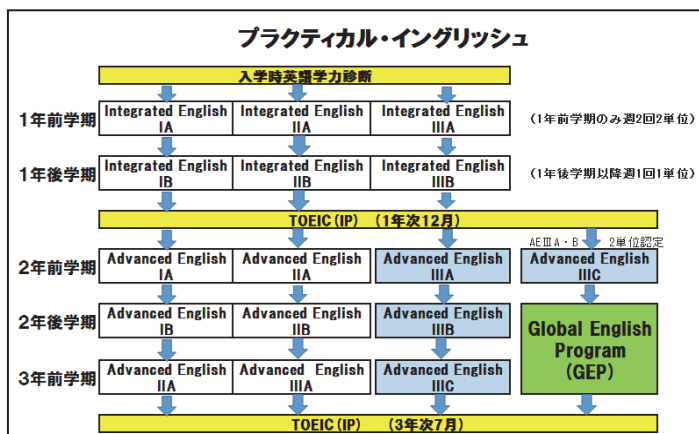
「プラクティカル・イングリッシュ」は、「Integrated English」(IE)と「Advanced English」(AE)で構成されています。

○ Integrated English (IE)

Integrated English(IE)の授業は、入学時の英語学力により「IA」、「IIA」、「IIIA」にクラス分けし、習熟度別を実施します。

IEは、同一教員による対面授業（前学期週2回、後学期週1回）と最低週1回のコンピュータ等による自律的学修からなります。各IE授業では、到達目標を共有し、共通の教材・シラバスを用いて授業を行い、共通の評価基準に基づいて成績評価を行います。

また、TOEIC(IP)一斉テストを1年次12月に実施します。このTOEIC(IP)一斉テストの成績は、IE(B)の成績の20%分として組み込まれます。また、2年次に履修するAdvanced English(AE)のクラス分けに使われます。



○ Advanced English (AE)

Advanced English(AE)の授業は、IEの3単位を修得した2年生以上を対象とし、対面授業（週1回）を実施します。

AEは、専門科目の学修への橋渡しとして学術的な英語力養成を目的とするコースと、IEにおいて修得した4技能の能力を基盤としTOEICの受験等も通して大学卒業後の社会でも対応できる実践的コミュニケーション能力の養成を目的とするコースからなります。

また、TOEIC(IP)一斉テストを3年次7月に実施するので、プラクティカル・イングリッシュの学修成果を確認し今後の学修等に生かしてください。

～「プラクティカル・イングリッシュ」の履修上の注意～

ア) 全学部とも、合計6単位が必修です。6単位必修のうち、3単位はIE、3単位はAEです。

同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

イ) 1年次から3年次まで履修します。

[1年次前学期]

習熟度（センター試験英語成績等）によってクラス分けを行い、「Integrated English IA～IIIA」（2単位：週2回授業）を指定のクラスで履修します。

[1年次後学期]

前学期のクラス分けを引き継ぎ、「Integrated English IB～IIIB」（1単位：週1回授業）を履修します。前学期にIAを履修していた学生はIBを、IIAを履修していた学生はIIBを、IIIAを履修していた学生はIIIBを履修します。

[2年次前学期以降]

1年次の12月に全ての1年次生がTOEIC(IP)一斉テストを受験し、その結果によってクラス分けを行い、3年次前学期までに「Advanced English I A～ⅢC」(1単位：週1回授業)を下表のとおり合計3単位履修します。なお、TOEIC(IP)のスコアが550点以上のグループの学生は、Advanced English ⅢA(1単位)及びⅢB(1単位)の計2単位が単位認定され、これに加えて Advanced English ⅢC(1単位)を履修します。

TOEICスコア 年次	～345点 のグループ	350点～445点 のグループ	450点～545点 のグループ	550点～ のグループ
2年次前学期	Advanced English I A (1単位)	Advanced English II A (1単位)	Advanced English III A (1単位)	Advanced English III C (1単位)
2年次後学期	Advanced English I B (1単位)	Advanced English II B (1単位)	Advanced English III B (1単位)	グローバル英語プログラム科目の履修が可能 (p. 121参照)
3年次前学期	Advanced English II A (1単位)	Advanced English III A (1単位)	Advanced English III C (1単位)	

(4) 「情報リテラシー」の履修

知的活動の道具として、コンピュータはきわめて有効な道具です。本学在学中の学修、研究活動に限らず、卒業後、社会のあらゆる場面において、「コンピュータを活用する」能力を備えていることが、我々の知的活動にとって有益です。このような観点に立って、コンピュータの実践・実技能力の向上を目的とし、情報倫理、メールの活用、情報収集・アウトプット方法を、大学内あるいは自身の持つコンピュータを利用した演習を通して学修します。

～「情報リテラシー」の履修上の注意～

ア) 全学部とも、2単位必修です。2単位を超えて履修することはできません。

イ) 全学部とも、1年次に履修します。学部・学科(課程)、又は習熟度別クラス等により指定された曜日・講時に履修してください。クラス分け等については、学部別ガイダンスでの説明や掲示等の指示に従ってください。

ウ) 授業は、マルチメディア教室(MM1・2/理学部S棟1・2階)、又は英語学習室(理学部B棟1階)で行われます(p. 142参照)。

(5) 「心と体の健康」の履修

身体による体験学習や理論学習を通して、心身の調和を図り、健康・体力を保持増進し、生涯にわたり健康的で豊かな生活を設計するために必要な基本的技能や知識を修得します。また、運動やスポーツを通じて人間や自然とのコミュニケーションを深めます。

「心と体の健康」は、実技中心の授業である「身体活動」と、心の健康問題と身体の健康問題、あるいはそれらの複合問題を取り扱う講義科目である「健康の科学」で構成されています。両者の違いに注意して、必要単位数を修得してください。

～「心と体の健康」の履修上の注意～

ア) 「心と体の健康」のうちどの授業題目を履修するのかは、4月に行われる「心と体の健康」のクラス分けガイダンス (p. 30) で決定されます (工学部フレックスコース学生を除く)。後学期開講の授業を履修したい場合にも、4月に行われるガイダンスに出席し、授業題目を決定しなければなりません。ただし、後学期開講の授業の履修登録の手続きは後学期に行います。

このガイダンスについては、あらかじめ“入学者心得”で通知していますので、日時 (曜日・講時)、場所等をよく確認し、全員、必ず出席してください。ガイダンスを欠席した場合は希望する授業題目の履修ができなくなります。

2年次に履修する場合も2年次4月にクラス分けガイダンスが実施されます。工学部及び農学部の2年次生のクラス分けは、各キャンパスで行われます。

イ) 「心と体の健康」は、学部・学科 (課程) 等により定められた曜日・講時のクラスで履修することになっていますので、開講授業科目一覧 (p. 91～) の「指定学部クラス等」に従ってください。

ウ) 「身体活動」は、教育学部の学生は2単位必修、教育学部以外の学生は1単位必修です。教育学部以外の学生が「身体活動」を1単位を超えて修得した場合、その単位は自由履修の単位に算入されます。

エ) 「身体活動」は必ず1年次から履修してください。「身体活動」は、原則として1年に1科目しか履修できません。

オ) 「身体活動」では以下の授業群を設定し、学生のニーズに合わせて選択してもらうことにしています。ただし、希望者多数の場合は、必ずしも希望する授業を履修できないことがあります。

○**チームスポーツ**：比較的大人数のチームを形成し、自分の身体や友人とコミュニケーションを深めながら、運動技能の向上、心身の健康や体力を保持増進するための実践力を養う。

○**個人スポーツ**：個人、ペア、あるいは少人数のチームを形成し、自分の身体や友人とコミュニケーションを図るための知識や技能を習得し、運動技能の向上、心身の健康や体力の保持増進に役立てられるようにする。

○**コンディショニング**：心身のバランスを整えることを通して、自分の心身の課題に気づき、その課題解決のための知識や技能、思考力や判断力を養い、体調の維持や、健康・体力の保持増進に役立てられるようにする。

※ 授業選択の際に考慮しますので、運動が苦手な学生や障害等により特別な支援を必要とする学生は申し出てください。

カ) 「健康の科学」 (自由履修) は、クォーターで実施される1単位の講義科目です。修得した単位は自由履修の単位になります。「健康の科学」の単位を必修科目である「身体活動」の単位に充てることはできません。

「健康の科学」を履修する場合であっても、1年次は必ず「身体活動」も履修してください。

キ) 単位を修得するためには、「身体活動」については総授業時間数の4分の3以上、「健康の科学」については総授業時間数の3分の2以上、出席していなければなりません。

ク) 「身体活動」の授業のなかには「健康スポーツの科学」(大修館書店)を教科書として指定するものがあるので、履修する授業のシラバスを確認してください。「健康の科学」を履修する学生は、各授業で指定された教科書を購入してください。

(6) 「科学の基礎」の履修

自然界の様々な現象を観察することで、その背後にある法則性を追求し真理を探究するのが自然科学です。自然科学の進展は、現代社会を支える様々な科学技術の発達をもたらしました。科学技術は我々の生活を豊かにする一方、その使用法を誤れば災厄をもたらします。「科学の基礎」では、現代社会の維持発展に必要な自然科学の基礎を学ぶ科目「理系基礎」「一般基礎」、科学技術の倫理的側面や歴史的背景を学ぶ科目「科学と倫理」を開設しています。

- 理系基礎：数学基礎、物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微積分学入門、力学入門、微積分学基礎、力学基礎、微積分学、力と運動
- 一般基礎：統計学入門、科学入門
- 科学と倫理：科学と倫理A、科学と倫理B

～「科学の基礎」の履修上の注意～

ア) 「数学基礎」、「物理学基礎」、「化学基礎」及び「生物学基礎」は、理学部、工学部及び農学部の学生を対象とします。工学部の学生が単位を修得した場合、自由履修の単位になります。

イ) 「統計学入門」及び「科学入門」は、人文社会科学部及び教育学部の学生を対象とします。

ウ) 「微積分学入門」、「微積分学基礎」、「微積分学」、「力学入門」、「力学基礎」、「力と運動」は、工学部の学生を対象とします。ただし、「微積分学入門」、「微積分学基礎」、「力学入門」、「力学基礎」はフレックスコースの学生は履修できません。

これら授業科目は、習熟度別に編成されています。4月の学部別ガイダンス時に行う基礎テストによって、数学については通常クラスの「微積分学」と基礎クラスの「微積分学入門」「微積分学基礎」に、物理学については通常クラスの「力と運動」と基礎クラスの「力学入門」「力学基礎」にそれぞれクラス分けします。通常クラスは週1回授業を、基礎クラスは週2回授業を行います。

「微積分学」「微積分学入門」「微積分学基礎」「力と運動」「力学入門」「力学基礎」は同じ授業科目を重複して履修することはできません。また、「微積分学」と「微積分学入門／微積分学基礎」、「力と運動」と「力学入門／力学基礎」はどちらか一方しか履修することができません。

「微積分学入門」「力学入門」の単位は自由履修の単位に算入されます。

エ) 「科学と倫理」は、理学部、工学部及び農学部の学生が2年次に履修します。学部・コースによって履修する授業(単位数)が異なります。各学部の履修上の注意(p. 53～)を参照してください。

(7) 「異文化コミュニケーション」の履修

茨城県の内外において、また職域において、グローバル化が今後ますます進むことが予想される状況に鑑み、異なる文化を持つ人々との協働を可能にする知識、また、英語以外の言語(初修外国語)運用能力

を身につけます。

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」（初修外国語を含まないもの）と「初修外国語科目」で構成されています。

～「異文化コミュニケーション科目」（初修外国語科目を除く）の履修上の注意～

同一学期に、「異文化コミュニケーション科目」（初修外国語を除く）を2単位履修することはできません。

～「初修外国語科目」の履修上の注意～

「初修外国語科目」の開講学期及び対象とする学部等は以下のとおりです。

- 「ドイツ語Ⅰ」「フランス語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「朝鮮語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」
1年次前学期（各2単位：週2回授業）…人文社会科学部対象
- 「ドイツ語Ⅱ」「フランス語Ⅱ」「中国語Ⅱ」「朝鮮語Ⅱ」「スペイン語Ⅱ」
1年次後学期（各2単位：週2回授業）…人文社会科学部対象
- 「ドイツ語入門」「フランス語入門」「中国語入門」「朝鮮語入門」「スペイン語入門」
1年次後学期（各1単位：週1回授業）…全学部対象
- 「ドイツ語基礎Ⅰ」／「ドイツ語基礎Ⅱ」
2年次前学期／2年次後学期（各1単位：週1回授業）…工学部フレックスコース対象
- 「学術日本語Ⅰ」／「学術日本語ⅡA・B・C」
1年次前後期（各1単位：週1回授業）…外国人留学生対象

「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「朝鮮語」「スペイン語」の履修上の注意

ア) 人文社会科学部の学生を対象に4月の学部別ガイダンスにおいて、「〇〇語Ⅰ」の履修希望調査を行い、この履修希望調査に基づいて抽選によってクラス分けをします。

「〇〇語入門」（後学期開講）の履修については、前学期中に履修希望調査を行い、この履修希望調査に基づいて抽選によってクラス分けをします。履修希望調査の実施方法については掲示によりお知らせします。

イ) 同一言語において同一授業科目名（「〇〇語Ⅰ」「〇〇語Ⅱ」「〇〇語入門」「〇〇語基礎Ⅰ」「〇〇語基礎Ⅱ」）を重複して単位修得することはできません。

ウ) 同一言語において「〇〇語Ⅰ」と「〇〇語入門」の両方の単位を修得することはできません。

エ) 「〇〇語入門」の単位修得後に、これと同一言語の「〇〇語Ⅰ」の単位を修得した場合、既に修得した「〇〇語入門」は卒業要件外の単位となります。

オ) 「〇〇語（基礎）Ⅱ」（2単位）を履修する場合、「〇〇語（基礎）Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。

「学術日本語」の履修上の注意

ア)「学術日本語」は、大学における教育・研究活動に必要な日本語能力を修得することを目標として、外国人留学生のために特別に開講されている科目です。したがって、外国人留学生以外の学生は履修することはできません。ただし、在留資格が「留学」ではない外国籍学生のうち、私費外国人留学生入試によって入学した学生は、外国人留学生と同様の履修基準でこの科目を履修することができます。

イ)「学術日本語」では、週1回で全15回の授業を行う「学術日本語Ⅰ」、「学術日本語ⅡA」、「学術日本語ⅡB」、「学術日本語ⅡC」が開講されます。「Ⅰ」「Ⅱ」は習熟度を表したものです。4月に実施するプレイスメントテストで一定水準に満たない学生は「学術日本語Ⅰ」を1単位履修しなければなりません(一定水準以上の学生は「学術日本語Ⅰ」を履修することはできません)。

ウ)外国人留学生に限り「学術日本語」も「初修外国語科目」の必要単位に含めることができます。

エ)「学術日本語」に限り、異なる授業題目であれば同一授業科目を複数履修することができます。

(8) 「ヒューマニティーズ」・「パフォーマンス&アート」の履修

「ヒューマニティーズ」では、古来、多様な形で形成されてきた人間とその活動についての問いとそれへの答えの集積、およびその現代的姿について、広い知識と俯瞰的な理解をもち、人間の知の多様性、奥深さを知ることがを主眼とし、人間や文化に対する理解を深めることに力点を置きます。

「パフォーマンス&アート」では、表現活動に関する学修を通して人間活動の多様性と奥深さを理解し、作品などから発せられるメッセージを感知する能力を養います。また、自ら表現することで自身を見つめ、他者との共通点や相違点を明らかにし、コミュニケーション能力を高めていきます。

～「ヒューマニティーズ」・「パフォーマンス&アート」の履修上の注意～

ア)「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」のそれぞれに必修単位数が設定されているわけではありません。「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の中から、学部毎に必要とされている単位数を修得してください。両者の組み合わせは問いません。

イ)「パフォーマンス&アート」は、比較的少人数で授業を実施するので、希望者多数の場合は、必ずしも希望する授業を履修できないことがあります。

(9) 「自然・環境と人間」の履修

自然科学の発達とそれを基礎とした技術革新により、人間による経済活動がかつてないほどの広がりを見せています。そうした技術革新や経済活動の拡大は、人間の生活を豊かにすると同時に、人間を取り巻く環境を大幅に改変し、地球温暖化に代表される人間にとって負の側面を持つ問題を引き起こしています。「自然・環境と人間」では、科学技術と生命や社会、人間との関わり合いについて科学的知見に基づきグローバルな視点から考察し、持続可能な社会を作る上で必要となる幅広い視野を育成することを主眼としています。

～「自然・環境と人間」の履修上の注意～

全学部とも、2単位必修です。学部毎にクォーター毎の履修単位数が異なるので注意してください。

(10) 「グローバル化と人間社会」の履修

急速にグローバル化しつつある現代社会と地域社会の持続可能性が課題となっています。「グローバル化と人間社会」では、社会科学の視点、方法を用いて社会の仕組みや特徴等を分かり易く解説し、現代社会および地域社会に対する問題意識を深めることを主眼としています。

～「グローバル化と人間社会」の履修上の注意～

ア) 「日本国憲法」を履修する場合は、原則として同一担当教員の授業（1単位+1単位）を同一学期内に連続して履修してください。

再履修する学生も、原則として次学期以降に同一担当教員の授業（1単位+1単位）を同一学期内に連続して履修してください。例外として、次学期以降にも、単位を修得できなかった同一教員の同一授業科目が開講されている場合、単位を修得できなかった部分の授業（1単位）のみを履修することができます。

イ) 「グローバル化と人間社会」の卒業要件に算入できる「日本国憲法」は2単位までです。これを超えて修得した「日本国憲法」の単位は自由履修の単位に算入されます。

ウ) 「日本国憲法」は、教育職員免許状取得の関係から、履修を希望する学生が多くなることが予想されますので、履修年次及び指定学部クラスを厳守してください。

また、「日本国憲法」の履修は一学期2単位を限度とします。

エ) 人文社会科学部法律経済学科の学生は「日本国憲法」を履修できないので注意してください。

(11) 「ライフデザイン」の履修

グローバル化の進展で激変する国際・地域社会に即応して未来を切り拓く、たくましい茨大生の育成のため、社会に出るまでの助走期間に当たる3年次に、就職活動なども念頭に、大学時代に体得しておくべき最低限の社会の常識、知識、マナー、多様な文化や価値観などを学び、倫理観や総合的判断力を身につけるほか、自らの将来について思いをめぐらし、地域はもちろん、海外などで働く可能性を含めた今後の主体的な生き方を設計します。

～「ライフデザイン」の履修上の注意～

ア) 全学部とも、1単位必修です。1単位を超えて履修することはできません。

イ) 全学部とも、3年次に履修します。

(12) 各科目に共通の注意事項

- 1) 一度単位を修得した同じ教員による同じ題目の授業を再度履修しても、単位は認められません。ただし、同じ教員による同じ授業科目であっても、授業題目が異なれば別の授業として単位が認められます。
- 2) リベラルアーツ科目において開講される集中講義で修得した単位は、自由履修の単位に算入されません（ただし、教育学部生を対象とした「日本国憲法」の集中講義は除きます）。自由履修の単位に算入されたものは、各科目区分の卒業に必要な単位には算入されないので注意してください。
- 3) 病気その他の理由により授業の履修が困難な場合は、履修方法等について共通教育センターにご相談ください。
- 4) 授業の出席時数が、その授業科目の総授業時間数の3分の2（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3）に達しない場合は、単位を与えないので注意してください。

(13) 入学前の既修得単位と大学以外の教育施設等における単位の認定

入学前に他大学等において修得した単位、又は大学以外の教育施設等における学修（在学中の学修も含む）で修得した単位については、**60単位を限度**として、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定する制度があります。成績評価は、「N」と表示されます。なお、申請に必要な証明書等についての詳細は、1年次生は共通教育センター（工学部フレックスコース学生は工学部学務第一係）へ、2年次生以上は所属学部の学務係へ問い合わせてください。

1) 入学前の既修得単位等の認定

本学入学以前に在学した大学又は短期大学で修得した単位及び大学以外の教育施設等における学修で修得した単位や資格等（下記2）参照）を、本学における単位として認定を希望する学生は、以下の証明書等を添えて、**平成30年4月17日（火）までに**共通教育センターへ申し出てください。

ア. 他大学等の学業成績証明書

イ. 他大学等の卒業証明書又は在学期間証明書（中途退学者は退学証明書）

ウ. 単位認定を希望する授業科目の内容や、1単位当たりの授業時間等が明記された履修要項及びシラバス等

エ. 大学以外の教育施設等における学修で単位の認定を希望する学生はその証明書など

（注）：外国語の証明書には必ず日本語訳を添付してください。

2) 大学以外の教育施設等における学修の単位認定

本学入学以前に大学以外の教育施設等で行った学修のうち以下の資格オ～クについて、本学において初修外国語の単位として認定（下表参照）を受けたい場合には、上記1）に従って所定の期限までに申し出てください。

また、在学中に大学以外の教育施設等で行った学修のうち以下の資格ア～クについて、本学において基盤教育科目の単位として認定（下表参照）を受けたい場合にも、上記担当係へ問い合わせてください。

なお、人文社会科学部及び教育学部の学生は、下記ア. について、専門科目としての認定を受けることができます。

- ア. 実用英語技能検定試験／準1級以上合格
- イ. ケンブリッジ大学英語検定試験／CPE、CAE、FCE合格
- ウ. TOEFL／iBT 57点以上、PBT 487点以上、CBT 163点以上
- エ. TOEIC／550点以上
- オ. ドイツ語技能検定試験／4級以上合格
- カ. 実用フランス語技能検定試験／5級以上合格
- キ. 中国語検定試験／準4級以上合格
- ク. スペイン語技能検定試験／6級以上合格

3) 上記の資格ア～クの学修の基盤教育科目に係る認定授業科目及び単位数は以下のとおりです。

【プラクティカル・イングリッシュへの単位認定】

ア) 1年次生については、入学前の大学以外の教育施設等における学修の単位認定は行いません。1年次TOEIC(IP)一斉テスト及びそれ以降の大学以外の教育施設等における学修については単位認定を行います。原則として、申請できるのは1年次の3月末までとし、2年次以降は単位認定を行いません。ただし、2年次以降に「Integrated English」を履修している学生については、その限りではありませんので、上記2) ア～エのいずれかを満たした場合は、共通教育センターまで申し出てください。

イ) TOEFL(ITP)はTOEFL(PBT)と同等として単位認定します。

○ 実用英語技能検定

区 分	準1級以上	
	認定授業科目	認定単位数
基盤教育科目 (プラクティカル・イングリッシュ)	Advanced English IIIA	〔 1単位 〕
	Advanced English IIIB	

○ ケンブリッジ大学英語検定

区 分	CPE、CAE、FCE	
	認定授業科目	認定単位数
基盤教育科目 (プラクティカル・イングリッシュ)	Advanced English IIIA	〔 1単位 〕
	Advanced English IIIB	

○ TOEFL 及び TOEIC 【TOEFL (ITP) 及び TOEIC (IP) を含む】

区 分	TOEFL(iBT)/57点以上 TOEFL(PBT)/487点以上 TOEFL(CBT)/163点以上 TOEIC 550点以上	
	認定授業科目	認定単位数
基盤教育科目 (プラクティカル・イングリッシュ)	Advanced English IIIA	〔 1単位 〕
	Advanced English IIIB	

【初修外国語への単位認定】

ア) 同一の検定において、新たに上位の級の資格を得た場合は、既に認定した資格に係る認定授業科目を除いた認定授業科目の単位を与えるものとします。

イ) 既に授業を履修して単位が認定された「○○語(基礎)Ⅰ」、「○○語(基礎)Ⅱ」または「○○語入門」と同一言語の科目を重ねて単位認定することはできません。また、この制度を利用して単

位認定された「〇〇語（基礎）Ⅰ」、「〇〇語（基礎）Ⅱ」または「〇〇語入門」と同一言語の科目を授業として重ねて履修することはできません。

ウ) 同一言語において「〇〇語Ⅰ」と「〇〇語入門」の両方の単位を修得することはできません。

「〇〇語入門」の単位修得後に同一言語の「〇〇語Ⅰ」の単位を修得した場合、既に修得した「〇〇語入門」は卒業要件外の単位とします。

○ ドイツ語技能検定（工学部フレックスコース以外）

区 分	3級以上	4級
	認定授業科目と単位数	認定授業科目と単位数
基盤教育科目 （初修外国語）	ドイツ語Ⅰ：2単位 または ドイツ語入門：1単位	ドイツ語Ⅰ：2単位 または ドイツ語入門：1単位
	ドイツ語Ⅱ：2単位	

○ ドイツ語技能検定（工学部フレックスコース）

区 分	3級以上	4級
	認定授業科目と単位数	認定授業科目と単位数
基盤教育科目 （初修外国語）	ドイツ語Ⅱ：2単位	ドイツ語基礎Ⅰ：1単位
		ドイツ語基礎Ⅱ：1単位

○ 実用フランス語技能検定

区 分	4級以上	5級
	認定授業科目と単位数	認定授業科目と単位数
基盤教育科目 （初修外国語）	フランス語Ⅰ：2単位 または フランス語入門：1単位	フランス語Ⅰ：2単位 または フランス語入門：1単位
	フランス語Ⅱ：2単位	

○ 中国語検定

区 分	4級以上	準4級
	認定授業科目と単位数	認定授業科目と単位数
基盤教育科目 （初修外国語）	中国語Ⅰ：2単位 または 中国語入門：1単位	中国語Ⅰ：2単位 または 中国語入門：1単位
	中国語Ⅱ：2単位	

○ スペイン語技能検定

区 分	5級以上	6級
	認定授業科目と単位数	認定授業科目と単位数
基盤教育科目 （初修外国語）	スペイン語Ⅰ：2単位 または スペイン語入門：1単位	スペイン語Ⅰ：2単位 または スペイン語入門：1単位
	スペイン語Ⅱ：2単位	

(14) 休学期間中に他大学で修得した単位の認定

留学などの学外学修を目的とした理由により休学し、その間に修得した単位については、本学における授業科目の履修とみなして単位を与えられる場合がありますので、休学期間開始の2カ月前までに所属学部の学務係へ問い合わせてください。

(15) 短期語学研修に基づく基盤教育科目の単位の認定

海外の大学で受講した短期語学研修について、研修後、本人の申請に基づき基盤教育科目（初修外国語）の単位として単位認定する制度があります。単位認定にあたっては、上記[初修外国語への単位認定]のルールが準用されます。認定される単位の詳細については共通教育センターにお問い合わせください。

短期語学研修先の大学	単位認定される基盤教育科目	認定される単位数
ハンブルク大学（ドイツ）	初修外国語 ドイツ語Ⅰ（2単位） ドイツ語Ⅱ（2単位） ドイツ語入門（1単位） ドイツ語基礎Ⅰ（1単位） ドイツ語基礎Ⅱ（1単位）	4単位まで <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」、 「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語基礎Ⅰ」、 「ドイツ語基礎Ⅰ」と「ドイツ語入門」 の両方を認定することはできません。</div>

(16) 編入学生における本学入学前の大学等の単位の取扱い

本学入学前に他大学等において修得した単位については、各学部の定めるところにより認定していますので、所属学部の学務係へお問い合わせください。

(17) 教育職員免許状取得に必要な事項

- 1) 教育職員免許状の取得を希望する学生は、**教育職員免許法**で定められている単位を必ず修得する必要があります。その履修方法等については、**各学部の履修要項**などや、4月に行われる**教職オリエンテーション**、学部別ガイダンスなどで詳細な説明がありますので、それらを参考にし、単位の取り落としがないように注意してください。
- 2) 教育職員免許法では、**教科に関する科目・教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目**の必要単位数のほか、「**教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目**」として**日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、情報機器の操作2単位**の修得が定められています。これらの単位を履修する場合には、次の事項に注意してください。
なお、これらの単位を基盤教育科目として修得した場合、各学部の**基盤教育科目履修基準**に則し、本学の卒業に必要な単位にも換算されます。

○日本国憲法2単位について

- ア) 人文社会科学部（現代社会学科・人間文化学科）、教育学部、理学部及び工学部の学生は、2年次に基盤教育科目「日本国憲法」を2単位（2科目）履修してください。
- イ) 人文社会科学部法律経済学科の学生は、法律経済学科で開講される専門科目の「日本国憲法概論」2単位（1科目）を1年次に履修してください。
- ウ) 農学部の学生は、1年次に基盤教育科目「日本国憲法」を2単位（2科目）履修してください。

○体育2単位について

基盤教育科目「身体活動」を、1年次必修の1単位（1科目）に加え、2年次に1単位（1科目）履修し、計2単位（2科目）を修得してください（教育学部は2単位必修）。なお、「健康の科学」は体育2単位に該当しないので注意してください。

○外国語コミュニケーション2単位について

基盤教育科目「Integrated English IA・IIA・IIIA」（いずれか1科目2単位（必修））を修得すれば、この単位とすることができます。1年次前学期に履修してください。

○情報機器の操作2単位について

基盤教育科目「情報リテラシー」（2単位（必修））を修得すれば、この単位とすることができます。1年次前学期に履修してください。

3) 介護等体験について

小学校及び中学校教諭普通免許状の取得を申請する場合は、7日間の**介護等体験**が義務付けられています。詳しくは各所属学部の学務係にお問い合わせください。

2-4 休講・補講

(1) 休講

大学行事や自然災害、又は授業担当教員のやむを得ない事由によって授業を行えない場合、授業は休講となります。

(2) 補講

単位制度 (p.2) の説明にあるように、単位を付与するには所定の時間数の授業を行わなければなりません。そこで、授業を休講とした場合、補講を行うことで、必要な授業時間数を確保します。補講は、履修カレンダーで予備日として指定された日又は授業担当教員と受講者との日程調整によって決定された日に行われます。

(3) 休講・補講の連絡方法

基盤教育科目の休講・補講の連絡は、主に共通教育棟2号館前掲示板にて案内します。授業の前に確認してください。また、補助的に茨城大学教務情報ポータルシステムにも掲載されます。

大学からの学生への通知・連絡事項は掲示板に掲示されます。掲示板を確認しなかったため必要な手続きを怠り履修等に関して不利益を被ることのないよう、必ず、毎日、掲示を確認してください。

茨城大学教務情報ポータルシステム

○PC・モバイル用アドレス <https://idc.ibaraki.ac.jp/portal/>

茨城大学ホームページからアクセスする場合

茨城大学HP⇒ 在学生の方へ⇒ 授業 教務情報ポータルシステム (学生)



QRコード

(4) 自然災害に対する休講措置

自然災害による風水雪被害等により授業や期末試験を休講にする場合、次の時刻と方法により、大学から学生にお知らせします。

- 1) 前日までに授業等の当日に風水雪被害等を受ける可能性があるとして予想される場合
 - ① 前日午後5時までに茨城大学HP (<http://www.ibaraki.ac.jp>)、各学部等の教務情報ポータルシステム及び各学部等の掲示にてお知らせします。
 - ② ただし、前日午後5時までに休講の判断をすることが難しい場合には、授業等の当日午前5時の気象状況を確認後、各学部等の教務情報ポータルシステムによりお知らせします。
- 2) 授業等の当日午後以降に風水雪被害等を受ける可能性があるとして予想される場合
 - ・ 午後の授業については午前9時、フレックスコースについては午後2時の気象状況を確認後判断し、茨城大学HP (<http://www.ibaraki.ac.jp>)、各学部等の教務情報ポータルシステム及び各学部等の掲示にてお知らせします。

※休日等を実施する授業の場合は、各学部等が定めた方法により周知します。なお、授業が行われることとなった場合で、公共交通機関の遅延・運休等により、授業に出席できなかった場合及び補講の状況等については、共通教育センター及び所属学部等にお問い合わせください。

2-5 保険への加入

本学では、講義、実習、実験、教育実習、フィールドワーク等の授業や、介護等体験、ボランティア活動、インターンシップ、課外活動等での不慮の事故に備えて、新入生全員に入学時に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険（Aコース）」へ加入していただいています。特に基盤教育科目においては、「心と体の健康」（身体活動）や学外授業では教室内よりも怪我や事故の危険が高くなるので、保険の加入は必須です。また、授業によっては保険加入が受講の条件となっているものもあります。各授業の履修上の注意に従ってください。

保険制度の詳細については、保健管理センター1番窓口（工学部フレックスコース学生は工学部保健室）にお問い合わせください。

- 1) 学生教育研究災害傷害保険（加入必須）

国内外において、学生が、正課中、学校行事中、学校施設内、学校施設外で大学に届け出た課外活動中、通学中の事故により身体に傷害を被った場合に対処する保険です。
- 2) 学研災付帯賠償責任保険（Aコースは加入必須／Bコースは任意加入）

国内外において、学生が、正課、学校行事及びその往復中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償に対処する保険です。Aコース、Bコースの活動内容があり、学生教育研究災害傷害保険の加入者に限られます。
- 3) 学研災付帯学生生活総合保険（任意加入）

学生生活の24時間を学生教育研究災害傷害保険に付帯して補償する保険です。学研災付帯学生生活総合保険の加入は、学生教育研究災害傷害保険の加入者に限られます。

3 履修科目の申告と登録

授業を履修し単位を修得するためには、所定の手続きが必要です。ここでは、個人の履修計画に基づく時間割の作成から教員への履修申告、履修科目の登録の仕方までを簡潔に説明します。

3-1 授業時間割の作成

(1) 基盤教育科目の時間帯と専門科目の時間帯

効率的に授業の履修ができるように、各年次において、基盤教育科目の時間帯と専門科目の時間帯は重複しないように設定されています。また、基盤教育科目内でも授業科目毎に曜日・講時が指定されています。基盤教育科目の時間帯は、開講授業科目一覧 (p.75～) を参照してください。

専門科目の開講科目、曜日・講時等の詳細は、各学部履修要項等を参照し、必修科目等の履修漏れのないよう注意してください。

(2) 学部コード

個人の時間割を作成する際には、**学部別の「時間割表」**を照らし合わせ、さらに**開講授業科目及び基盤教育科目シラバス** (Web) を参照し、対象学部・クラスや授業内容等を確認してください。

各授業には、対象学部が**学部コード**で示されています。学部コードは、学生番号に用いられているコードと同じで、次のようになっています。

人文社会科学部 : L **教育学部** : P **理学部** : S **工学部** : T **農学部** : A

(3) 時間割の作成 (工学部フレックスコースの学生は学科の指示に従ってください。)

それでは、時間割を実際に作成してみましょう。教務情報ポータルシステム (Dream Campus) 「**学生用マニュアル**」末尾の用紙に時間割を記入してみてください。

時間割作成の手順と注意は以下のとおりです。別添の**学部別の「時間割表」**を参照しながら作成します。

- 1) まず、必修科目の時間帯を確保します。入門科目、共通基礎科目、初修外国語のうち「〇〇語Ⅰ」「〇〇語Ⅱ」(人文社会科学部 人間文化学科)の指定曜日・講時を確認してください。また、基盤教育科目のほか、専門科目にも学部・学科(課程・コース)などで履修が指定されている科目がありますので、注意してください。

なお、必修科目が後学期に開講される場合は、後学期の時間割に組み込みます。

- 2) 次に、その他の履修科目を決めます。年間の履修計画を立て、前・後学期とを合わせて必要な単位数が揃うようにします。必ずしも月曜日から金曜日までのすべての時間帯を埋める必要はありません。

- 3) 「初修外国語」及び「ライフデザイン」を除くリベラルアーツ科目では、それぞれのクォーターに複数開講されている授業の中から希望する授業を選択して履修します。特定の授業に履修希望者が集中するため、抽選によって履修者の調整(制限)をすることがあります。必ずしも希望する授業を履修できないこともありますので、あらかじめ第2、第3希望の授業を決めておくとい良いでしょう。

このようにしてできあがった時間割はまだ仮のものです。次節で述べる履修科目の申告と、履修登録の手続きを済ませてはじめて時間割は確定します。

3-2 「科学の基礎」の履修希望調査とクラス分け

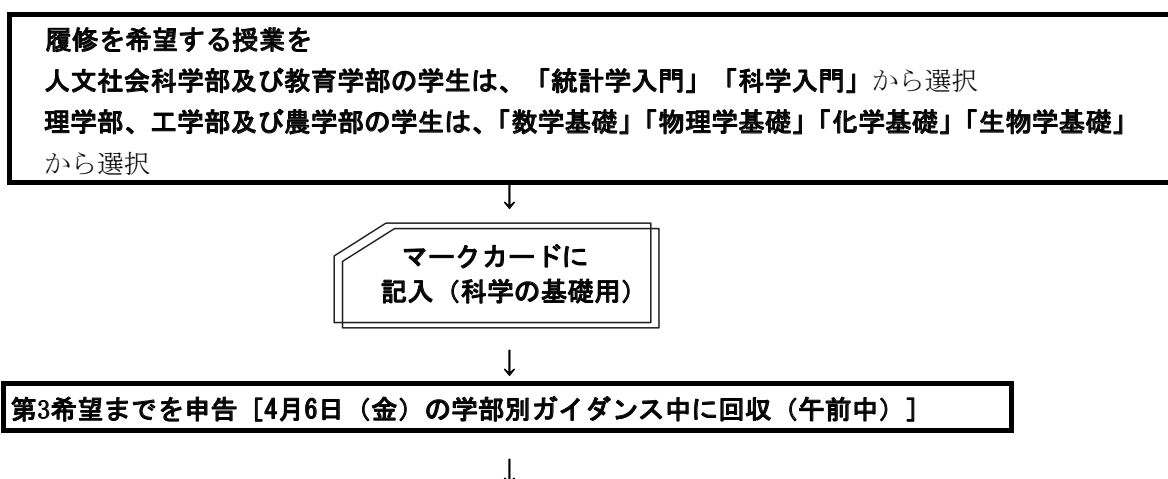
「科学の基礎」の中では、人文社会科学部及び教育学部の学生向けに「統計学入門」、「科学入門」が開講されます。また、理学部、工学部及び農学部 of 学生向けに「数学基礎」、「物理学基礎」、「化学基礎」、「生物学基礎」が開講されます。なお、工学部の学生は、希望者のみが「数学基礎」、「物理学基礎」、「化学基礎」、「生物学基礎」を履修し（必修ではありません）、単位を修得した場合には自由履修の単位に算入されます。

これらの授業は、4月の学部別ガイダンスの時に履修希望調査を行い、その結果をもとにクラス分けを行います。

(1) クラス分けの工程

- 1) 4月6日（金）（午前中）の学部別ガイダンスで「科学の基礎」の履修に関する説明の後、マークカードの配付・記入・回収を行います。教員の指示に従い、回収の時間までに、カードへの記入を済ませておいてください。履修希望調査はマークカードによる機械処理を行いますので、学生番号も含め、マークミスのないよう記入し、必ず所定の時間に提出してください。カードの提出がない場合、誤記がある場合には、クラス分けに支障が生じることもありますので、十分注意してください。また、記載に間違いがあっても、回収後の変更は認めません。
- 2) 履修希望調査の集計に基づいてクラス分けを実施し、皆さんがどの授業を受講するかを決定します。人文社会科学部、教育学部、理学部及び工学部の学生は1科目、農学部の学生は2科目決定します。ただし、履修希望に偏りがある場合には、人文社会科学部、教育学部、理学部及び農学部の学生は希望外のクラスに割り振られることもあります。そしてその結果を、4月9日（月）午後1時頃に、共通教育棟2号館2階ロビーの掲示板に発表します。クラス分けの発表は、学部ごとに学生番号順に掲示されます。クラス分けの発表を確認し指定された授業を履修してください。掲示されたクラス分けに自分の学生番号がない場合（コードや学生番号に誤記のあった可能性があります）は、共通教育センターに問い合わせてください。
- 3) 自由履修として2単位目の履修を希望する学生（クラス分けされなかった工学部生を含む）は、クラス分けの結果と一緒に掲示される空席情報を確認し、初回授業時に空席のある教室へ行き、授業担当教員に履修申告を行ってください。自由履修として単位修得を希望する学生が集まったことにより、初回授業時に受講定員を超えた場合は、当該学生のなかで抽選を行います。

(2) 「科学の基礎」の履修希望調査の手順



各授業の履修希望者数に偏りが出た場合、コンピュータ処理による受講者の調整を実施



クラス（受講授業）発表：4月9日（月）午後1時頃（共通教育棟2号館2階ロビーの掲示板）

注1：科学の基礎用のカードは、HかFかHBのいずれかの黒鉛筆で記入してください。

注2：教科書等は、クラス分け発表後、受講する授業が決まってからシラバスを参照し、購入してください。

(3) 履修希望調査マークカードの記入要領

マークカードの記入方法を間違えたり、誤記や未提出の場合は、クラス分けがされず、履修に支障が生じることがありますので、十分注意してください。

- 1) まず、マークカードの右側の欄を記入してください。
 - ① 「学部」及び「氏名」を記入してください。
 - ② **4月6日（金）**の学部別ガイダンス時に知らされる「**学生番号**」を記入してください。
 - ③ クォーター毎に「第1希望」から「第3希望」の欄に、履修を希望する授業の「**シラバスコード**」を記入してください。

- 2) マークカードの左側から、順次、記入及びマークしてください。
 - ① 「**学生番号**」欄に記入し、下欄のマーク欄をマークしてください。
(末尾のアルファベットは不要です。)
 - ② 「第1希望」から「第3希望」の欄に、上記 1) ③で記入した「**シラバスコード**」をマーク欄にマークしてください。

(マークカード記入例)

学生番号	第1クォーター			第2クォーター		
	第1希望	第2希望	第3希望	第1希望	第2希望	第3希望
18A10000	6202	6203	6205	6208	6209	6211
00	00	00	00	00	00	00
11	11	11	11	11	11	11
22	22	22	22	22	22	22
33	33	33	33	33	33	33
44	44	44	44	44	44	44
55	55	55	55	55	55	55
66	66	66	66	66	66	66
77	77	77	77	77	77	77
88	88	88	88	88	88	88
99	99	99	99	99	99	99

【科学の基礎用】

- ・マークは、H、F、HBいずれかの黒鉛筆を使用してください。
- ・左記マーク部分の学生番号欄には、末尾のアルファベットの記入は不要です。
- ・左記マーク部分のシラバスコード欄には、先頭のアルファベット (KB) の記入は不要です。
- ・必ず各クォーターに、それぞれ異なるシラバスコードを3つ記入してください。

学部名	農	学部
氏名	茂大太郎	
学生番号	18A1000A	

専大資料

3-3 「初修外国語」の履修希望調査とクラス分け

「初修外国語」（学術日本語を除く）は、人文社会科学部の学生向けに各外国語の「〇〇語Ⅰ」（前学期）及び「〇〇語Ⅱ」（後学期）が週2回開講されます。また、全学部学生向けに「〇〇語入門」（後学期）が週1回開講されます。

ここでは、人文社会科学部の学生向けの「〇〇語Ⅰ」のクラス分けについて説明します。

後に述べるように、履修希望調査では、どの外国語を希望するかのみを調査し、どの教員の授業を希望するかは調査しません。外国語の選択に際しては、「2-3 (7) 「異文化コミュニケーション」の履修」（p. 15~）及び「**初修外国語の紹介**」（p. 143~）をよく読み、自分がどの外国語を学びたいのか、よく考えて選んでください。

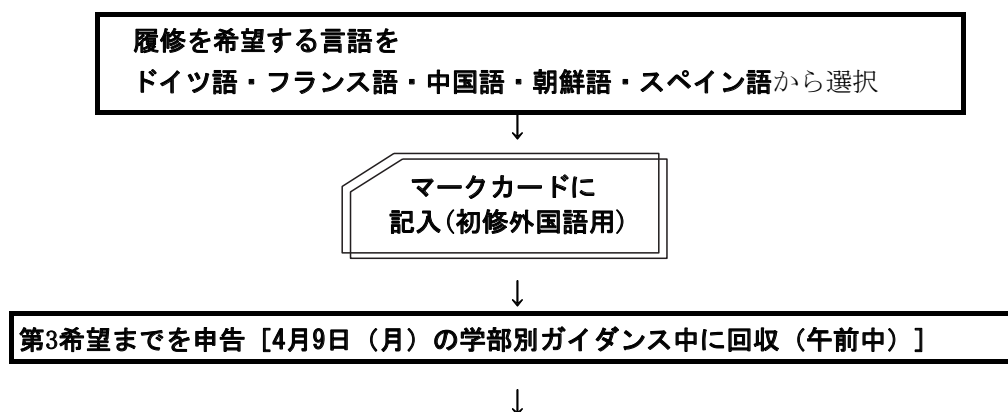
初修外国語は、各クラスとも50人程度で受講生数の調整を行いますので必ずしも第一希望の外国語を履修できるとは限りません。

なお、後学期開講の初修外国語「〇〇語Ⅱ」については、改めてクラス分けは行いません。指定されたクラスで受講することになります。

(1) クラス分けの工程

- 1) 4月6日（金）の**学部別ガイダンス**で初修外国語の履修に関して説明します。翌週9日（月）のガイダンス時間中（午前中）にマークカードの配付・記入・回収を行います。教員の指示に従い、回収の時間までに、カードへの記入を済ませておいてください。履修希望調査はマークカードによる機械処理を行いますので、学生番号も含め、マークミスのないよう記入し、必ず所定の時間に提出してください。カードの提出がない場合、誤記がある場合には、クラス分けに支障が生じることもありますので、十分注意してください。また、記載に間違いがあっても、回収後の変更は認めません。
- 2) 初修外国語の履修希望調査の集計に基づいてクラス分けを実施し、皆さんがどの授業を受講するかを決定します。そしてその結果を、4月11日（水）午後4時頃に、共通教育棟2号館2階ロビーの掲示板に発表します。クラス分けの発表は、授業ごとに学生番号で掲示されます。クラス分けの発表を確認し指定された授業を履修してください。掲示されたクラス分けに自分の学生番号がない場合（コードや学生番号に誤記のあった可能性があります）は、共通教育センターに問い合わせてください。

(2) 「初修外国語」の履修希望調査の手順



各外国語の履修希望者数に偏りが出た場合、コンピュータ処理による受講者の調整を実施



クラス（受講授業）発表：4月11日（水）午後4時頃（共通教育棟2号館2階ロビーの掲示板）

注1：初修外国語用のカードは、HかFかHBのいずれかの黒鉛筆で記入してください。

注2：教科書等は、クラス分け発表後、受講する授業が決まってからシラバスを参照し、購入してください。

(3) 履修希望調査マークカードの記入要領

マークカードの記入方法を間違えたり、誤記や未提出の場合は、クラス分けがされず、履修に支障が生じることがありますので、十分注意してください。

- 1) まず、マークカードの右側の欄を記入してください。
 - ① 「学部」及び「氏名」を記入してください。
 - ② **4月6日（金）**の学部別ガイダンス時に知らされる「**学生番号**」を記入してください。
 - ③ 「第1希望」から「第3希望」の欄に、履修を希望する「**初修外国語名**」を記入してください。
- 2) マークカードの左側から、順次、記入及びマークしてください。
 - ① 「**学生番号**」欄に記入し、下欄のマーク欄をマークしてください。
(末尾のアルファベットは不要です。)
 - ② 「第1希望」から「第3希望」の欄に、上記1) ③で記入した「**初修外国語**」について、マーク欄にマークしてください。

(マークカード記入例)

学 生 番 号						第1希望	第2希望	第3希望	
1	8	L	1	0	0	0			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

【初修外国語用】

・マークは、H, F, HBいずれかの黒鉛筆を使用してください。

学 部 名	人文社会科学部
氏 名	茨大花子
学生番号	18L1000A

第1希望	ドイツ語
第2希望	中国語
第3希望	フランス語

(備考)「第1希望」,「第2希望」,「第3希望」の欄に、希望する初修外国語の言語名を記入してください。



3-4 履修科目の申告

(1) 基盤教育科目履修申告票の提出

授業開始日以降、それぞれが作成した仮の時間割に従って授業に出席します。教室で担当教員に「基盤教育科目履修申告票」（別添）を提出し、受理されれば履修が許可されたことになります。履修申告票の色は、学部ごとに異なっており、各授業の“受講申込書”の役割を果たします。記入の方法は次のとおりです。

なお、全学共通科目の履修申告の際も「基盤教育科目履修申告票」を使います。

〔基盤教育科目履修申告票の記入例〕

基盤教育科目／全学共通科目履修申告票

(H30年4月10日) 教員提出用

教育学部 学校教育教員養成 課程・コース 第1年次																
学生 番号	18P0000A							ふりがな	いはだいた35				性別	男		
								氏名	茨大太郎						女	
授業科目		コード	曜日	講時	学期	学年	担当教員									
プラクティカル・ イングリッシュ (IEIA)		KB3006	月 水	1 2	前 後 通	1 2 3 4	小林邦彦 教員									
出回 欠 席 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計

注意事項 1 申告票は必ず教室で提出すること。
2 外国人教員に提出する場合の「ふりがな」は、ローマ字で記入すること。

申告票は学部ごとに色分けしてあります。

所属学部の用紙を使用してください。

人文社会科学部：水色

教育学部：白色

理学部：青色

工学部：黄色

農学部：黄緑色

記入上の注意

- ペン又はボールペンで記入し、鉛筆・シャープペンシルは使用しないでください。
- 文字は楷書で正確に記入してください。
- 授業担当教員が外国人の場合には、氏名のふりがな欄をローマ字で記入してください

1) 「プラクティカル・イングリッシュ」は、習熟度別にクラス分けの結果が発表されますので、その決定に従い、最初の授業の際に担当教員に履修申告票を提出します。「初修外国語」は、学部別ガイダンス時の希望調査の結果が掲示され、履修クラスが決まりますので、その決定に従い、最初の授業の際に担当教員に申告票を提出します。

2) 「心と体の健康」（工学部フレックスコースを除く）は、学部ごとに全体ガイダンスを行い、授業題目の選択、履修学期、担当教員がその場で決定されます。このガイダンス時に前学期又は後学期に履修する授業を決定しますので、指定された日時・場所を確認し、必ず出席し、履修申告票をその場で提出してください。「健康の科学」を履修する学生、後学期の授業の履修を希望する学生も必ずこのガイダンスに出席してください。

※ 運動が苦手な学生や障害等により特別な支援を必要とする学生は、授業選択の際に考慮しますので、申し出てください。

■ ガイダンス日時 ■ 場所：大体育館

4月11日（水）	8：40～	理学部、農学部
	10：20～	人文社会科学部
4月13日（金）	8：40～	工学部（物質科学、情報、都市）
	10：20～	工学部（機械シス（フレックスコース除く）、電電シス）
4月16日（月）	12：40～	教育学部

- 3) 「**情報リテラシー**」と「**大学入門ゼミ**」は、予めクラスが決まっていますので、最初の授業の際に履修申告票を提出します。クラスによって開講曜日・講時が異なりますので（工学部フレックスコースを除く）、特に注意してください。
- 4) 「**科学の基礎**」（工学部フレックスコースを除く）は、学部別ガイダンス時の希望調査または基礎テスト（数学と物理学）の結果が提示され、履修クラスが決まりますので、その決定に従い、最初の授業の際に担当教員に履修申告票を提出します。
- 5) 「**リベラルアーツ科目**」（初修外国語を除く）については、履修したい授業を選択できるようになっています。ただし、特定の授業に履修希望者が集中するため、抽選によって履修者の調整（制限）をすることがあります。授業の際に担当教員の指示に従って提出してください。予めクラスが決まっているものについては、最初の授業の際に履修申告票を提出します。
- 6) 同一セメスター/クォーター開講科目を同一の曜日・講時に複数履修申告することはできません。

(2) 受講生の調整

受講希望者が集中した場合は、適切な方法で受講者の調整（制限）を行います。調整の結果、その授業の受講が認められなかった学生は、別の授業を選択することになります。その場合には、担当教員等の指示に従い、混乱が生じないよう協力をお願いします。

3－5 履修科目の登録

(1) 履修科目の登録

1) 各学期セメスター・各クォーター開講の授業について

履修申告票の提出と教務情報ポータルシステム（Dream Campus）への履修登録により履修する授業が決まります。詳しくは、教務情報ポータルシステム（Dream Campus）「**学生用マニュアル**」（茨城大学HP⇒在学生の方へ⇒授業 教務情報ポータルシステム（学生））を参照してください。

履修申告票の提出と教務情報ポータルシステム（Dream Campus）への履修登録がそろわないと、履修をしても単位が認められません。

2) 集中講義について

集中講義については、授業ごとに開講予告・受講生募集の掲示をしますので、その都度履修申告（登録）を行います。**開講予告・受講生募集の掲示に注意してください。**

専門科目（教職関連科目を含む）の集中講義については、各学部の掲示に注意してください。

(2) 履修登録の確認

履修登録を終えたら、正しく登録されたかどうかを確認します。履修登録の確認は、受講生名簿や成績認定の基礎となり、きわめて重要ですので、必ず確認しなければなりません。各自、自己責任において登録科目の曜日・講時、授業科目名及び担当教員名をよく確認してください。登録が不完全だったり、誤ったまま履修を続けていると、成績評価の際にトラブルが生じ、単位が認められない恐れがあります。

(3) 履修登録単位数の上限（CAP制）

単位制度 (p. 2) の説明にあるように、1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。そこで、単位の過剰登録を防ぎ十分な予習復習時間を確保し**単位の実質化**を図るため、1年間に履修登録できる単位数の上限を設定しています。これを**CAP (キャップ) 制**といいます。

集中講義の単位や、教育学部学生以外を対象とする「教職に関する科目」等の卒業要件外科目を除き、履修登録できる単位数の上限は **年間46単位** です。ただし、教育学部においては、卒業要件として定められている免許状以外の免許状等取得のための特例として、指導教員又は教務委員等の履修指導を受けた上で年間46単位を超えて履修登録することができる場合があります。

3-6 履修科目の申告から登録の完了まで

これまで、基盤教育科目履修申告票の提出から履修登録までの説明をしてきました。ここでは、学期初めのあわただしい中で手続きに漏れが生じないように、履修登録の流れを整理しておきます。この手続きは、基盤教育科目、全学共通科目、専門科目のすべてに共通します。

I 新入生履修ガイダンス	<p>平成29年4月6日（金）から9日（月）には、学部ごとの履修ガイダンス、「初修外国語」及び「科学の基礎」のクラス分けが実施されます。また、「心と体の健康」は、前学期中に、学部ごとに全体ガイダンスを行い、履修する学期・授業題目等の決定を行います。</p> <p>4年間の大学生活のスタートにあたって大切な期間ですので、欠席・遅刻等がないように注意してください。また、大学におけるあらゆる手続きは、本人の自発的な行動によってのみ成立します。それが行われなかった場合には、本人に不利益が生じることとなりますので、注意してください。</p> <p>シラバス（Web）には個々の授業の詳しい内容や履修上の注意が掲載されています。これから履修する（履修を希望する）授業のシラバスをよく読み、授業選択や初回授業に臨んでください。</p> <p>シラバス（Web）は、茨城大学HP⇒ 在学生の方へ⇒ 授業 シラバス 又は Dream Campus を参照してください。</p>
II 「基盤教育科目履修申告票」の提出と「Dream Campus」への履修登録	<p>前学期は4月10日（火）から、後学期は9月28日（金）から授業が始まります。履修を希望する授業の初回に出席し、担当教員に「基盤教育科目履修申告票」を提出します。</p> <p>また、履修する授業は各自で「教務情報ポータルシステム (Dream Campus)」により、履修科目の登録を行います。</p>

この「基盤教育科目履修申告票」の提出と「教務情報ポータルシステム(Dream Campus)」への履修登録の両方がそろって履修科目が決定します。どちらか一方が行われていない場合や両者が一致していない場合は、正式な履修とは認められません。

予めクラス分けがされている授業については、指定されたクラスに出席し、「基盤教育科目履修申告票」の提出と「Dream Campus」への登録を行ってください。指定されたクラス以外の履修は認められません。

なお、**後学期セメスター及び第3/第4クォーター**に開講される授業については、**基本的に前学期中に履修希望調査とクラス分けが行われます**。詳細は、別途掲示等でお知らせします。

○「基盤教育科目履修申告票」の提出期間（初回授業時に提出）

前学期セメスター・第1クォーター開講科目：平成30年 4月10日（火）～ 4月16日（月）

第2クォーター開講科目：平成30年 6月11日（月）～ 6月15日（金）

後学期セメスター・第3クォーター開講科目：平成30年 9月28日（金）～ 10月 4日（木）

第4クォーター開講科目：平成30年12月 3日（月）～ 12月 7日（金）

○「Dream Campus」への登録期間

前学期セメスター・第1/第2クォーター開講科目：平成30年 4月10日（火）～ 23日（月）

第2クォーター開講科目：平成30年 6月11日（月）～ 15日（金）

後学期セメスター・第3/第4クォーター開講科目：平成30年 9月28日（金）～10月11日（木）

第4クォーター開講科目：平成30年12月 3日（月）～ 7日（金）

前学期セメスター・第1クォーター・第2クォーター開講科目及び後学期セメスター・第3クォーター・第4クォーター開講科目は「基盤教育科目履修申告票」を提出した授業を「Dream Campus」に登録します。

III 履修登録の確認（その1：「Dream Campus」での修正）

「Dream Campus」に履修科目が正しく登録されたかどうかの確認を行います。詳しくは、教務情報ポータルシステム（Dream Campus）「学生用マニュアル」（茨城大学HP⇒ 在学生の方へ⇒ 教務情報ポータルシステム（学生） 学生用マニュアル）を参照してください。

履修登録に漏れや誤り等があった場合は、各自で「Dream Campus」から履修登録の修正を行います。

○履修登録修正期間

前学期セメスター・第1/第2クォーター開講科目：平成30年 4月24日（火）～ 26日（木）

後学期セメスター・第3/第4クォーター開講科目：平成30年10月12日（金）～ 16日（火）

第1/第3クォーター開講科目の追加登録はこの期間が最後となるので、登録漏れがないか十分に確認してください。

IV 履修登録の確認（その2：「追加（削除）履修登録申請書」による修正）

「Dream Campus」での履修登録修正期間終了後に、履修の追加・削除をしたい場合は、所定の期限までに履修の追加・取消（登録の削除）の手続を行うことができます。

履修の追加・削除をする場合は、「**追加（削除）履修登録申請書**」に必要事項を記入し、授業担当教員の押印又は署名を得てから共通教育センターに提出します。用紙は共通教育センターにあります。

履修を取り消した科目は**GPA (p. 37)** に算入されません。

○履修登録修正期間

前学期セメスター・第1クォーター開講科目：平成30年 5月 7日（月）～ 11日（金）

前学期セメスター・第2クォーター開講科目は、追加・削除が行えます（前学期セメスター開講科目の追加登録はこの期間が最後となります）。

この間、第1クォーター開講科目は、取消（登録の削除）のみ行えます（追加はできません）。

前学期セメスター・第1クォーター開講科目の取消はこの期間が最後となるので、誤った登録がないか十分に確認してください。

○履修登録修正期間

後学期セメスター・第3クォーター開講科目：平成30年11月 5日（月）～ 9日（金）

後学期セメスター・第4クォーター開講科目は、追加・削除が行えます（後学期セメスター開講科目の追加登録はこの期間が最後となります）。

この間、第3クォーター開講科目は、取消（登録の削除）のみ行えます（追加はできません）。

後学期セメスター・第3クォーター開講科目の取消はこの期間が最後となるので、誤った登録がないか十分に確認してください。

V 履修の取消し（「**追加（削除）履修登録申請書**」による削除）

上記履修登録修正期間終了後に、履修の取消（登録の削除）をしたい場合は、所定の期限までに履修の取消の手続を行うことができます。

履修の取消をする場合は、「**追加（削除）履修登録申請書**」に必要事項を記入し、授業担当教員の押印又は署名を得てから共通教育センターに提出します。用紙は共通教育センターにあります。

履修を取り消した科目は**GPA (p. 37)** に算入されません。

○履修取消期限

前学期セメスター・第1クォーター開講科目：平成30年5月11日（金）

第2クォーター開講科目：平成30年 7月 6日（金）

後学期分セメスター・第3クォーター開講科目：平成30年11月 9日（金）

第4クォーター開講科目：平成31年 1月11日（金）

（集中講義については、講義終了日）

4 試験及び成績評価

4-1 試験

1. 試験は主として筆記試験で行われますが、授業によってはレポート等の提出をもって成績評価を行うことがあります。
2. 期末試験の期日は、巻頭の平成30年度履修カレンダーに記載されています。クォーターで実施される授業では8回目の授業中の45分を使って、セメスターで実施される授業では16回目に実施されます。授業によっては、随時中間試験を行うことがあります。
3. 期末試験の予定は、試験日の1週間前までに掲示によって周知しますが、授業時における担当教員の指示に従ってください。なお、中間試験等は担当教員の判断で行われますので掲示されないことがあります。
4. 期末試験を受験するには、原則として、当該授業科目の総授業時間数の3分の2以上（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3以上）出席していなければなりません。

レポートの作成と提出

- レポートは各教員によりさまざまな形式で指示されますので、必ずそれに従って提出してください。レポートは用紙のサイズに関わりなく必ず表紙を付け、**科目名、レポート名・論題、曜日・講時、担当教員名、学部、学科(課程・コース)、学生番号、氏名**を明記し、横書きの場合は左上端、縦書きの場合は右上端をホチキスで綴じて提出してください。クリップなどでとめた場合、レポートボックスの中で散乱することがありますので注意してください。
- レポートの提出に際しては、**コピー**をとるか、パソコンで作成した場合は**ファイル**を保管してください。
- **レポートボックス**は、共通教育棟1号館1階の共通教育センター内に設置されています（フレックスコースを除く）。ただし、各学部の学務係に設置されることもありますので、提出先については教員の指示に従ってください。また、レポートの提出期限（日時）は各教員により設定されるので注意してください。なお、共通教育センターの窓口は、学期中は午前8時15分から午後6時まで、春・夏・冬の各休業期間中は午前8時30分から午後5時15分までとなっていますのでレポート提出の際には注意してください。

4-2 茨城大学における試験及びレポート作成等に関する留意事項

成績評価の対象となる試験（期末試験・中間試験・小テスト等）の受験やレポート等の作成にあたっては、試験監督者又は授業担当教員の指示に従ってください。不正行為を行った場合には停学等の懲戒の対象となるので、以下の内容をよく読んで試験等に臨んでください。

1. 試験等受験者心得

試験等の受験にあたっては、以下の点に留意してください。

- ① 試験開始後 30 分以上の遅刻は受験を認めない。
- ② 試験開始後 30 分までは退室を認めない。
- ③ 受験にあたっては学生証を机の右上に置くこと。学生証を所持しない学生は、受験を認めない。
- ④ 机の上に置けるものは、学生証の他、筆記具（筆箱は含まない）、消しゴム、時計（時計機能のみ）とし、その他は、試験監督者の指示に従いかばん等に見えないように収納すること。ただし、試験監督者が認めたものは置いてよい。
- ⑤ ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬等の使用を希望する学生は、試験監督者に申し出て許可を受けてから使用すること。
- ⑥ 試験室内では、携帯電話等の電子機器類の電源は切り、かばん等に見えないように収納すること。

- ⑦ 次の行為は、不正行為に該当するので、疑わしい行為はしないこと。
- ア. 身代わり受験をさせること。
 - イ. カンニングペーパーを使用させること又は試験監督者からの指示のない書籍、機器等による情報等を参照し解答すること。
 - ウ. 他者の答案を見ること又は解答を尋ねること。
 - エ. 試験監督者の注意又は指示に従わないこと。
 - オ. 上記ア～エに掲げる行為を幫助すること。
 - カ. その他公正な試験を妨げると認められる行為をとること。
- ⑧ 授業中における小テスト等についても、試験監督者からの指示以外は上記を準用する。
- ⑨ 上記によりがたい場合は、試験監督者の指示を仰ぐこと。

2. レポート等の作成における留意事項

成績評価の対象となるレポート等の作成において、以下の行為を行った場合は不正行為に該当するので留意してください。

- ア. レポート等の作成において、捏造（存在しないデータを使って、調査・研究結果等を作成すること。）、改ざん（データ、調査・研究によって得られた結果等を事実でないものに変更すること。）、盗用（インターネット上に掲載されている情報のコピー&ペーストなど、他人のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文、著書等の内容を流用し、適切な表示をしないこと。）を行うこと。
- イ. 他者のレポートを自分のものとして提出すること。
- ウ. 上記ア及びイに掲げる行為を幫助すること。
- エ. その他公正な成績評価を妨げると認められる行為をとること。

3. 不正行為による処罰

成績評価の対象となる試験（期末試験・中間試験・小テスト等）の受験やレポート等の作成において不正行為をした学生及びこれを幫助した学生は、学則に基づき停学等の懲戒処分となり、不正行為を行った授業が開講されている学期に履修するすべての授業科目の単位は認定されません。また、単位が認定されなかった授業のGPは「0」として学期GPA及び通算GPAに算入されます。

4-3 追試験

受験資格を有する学生が期末試験を受験できない事情がある場合は、本人の願い出により、その事情が**真にやむを得ない事情**と認められた場合に限り、追試験を行うことがあります。

1. 真にやむを得ない事情とは、次のような場合です。

- ア. 父母、祖父母又は兄弟姉妹の死亡
- イ. 交通遮断あるいは交通機関の運行停止
- ウ. 疾病
- エ. その他全学教育機構長が特にやむを得ないと認めた場合

2. 追試験願い出の手続き

- ア. 事前に**追試験願**に所定事項を記入署名（サイン）し、受験することのできない事情を証明する書類等（※）を添付し、共通教育センター（工学部2年次生以上の学生及びフレックスコース学生は工学部学務第一係、農学部2年次以上の学生は農学部学務係）に提出してください。

※ 本学では、インフルエンザ等の感染症の罹患を理由とする授業や期末試験等の欠席を証明する書類として、「登校許可証明書（治癒証明書）」の用紙を用意しています。この用紙を利用する時は、茨城大学ホームページから印刷して、受診した医療機関に記入をお願いしてください。

茨城大学HP⇒ 在学生の方へ⇒ 学生生活 各種届出⇒ 登校許可証明書（治癒証明書）について

イ. 事前に手続きを行うことが不可能な場合は、共通教育センター（工学部2年次生以上の学生及びフレックスクース学生は工学部学務第一係、農学部2年次以上の学生は農学部学務係）に連絡し、所定の手続きをしてください。この場合の**追試験願**の提出は、原則として、当該試験の終了後1週間以内に行われなければなりません。

3. 追試験の実施

追試験は、原則として、試験終了後2週間以内（特別な事情がある場合は、当該学期以内）に、当初の試験の方法に準じて実施します。

4-4 成績評価

成績の評価は、期末試験のほか、随時行う試験、レポート、論文、課題発表及びその他の学修状況等により判定されます。その基準は次のとおりです。成績について疑義があり、成績について問い合わせたい学生は、必ず成績通知表を持参の上、窓口に出してください。

区分	評点基準	評価の内容
A ⁺	90点以上～100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80点以上～90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70点以上～80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60点以上～70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

評価は、**C以上が合格**で所定の単位が与えられ、**Dは不合格**で単位は認められません。

授業の出席時数が、その授業科目の総授業時間数の3分の2（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3）に達しない場合は、単位を与えない（D：不合格となる）ので注意してください。

なお、**一度修得した単位（成績評価）は、取り消すことはできません。**

4-5 GPA (Grade Point Average)

1. GPAの目的・定義

学生自身に学内での自分の成績の相対的な位置づけを認識させることにより、学生の学修意欲を高めるとともに、学生の学修支援に資することを目的として GPA 制度を導入しています。

GPA とは、個々の学生の学修時間当たりの学修到達度を表す指標となる数値で、履修した授業科目の GP (Grade Point) に当該科目の単位数を乗じた値を履修した全科目について総計し、その値を履修した総単位数で除して算出する平均値 (Average) をいいます。

2. GP (Grade Point) の計算式

成績評価の満点を 100 点、最低点を 0 点として、次の式により求められます。

$$GP = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10$$

(ただし、GP=0.5 未満は 0.0 となります。また欠試の場合は GP=0 となります。)

試験等における不正行為によって懲戒が決定した場合には、当該学期に履修したすべての授業科目の単位は認定されません。また、認定されなかった授業科目の GP は「0」として学期 GPA と通算 GPA に算入されます。

3. GPA (Grade Point Average) の種類・計算式

GPA には次の二種類があります。両者の違いに注意してください。成績証明書には、通算 GPA のみが記載されます。

① 学期 GPA

各学期における学修の状況及び成果を示す暫定的な指標であり、次の式で算定されます。原則として、前学期については 8 月末日、後学期については 2 月末日までの成績をもとに算定されます。その後成績評価の追加や変更がなされても再計算は行われません。

学期 GPA = (当該学期の履修登録科目の GP × 当該科目の単位数) の総和 / 当該学期の履修登録科目の総単位数

(計算値は、小数第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示します)

② 通算 GPA

在学中の全期間における学修の状況及び成果を示す指標であり、次の式で算定されます。成績評価の追加や変更がなされた場合には再計算が行われます。

通算 GPA = (在学全期間の履修登録科目の GP × 当該科目の単位数) の総和 / 在学全期間の履修登録科目の総単位数

(計算値は、小数第 3 位を四捨五入し、第 2 位までを表示します)

4. 通算 GPA の上書き

不合格又は欠試と評価された後に再履修によって合格となり、単位を修得した授業科目については、再履修によって得た成績評価及び単位数は、通算 GPA に算入するものとし、当該授業科目について過去に得た不合格又は欠試の成績評価及び単位数は、通算 GPA から除外されます(通算 GPA の上書き)。

ただし、「心と体の健康」、「科学の基礎」のうち「統計学入門」及び「科学入門」、「リベラルアーツ科目」(「初修外国語」、「ライフデザイン」を除く)について再履修により通算 GPA が上書きされるためには、授業題目が同一でなければなりません。

また、「科学の基礎」のうち「微積分学」と「微積分学基礎」、「力と運動」と「力学基礎」については、授業科目名は異なりますが、両者の到達度は同一であり、また卒業要件における取扱いも同等であることから、相互に通算 GPA の上書きが行われます。

5. GPA 算定対象授業科目

原則として成績評価されたすべての授業科目が GPA の算定対象となります。ただし、履修取消期限までに履修の登録を取り消した科目や単位認定された科目は GPA に算入されません。履修取消期限経過後

にやむを得ない事情により履修の登録を取り消したい場合は、所属学部の学務係へ問い合わせてください。また、各学部により GPA に算入されない科目を定めている場合があるので、**各学部の履修要項**などで確認してください。

4-6 再履修

1年次に履修しなかったり、不合格（評価D）になった授業科目（授業題目）を2年次以降に履修又は再履修する場合は、次の点に注意してください。

1. 2年次用授業時間割の授業科目（授業題目）を履修し、それでも単位が不足する場合は、所属学部の1年次用授業時間割の授業を履修してください。そのとき、2年次以上の学生の履修を許可しない授業もありますので注意してください。
2. 再履修する場合も、原則として、各授業の学部・学科等の指定に従って履修しますが、クラスの定員やその他の理由で別に指定される場合もあります。
なお、「心と体の健康」のうち「身体活動」は、原則として1年に1科目（1単位）しか履修できませんので、1年次に不合格となった場合には、2年次以降に履修することになります。
3. 再履修する授業科目もCAP（p. 32）の対象となりますので、再履修する授業科目の単位数を含めても履修登録単位の上限を超えないように注意してください。
4. 再履修について不明な点がありましたら、共通教育センター又は所属学部の学務係に申し出てください。

4-7 裁判員制度に係わる授業欠席の取扱いについて

本学では裁判員の責務のために授業を休む場合は欠席扱いにしないこととしています。裁判員としてその用務を果たすためにやむを得ず授業を欠席する場合は、授業担当教員に裁判所の発行する証明書等を提示することによって授業を出席したものとして取り扱われます。

4-8 成績評価に対する異議申立てについて

本学では授業担当教員の成績評価に納得できない学生のために成績評価に対する異議申立ての制度があります。成績評価について疑義のある場合は、次の手続きに従って成績評価に関する問合せや異議申立てを行ってください。

1) 成績評価に関する問合せ

成績評価について疑義のある場合は、授業担当教員に問い合わせることとなります。授業担当教員には、電子メールを用いて直接問い合わせることもできますし、基盤教育科目及び全学共通科目については共通教育センターを通じて問い合わせてもらえることもできます。

授業担当教員に電子メールを用いて直接問い合わせる場合は、次の事項を必ず記載し、原則として大学で付与したメールアドレスから送信してください。

- ①件名に成績評価に関する問合せであることを明記
- ②所属学部（研究科）、学生番号、学生氏名
- ③問合せの対象となる授業科目名、シラバスコード、曜日・講時
- ④対象となる授業科目の成績、及びその評価について疑義を唱える具体的な理由・根拠

学生からの問合せに対して授業担当教員は原則として5日以内（土日、祝日を除く。）に電子メールで説明することとしています。成績に関する問合せに対して授業担当教員から返信がないときは、問合せをしてから15日以内（土日、祝日を除く。）に共通教育センターに申し出てください。

上記のように授業担当教員に電子メールを用いて直接問い合わせる方法以外にも、基盤教育科目及び全学共通科目については共通教育センターを通じて授業担当教員に問い合わせることができます。例えば、授業担当教員が非常勤講師、退職、長期出張中であつたり、誠実な対応を行わなかったり、その他直接問合せを行うことが難しい時には、共通教育センターにご相談ください。

学生からの問合せに対して授業担当教員は原則として5日以内（土日、祝日を除く。）に共通教育センターに回答を提出することになっていますので、回答を受け取りに来てください。

上記の問合せの期限は、当該授業科目が開講された学期の次の学期開始後10日以内（土日、祝日を除く。）です。休学又は留学のため問合せを行うことができない場合は、復学又は帰国後10日以内（土日、祝日を除く。）が問合せの期限となります。

ただし、最終年次の問合せの期限については、所属学部毎に異なりますので、各学部の指示に従ってください。

当該授業が開講された学期中に成績報告がされていない授業の問合せ期限等については、別途掲示等でお知らせします。

2) 成績評価に対する異議申立て

上記1) の成績評価に関する問合せをした学生は、次の①～③のいずれかに該当する場合に限り、成績評価に対する異議を申し立てることができます。

- ① 授業担当教員の成績評価の誤記入等が疑われる場合
- ② シラバスに記載された到達目標及び成績評価方法に照らして、評価に疑義がある場合
- ③ 授業担当教員の不誠実対応等により上記1) の期限までに回答がない場合

基盤教育科目及び全学共通科目について、成績評価に対する異議申立てをする学生は、共通教育センターに申し出てください。

成績評価に対する異議申立ての期限は、上記 1) の問合せに対する授業担当教員からの説明又は回答を受けた日から10日以内（土日、祝日を除く。）です。ただし、③の場合には、上記1) の問合せをしてから15日以内（土日、祝日を除く。）が申立ての期限となります。

基盤教育科目及び全学共通科目について成績評価に対する異議申立てがなされた場合、全学教育機構において学生及び授業担当教員の双方から事情及び意見等を聴取するとともに、根拠資料の提出を求めます。その上で、どちらの主張に妥当性があるかを判断します。

第 II 部

各学部の履修上の注意

1 各学部の履修上の注意

1-1 人文社会科学部学生の履修上の注意（平成30年度入学者）

現代社会学科・法律経済学科

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 4-1 人文社会科学部（現代社会学科・法律経済学科）の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	1	1	3	3	2	3	1	26 単位	
4 単位		10 単位				12 単位						

表 4-2 人文社会科学部（現代社会学科・法律経済学科）の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学		2 単位											2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位						6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康	1 単位												1 単位	前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	1 単位												1 単位	1Q 又は 2Q に履修
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語)	2 単位		1 単位										3 単位	前学期と後学期の一方又は両方(異言語)から履修
	異文化コミ(初修外国語を除く)		1 単位		1 単位										「初修」と合わせて3単位になるように履修
	ヒューマニティーズ		1 単位	1 単位	1 単位									3 単位	2年次の1Q 又は 2Q に1 単位履修
	パフォーマンス&アート		1 単位		1 単位									2 単位	各年にいずれかのクォーターで1 単位履修
	自然・環境と人間		1 単位		1 単位									3 単位	2年次の1Q 又は 2Q に1 単位履修
	グローバル化と人間社会		1 単位		1 単位									1 単位	3年次の1Q 又は 2Q に1 単位履修
ライフデザイン									1 単位				1 単位		

・Q: クォーター

(2) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。
- 3) 「健康の科学」(クォーター科目) は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます。「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください。

科学の基礎 (1 単位必修)

- 1) 「統計学入門」または「科学入門」から 1 単位が必修です。1 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに履修します。
- 2) 1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
※自由履修として 2 単位目を履修する場合は、既に履修した科目とは異なる授業題目のものから選択してください。授業担当教員が異なる場合であっても同じ授業題目のものは履修できません。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) よりも多くの単位を修得した場合であっても、2 年次以降にも指定さ

れた単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション（初修外国語を含む。）（3単位必修）

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」（以下「異文化」と略します）と「初修外国語科目」（以下「初修」と略します）で構成されています。

「異文化」は、同一学期に2単位履修することはできません。

- 1) 1年次に「異文化」「初修」から2～3(または4)単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに「異文化」から0～1単位履修します。1年次に3単位以上を修得する場合は、「初修Ⅰ」を履修する必要があります。
- 2) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語Ⅰ」（2単位）と「〇〇語入門」（1単位）の一方または両方を履修します。両方の科目を履修する場合は、「〇〇語Ⅰ」とは異なる言語の「〇〇語入門」を履修しなければなりません。つまり、同一言語を重ねて（例：「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」）履修することはできません。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋初修入門（1単位） 2年次：異文化（1単位）
 - ・1年次：初修Ⅰ（2単位）＋異文化（1単位）
 - ・1年次：初修Ⅰ（2単位） 2年次：異文化（1単位）
 - ・1年次：初修Ⅰ（2単位）＋初修入門（1単位）（初修Ⅰとは別言語）
 - ・1年次：初修Ⅰ（2単位）＋初修入門（1単位）＋異文化（1単位）（内1単位は自由履修）
- 3) 「学術日本語」を除く「初修」では、希望する学生は「〇〇語Ⅱ」（2単位）を履修することができますが、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。
 - 4) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋学術日本語（1単位） 2年次：異文化（1単位）
- ・1年次：異文化（1単位）＋学術日本語（2単位）
- ・1年次：学術日本語（2単位） 2年次：異文化（1単位）
- ・1年次：学術日本語（2単位）＋初修入門（1単位）
- ・1年次：学術日本語（1単位）＋初修Ⅰ（2単位）
- ・1年次：学術日本語（3単位）

※プレイスメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」（1単位）を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート（3単位必修）

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

自然・環境と人間（2単位必修）

1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

グローバル化と人間社会（3単位必修）

- 1) 1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。
- 2) 「日本国憲法」の履修を希望する場合は2年次に履修してください。「日本国憲法」は、原則と

して同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。なお、法律経済学科の学生は「日本国憲法」を履修できないので注意してください。

ライフデザイン (1単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割(バンド)は次表のようになっています。

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	情報リテラシー			プラクティカル・ イングリッシュ	
	2Q					
2 講時	1Q	初修外国語 I 学術日本語	プラクティカル・ イングリッシュ	心と体の健康 (実技) (講義:2Q)		大学入門ゼミ
	2Q					
3 講時	1Q	情報リテラシー	情報リテラシー	茨城学	(教職共通)	
	2Q					
4 講時	1Q	学術日本語			初修外国語 I	
	2Q					
5 講時	1Q		科学の基礎			
	2Q		科学の基礎			

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q					
	4Q					
2 講時	3Q	初修外国語 II	プラクティカル・ イングリッシュ	心と体の健康 (実技) (講義:4Q)		
	4Q					
3 講時	3Q			茨城学	異文化	
	4Q				ヒューマニティーズ*・P&A	
4 講時	3Q	グローバル化と 人間社会			初修外国語II/入門 学術日本語	ヒューマニティーズ*・P&A
	4Q	グローバル化と 人間社会				異文化
5 講時	3Q		自然・環境と人間			学術日本語
	4Q		自然・環境と人間			

- ・Q: クォーター
- ・異文化: 異文化コミュニケーション(初修外国語を除く)
- ・P&A: パフォーマンス&アート

人間文化学科

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 5-1 人文社会科学部（人間文化学科）の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目												計
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり		キャリアを考える	
						異文化コミュニケーション (初修外国語)	異文化コミュニケーション (初修外国語を除く)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会	
2	2	6	2	1	1	4	1	2	2	2	1	26 単位
4 単位		10 単位				12 単位						

表 5-2 人文社会科学部（人間文化学科）の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学		2 単位											2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位						6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康	1 単位												1 単位	前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	1 単位												1 単位	1Q 又は 2Q に履修
	異文化コミ(初修外国語)	2 単位		2 単位											4 単位
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語を除く)			1 単位	1 単位									1 単位	いずれかのクォーターで 1 単位履修
	ヒューマニティーズ			1 単位	1 単位									2 単位	各年にいずれかのクォーターで 1 単位履修
	パフォーマンス&アート			1 単位	1 単位									2 単位	各年にいずれかのクォーターで 1 単位履修
	自然・環境と人間			1 単位	1 単位									2 単位	各年にいずれかのクォーターで 1 単位履修
	グローバル化と人間社会			1 単位	1 単位									2 単位	各年にいずれかのクォーターで 1 単位履修
	ライフデザイン									1 単位				1 単位	3年次の 1Q 又は 2Q に 1 単位履修

・Q：クォーター

(2) 履修登録単位数の上限（CAP 制）

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。
- 3) 「健康の科学」(クォーター科目) は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます。「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください。

科学の基礎 (1 単位必修)

- 1) 「統計学入門」または「科学入門」から 1 単位が必修です。1 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに履修します。
- 2) 1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
※自由履修として 2 単位目を履修する場合は、既に履修した科目とは異なる授業題目のものから選択してください。授業担当教員が異なる場合であっても同じ授業題目のものは履修できません。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) よりも多くの単位を修得した場合であっても、2 年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション (初修外国語を含む。) (初修 4 単位 + 異文化 1 単位の 5 単位必修)

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」(以下「異文化」と略しま

す)と「初修外国語科目」(以下「初修」と略します)で構成されています。

「異文化」は、同一学期に2単位履修することはできません。

- 1) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語Ⅰ」を1年次の前学期に2単位履修(必修)し、「〇〇語Ⅱ」(前学期と同言語)を1年次の後学期に2単位履修(必修)します。「〇〇語Ⅱ」を履修するには、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。
- 2) また、1年次の第3クォーターもしくは第4クォーター、または2年次の第1クォーターもしくは第2クォーターに「異文化」から1単位(必修)履修します。
- 3) 「学術日本語」を除く「初修」では、上記1)とは別に、2年次以降に自由履修として「〇〇語入門」(1単位)を履修することもできますが、その場合「〇〇語Ⅰ」とは異なる言語の「〇〇語入門」を履修しなければなりません。つまり、同一言語を重ねて(例:「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」)履修することはできません。
- 4) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

・1年次:異文化(1単位)+学術日本語(4単位)

※プレイスメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」(1単位)を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ/パフォーマンス&アート (2単位必修)

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

自然・環境と人間 (2単位必修)

1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

グローバル化と人間社会 (2単位必修)

- 1) 1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。
- 2) 「日本国憲法」の履修を希望する場合は2年次に履修してください。「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	情報リテラシー			プラクティカル・ イングリッシュ	
	2Q					
2 講時	1Q	初修外国語 I 学術日本語	プラクティカル・ イングリッシュ	心と体の健康 (実技) (講義:1Q)		
	2Q					
3 講時	1Q	情報リテラシー	情報リテラシー		(教職共通)	
	2Q					
4 講時	1Q	学術日本語		茨城学	初修外国語 I	
	2Q					
5 講時	1Q		科学の基礎		大学入門ゼミ	
	2Q		科学の基礎			

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q					
	4Q					
2 講時	3Q	初修外国語 II	プラクティカル・ イングリッシュ	心と体の健康 (実技) (講義:4Q)		
	4Q					
3 講時	3Q				異文化	
	4Q				ヒューマニティーズ [※] ・P&A	
4 講時	3Q	グローバル化と 人間社会		茨城学	初修外国語 II 学術日本語	ヒューマニティーズ [※] ・P&A
	4Q	グローバル化と 人間社会				異文化
5 講時	3Q		自然・環境と人間			学術日本語
	4Q		自然・環境と人間			

- ・ Q : クォーター
- ・ 異文化 : 異文化コミュニケーション (初修外国語を除く)
- ・ P&A : パフォーマンス&アート

1-2 教育学部学生の履修上の注意（平成30年度入学者）

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 6-1 教育学部の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	2	1	2	2		2	3	1	25 単位
4 単位		11 単位				10 単位						

表 6-2 教育学部の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学		2 単位											2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位	1 単位	1 単位				1 単位				6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康		1 単位		1 単位									2 単位	各年次の前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	1 単位												1 単位	1Q 又は 2Q に履修
	異文化コミ(初修外国語)			1 単位										2 単位	合計 2 単位になるように履修
異文化コミ(初修外国語を除く)			1 単位		1 単位										
リベラルアーツ科目	ヒューマニティーズ パフォーマンス&アート			1 単位	1 単位									2 単位	
	自然・環境と人間			1 単位	1 単位									2 単位	
	グローバル化と人間社会			1 単位				1 単位	1 単位					3 単位	2年次に「日本国憲法」を履修(集中講義の履修も可)
	ライフデザイン									1 単位				1 単位	3年次の 1Q 又は 2Q に 1 単位履修

・Q：クォーター

(2) 履修登録単位数の上限（CAP 制）

卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。ただし、卒業要件として定められている免許状以外の免許状等取得のための特例として、指導教員又は教務委員等の履修指導を受けた上で年間 46 単位を超えて履修登録することができる場合があります。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部（課程・選修・コース）ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター（連続）に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部（課程・選修・コース）ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康（「身体活動」2 単位必修）

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に 1 単位、2 年次の前学期または後学期に 1 単位、指定されたクラスで履修します。
- 2) 「健康の科学」（クォーター科目）は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます（「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください）。

科学の基礎 (1 単位必修)

- 1) 「統計学入門」または「科学入門」から 1 単位が必修です。1 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに履修します。
- 2) 1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
※自由履修として 2 単位目を履修する場合は、既に履修した科目とは異なる授業題目のものから選択してください。授業担当教員が異なる場合であっても同じ授業題目のものは履修できません。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1 年次の履修指定単位数（最低履修単位数）を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1 年次の履修指定単位数（最低履修単位数）よりも多くの単位を修得した場合であっても、2 年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション（初修外国語を含む。）(2 単位必修)

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」（以下「異文化」と略します）と「初修外国語科目」（以下「初修」と略します）で構成されています。

「異文化」は、同一学期に2単位履修することはできません。

- 1) 1年次に「初修」「異文化」から1～2単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに「異文化」から0～1単位履修します。1年次に2単位を修得する場合は、「初修」を履修する必要があります。
- 2) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語入門」(1単位)を履修することができます。「〇〇語入門」は履修せず、「異文化」のみで卒業要件を満たすこともできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化(1単位)＋初修入門(1単位)
 - ・1年次：異文化(1単位) 2年次：異文化(1単位)
 - ・1年次：初修入門(1単位) 2年次：異文化(1単位)
- 3) 「学術日本語」を除く「初修」では、上記2)とは別に、2年次以降に自由履修として「〇〇語Ⅰ」(2単位)を履修することもできますが、その場合「〇〇語入門」とは異なる言語の「〇〇語Ⅰ」を履修しなければなりません。同一言語を重ねて(例：「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」)履修することはできません。
 - 4) 「学術日本語」を除く「初修」では、希望する学生は自由履修として「〇〇語Ⅱ」(2単位)を履修することができますが、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。
 - 5) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化(1単位)＋学術日本語(1単位)
- ・1年次：学術日本語(1単位) 2年次：異文化(1単位)

※プレイスメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」(1単位)を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート (2単位必修)

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位履修します。

自然・環境と人間 (2単位必修)

1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位履修します。

グローバル化と人間社会 (3単位必修)

- 1) 1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第3クォーター及び第4クォーターまたは集中講義で「日本国憲法」2単位を履修します。
- 2) 「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

「大学入門ゼミ」及び「情報リテラシー」については、課程・選修・コースによって開講される曜日・講時が異なりますので、注意してください。

P1・・・国語選修、社会選修、英語選修、音楽選修、家庭選修

P2・・・数学選修、理科選修、技術選修、特別支援教育コース

P3・・・美術選修、保健体育選修、教育実践科学コース、養護教諭養成課程

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ		大学入門ゼミ (P2)		情報リテラシー (P2)
	2Q					
2 講時	1Q	学術日本語		プラクティカル・ イングリッシュ	大学入門ゼミ (P3)	情報リテラシー (P3)
	2Q					
3 講時	1Q	心と体の健康 (実技) (講義:1Q)	大学入門ゼミ (P1)			
	2Q					
4 講時	1Q	学術日本語				
	2Q		茨城学			
5 講時	1Q		科学の基礎		情報リテラシー (P1)	
	2Q		科学の基礎			

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ				
	4Q					
2 講時	3Q					
	4Q					
3 講時	3Q	心と体の健康 (実技) (講義:4Q)			異文化 ヒューマニティーズ ^o ・P&A	
	4Q					
4 講時	3Q	グローバル化と 人間社会	茨城学		初修外国語 学術日本語	ヒューマニティーズ ^o ・P&A
	4Q					
5 講時	3Q		自然・環境と人間			学術日本語
	4Q		自然・環境と人間			

・Q：クォーター

・異文化：異文化コミュニケーション（初修外国語を除く）

・P&A：パフォーマンス&アート

1-3 理学部学生の履修上の注意（平成30年度入学者）

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 7-1 理学部の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	1	2(3)	2	2	2	2	3	1	25(26)単位
4単位		11(12)単位				10単位						

※（ ）内の単位数は、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム（JABEEプログラム）の必要最低修得単位数です。

表 7-2 理学部の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2単位												2単位	
	茨城学		2単位											2単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2単位		1単位		1単位		1単位		1単位				6単位	
	情報リテラシー	2単位												2単位	
	心と体の健康	1単位												1単位	前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	1単位				1(2)単位								2(3)単位	各年次で1Q又は2Qに履修※
	異文化コミ(初修外国語)			1単位										2単位	合計2単位になるように履修
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語を除く)			1単位		1単位								2単位	各年にいずれかのクォーターで1単位履修
	ヒューマニティーズ パフォーマンス&アート			1単位		1単位								2単位	
	自然・環境と人間			1単位	1単位									2単位	
	グローバル化と人間社会			1単位	1単位	1単位								3単位	2年次の1Q又は2Qに1単位履修
	ライフデザイン									1単位				1単位	3年次の1Q又は2Qに1単位履修

・Q:クォーター

※（ ）内の単位数は、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム（JABEEプログラム）の必要最低修得単位数です。JABEEプログラムでは、2年次に「科学と倫理A」を2単位（各クォーター1単位）履修します。

(2) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (コース等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。
- 3) クラス分けについては、掲示等を確認してください。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。
- 3) 「健康の科学」(クォーター科目)は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます(「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください)。

科学の基礎 (2 単位または 3 単位必修)

- 1) 「数学基礎」「物理学基礎」「化学基礎」「生物学基礎」から 1 単位が必修です。1 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。ただし、自由履修として 2 単位目を履修する場合は、既に修得した科目とは異なる授業科目のものから選択してください。
- 2) 「科学と倫理 A」1 単位が必修です。2 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
ただし、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム (JABEE プログラム) では「科学と倫理 A」は 2 単位必修になります。2 年次の第 1 クォーター及び第 2 クォーターに指定されたクラスで「科学と倫理 A」を各 1 単位履修します。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1年次の履修指定単位数（最低履修単位数）を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1年次の履修指定単位数（最低履修単位数）よりも多くの単位を修得した場合であっても、2年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション（初修外国語を含む。）（2単位必修）

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」（以下「異文化」と略します）と「初修外国語科目」（以下「初修」と略します）で構成されています。

「異文化」は、同一学期に2単位履修することはできません。

- 1) 1年次に「初修」「異文化」から1～2単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに「異文化」から0～1単位履修します。1年次に2単位を修得する場合は、「初修」を履修する必要があります。
- 2) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語入門」（1単位）を履修することができます。「〇〇語入門」は履修せず、「異文化」のみで卒業要件を満たすこともできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋初修入門（1単位）
- ・1年次：異文化（1単位） 2年次：異文化（1単位）
- ・1年次：初修入門（1単位） 2年次：異文化（1単位）

- 3) 「学術日本語」を除く「初修」では、上記2)とは別に、2年次以降に自由履修として「〇〇語Ⅰ」（2単位）を履修することもできますが、その場合「〇〇語入門」とは異なる言語の「〇〇語Ⅰ」を履修しなければなりません。同一言語を重ねて（例：「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」）履修することはできません。
- 4) 「学術日本語」を除く「初修」では、希望する学生は自由履修として「〇〇語Ⅱ」（2単位）を履修することができますが、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。
- 5) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋学術日本語（1単位）
- ・1年次：学術日本語（1単位） 2年次：異文化（1単位）

※プレイスメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」（1単位）を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート（2単位必修）

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

自然・環境と人間（2単位必修）

1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位履修します。

グローバル化と人間社会 (3 単位必修)

- 1) 1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。
- 2) 「日本国憲法」の履修を希望する場合は2年次に履修してください。「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1 単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q			心と体の健康 (実技) (講義:2Q)	プラクティカル・ イングリッシュ	
	2Q					
2 講時	1Q	情報リテラシー	プラクティカル・ イングリッシュ		大学入門ゼミ	
	2Q					
3 講時	1Q	学術日本語				科学の基礎
	2Q					科学の基礎
4 講時	1Q	学術日本語				
	2Q					
5 講時	1Q	情報リテラシー			(教職共通)	
	2Q		茨城学			

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q			心と体の健康 (実技) (講義:3Q)		
	4Q					
2 講時	3Q		プラクティカル・ イングリッシュ			
	4Q					
3 講時	3Q	(教職共通)			異文化 ヒューマニティーズ [※] ・P&A	
	4Q					
4 講時	3Q	グローバル化と 人間社会	自然・環境と人間			ヒューマニティーズ [※] ・P&A
	4Q	グローバル化と 人間社会	自然・環境と人間			異文化
5 講時	3Q		茨城学		初修外国語 学術日本語	学術日本語
	4Q					

- ・ Q: クォーター
- ・ 異文化: 異文化コミュニケーション (初修外国語を除く)
- ・ P&A: パフォーマンス&アート

1-4 工学部学生の履修上の注意（平成30年度入学者）

工学部 全学科昼間コース

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 8-1 工学部の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	1	6	2	2		2	3	1	29 単位
4 単位		15 単位				10 単位						

表 8-2 工学部の基盤教育科目履修基準

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学		2 単位											2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位		1 単位		1 単位		1 単位				6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康	1 単位												1 単位	前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	4 単位				2 単位								6 単位	2年次は前学期又は後学期に履修
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語)			1 単位										2 単位	合計 2 単位になるように履修
	異文化コミ(初修外国語を除く)			1 単位		1 単位			1 単位						
	ヒューマニティーズ パフォーマンス&アート			1 単位		1 単位			1 単位				2 単位	1年次に 1 単位、2~3 年次に 1 単位履修	
	自然・環境と人間			1 単位			1 単位				1 単位		2 単位	1年次に 1 単位、2~3 年次に 1 単位履修	
	グローバル化と人間社会			1 単位		1 単位			1 単位				3 単位	各年にいずれかのクォーターで 1 単位履修	
	ライフデザイン								1 単位				1 単位	3年次の 1Q 又は 2Q に 1 単位履修	

・Q: クォーター

(2) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科等) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。
- 3) 「健康の科学」(クォーター科目) は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます。「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください。

科学の基礎 (6 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に「微積分学」及び「力と運動」(各 2 単位) をそれぞれ指定されたクラスで履修します。

ただし、入学後に行う数学の基礎テストの結果により必要と判断された場合、「微積分学」に代えて、1 年次の第 1 クォーターに「微積分学入門」(2 単位: 週 2 回授業) 及び 1 年次の第 2 クォーターに「微積分学基礎」(2 単位: 週 2 回授業) の計 4 単位を履修します。

同様に、物理学の基礎テストの結果により必要と判断された場合には、「力と運動」に代えて、1 年次の第 1 クォーターに「力学入門」(2 単位: 週 2 回授業) 及び 1 年次の第 2 クォーターに「力学基礎」(2 単位: 週 2 回授業) の計 4 単位を履修します。

この場合、「微積分学入門」「力学入門」は自由履修の単位に算入されます。

- 2) 2 年次の前学期または後学期に「科学と倫理 B」(2 単位) を指定されたクラスで履修します。「科学と倫理 B」は 2 単位を超えて履修することはできません。
- 3) 「数学基礎」「物理学基礎」「化学基礎」「生物学基礎」を履修することもできますが、修得した単位は自由履修の単位に算入されます。ただし、2 単位目を履修する場合は、既に修得した科目とは異なる授業科目のものから選択してください。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1年次の履修指定単位数（最低履修単位数）を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1年次の履修指定単位数（最低履修単位数）よりも多くの単位を修得した場合であっても、2年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション（初修外国語を含む。）（2単位必修）

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」（以下「異文化」と略します）と「初修外国語科目」（以下「初修」と略します）で構成されています。

「異文化」は、同一学期に2単位履修することはできません。

- 1) 1年次に「初修」「異文化」から1～2単位、2～3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに「異文化」から0～1単位履修します。1年次に2単位を修得する場合は、「初修」を履修する必要があります。
- 2) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語入門」（1単位）を履修することができます。「〇〇語入門」は履修せず、「異文化」のみで卒業要件を満たすこともできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋初修入門（1単位）
- ・1年次：異文化（1単位） 2～3年次：異文化（1単位）
- ・1年次：初修入門（1単位） 2～3年次：異文化（1単位）

- 3) 「学術日本語」を除く「初修」では、上記2)とは別に、2年次以降に自由履修として「〇〇語Ⅰ」（2単位）を履修することもできますが（ただし、水戸地区で履修することになります）、その場合「〇〇語入門」とは異なる言語の「〇〇語Ⅰ」を履修しなければなりません。同一言語を重ねて（例：「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」）履修することはできません。
- 4) 「学術日本語」を除く「初修」では、希望する学生は自由履修として「〇〇語Ⅱ」（2単位）を履修することができますが（ただし、水戸地区で履修することになります）、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。
- 5) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化（1単位）＋学術日本語（1単位）
- ・1年次：学術日本語（1単位） 2～3年次：異文化（1単位）

※プレースメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」（1単位）を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート（2単位必修）

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2～3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位履修します。

自然・環境と人間（2単位必修）

1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2～3年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位履修します。

グローバル化と人間社会 (3 単位必修)

- 1) 1年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位、2年次の第1クォーター～第4クォーターに1単位、3年次の第1クォーター～第4クォーターに1単位履修します。
- 2) 「日本国憲法」の履修を希望する場合は2年次に履修してください。「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1 単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

[情報工学科]

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	科学の基礎 (力学入門)		プラクティカル・ イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康 (実技) (講義:1Q)
	2Q	科学の基礎 (力学基礎)				
2 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ				
	2Q					
3 講時	1Q	学術日本語				(科学の基礎)
	2Q					(科学の基礎)
4 講時	1Q	学術日本語	科学の基礎 (力と運動) (力学入門:1Q) (力学基礎:2Q)		科学の基礎 (微積分学) (微積分学入門:1Q) (微積分学基礎:2Q)	大学入門ゼミ
	2Q					
5 講時	1Q	科学の基礎 (微積分学入門)			(教職共通)	
	2Q	科学の基礎 (微積分学基礎)	茨城学			

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q					心と体の健康 (実技) (講義:3Q)
	4Q					
2 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ				
	4Q					
3 講時	3Q				ヒューマンティーズ ^o ・P&A	グローバル化と 人間社会
	4Q				異文化	グローバル化と 人間社会
4 講時	3Q		自然・環境と人間			異文化
	4Q		自然・環境と人間			ヒューマンティーズ ^o ・P&A
5 講時	3Q		茨城学		初修外国語 学術日本語	学術日本語
	4Q					

- ・Q: クォーター
- ・異文化: 異文化コミュニケーション (初修外国語を除く)
- ・P&A: パフォーマンス&アート

[都市システム、物質科学]

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	科学の基礎 (力学入門)	情報リテラシー (都市)	プラクティカル・ イングリッシュ		心と体の健康 (実技) (講義:1Q)
	2Q	科学の基礎 (力学基礎)				
2 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ			大学入門ゼミ(都市)	
	2Q					
3 講時	1Q	学術日本語		茨城学		(科学の基礎)
	2Q					(科学の基礎)
4 講時	1Q	学術日本語	科学の基礎 (力と運動) (力学入門:1Q) (力学基礎:2Q)		科学の基礎 (微積分学) (微積分学入門:1Q) (微積分学基礎:2Q)	
	2Q					
5 講時	1Q	科学の基礎 (微積分学入門)	大学入門ゼミ(物質)		(教職共通)	情報リテラシー (物質)
	2Q	科学の基礎 (微積分学基礎)				

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q					心と体の健康 (実技) (講義:3Q)
	4Q					
2 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ				
	4Q					
3 講時	3Q			茨城学	ヒューマンティーズ [®] ・P&A	グローバル化と 人間社会
	4Q					異文化
4 講時	3Q		自然・環境と人間			異文化
	4Q		自然・環境と人間			ヒューマンティーズ [®] ・P&A
5 講時	3Q				初修外国語 学術日本語	学術日本語
	4Q					

- ・ Q : クォーター
- ・ 異文化 : 異文化コミュニケーション (初修外国語を除く)
- ・ P&A : パフォーマンス&アート

[機械システム、電気電子システム]

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	科学の基礎 (力学入門)	情報リテラシー(電 気)	プラクティカル・ イングリッシュ		
	2Q	科学の基礎 (力学基礎)				
2 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ	情報リテラシー(機 械)			心と体の健康 (実技) (講義:1Q)
	2Q					
3 講時	1Q	学術日本語			大学入門ゼミ(電気)	(科学の基礎)
	2Q					(科学の基礎)
4 講時	1Q	学術日本語	科学の基礎 (力と運動) (力学入門:1Q) (力学基礎:2Q)	茨城学	科学の基礎 (微積分学) (微積分学入門:1Q) (微積分学基礎:2Q)	
	2Q					
5 講時	1Q	科学の基礎 (微積分学入門)	大学入門ゼミ(機械)		(教職共通)	
	2Q	科学の基礎 (微積分学基礎)				

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q					
	4Q					
2 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ				心と体の健康 (実技) (講義:3Q)
	4Q					
3 講時	3Q				ヒューマニティーズ [※] ・P&A	グローバル化と 人間社会
	4Q				異文化	グローバル化と 人間社会
4 講時	3Q		自然・環境と人間	茨城学		異文化
	4Q		自然・環境と人間			
5 講時	3Q				初修外国語 学術日本語	学術日本語
	4Q					

- ・Q: クォーター
- ・異文化: 異文化コミュニケーション(初修外国語を除く)
- ・P&A: パフォーマンス&アート

機械システム工学科 フレックスコース

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 9-1 工学部（機械システム工学科 フレックスコース）の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	1	6	2	2	2	3	1	29 単位	
4 単位		15 単位				10 単位						

表 9-2 工学部（機械システム工学科 フレックスコース）の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学		2 単位											2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位		1 単位		1 単位		1 単位				6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康	1 単位												1 単位	
	科学の基礎	4 単位					2 単位							6 単位	
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語)					1 単位		1 単位						2 単位	合計 2 単位になるように履修
	異文化コミ(初修外国語を除く)					1 単位			1 単位						
	ヒューマニティーズ パフォーマンス&アート						2 単位			1 単位			2 単位	いずれかのクォーターで 2 単位履修	
	自然・環境と人間			1 単位				1 単位					2 単位	各年次(=1年次と2年次)にいずれかのクォーターで 1 単位履修	
	グローバル化と人間社会			3 単位						1 単位			3 単位	1~3年次のいずれかのクォーターで計 3 単位履修	
	ライフデザイン									1 単位			1 単位	3年次の 1Q 又は 2Q に 1 単位履修	

・Q：クォーター

(2) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。

科学の基礎 (6 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に「微積分学」及び「力と運動」(各 2 単位) を履修します。
- 2) 2 年次の後学期に指定されたクラスで「科学と倫理 B」(2 単位) を履修します。「科学と倫理 B」は 2 単位を超えて履修することはできません。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1、2 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1、2 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) よりも多くの単位を修得した場合であっても、1 年次の場合は 2 年次以降、2 年次の場合は 3 年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション (初修外国語を含む。) (2 単位必修)

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」(以下「異文化」と略します) と「初修外国語科目」(以下「初修」と略します) で構成されています。

「異文化」は、同一学期に 2 単位履修することはできません。

- 1) 「異文化」を履修する場合は、2 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに 1 単位、3 年次

の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位を履修します。

- 2) 「初修」として、2年次の前学期に「ドイツ語基礎Ⅰ」(1単位)、後学期に「ドイツ語基礎Ⅱ」(1単位)を履修することができます。「ドイツ語基礎Ⅱ」を履修するためには「ドイツ語基礎Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。

[履修パターン]

- ・2～3年次：異文化(1単位)＋2年次：ドイツ語基礎Ⅰ または ドイツ語基礎Ⅱ(1単位)
- ・2年次：異文化(1単位)＋3年次：異文化(1単位)
- ・2年次：ドイツ語基礎Ⅰ(1単位)＋ドイツ語基礎Ⅱ(1単位)

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート (2単位必修)

- 1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。
- 2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、2年次の第1クォーター～第2クォーター、3年次の第1クォーター～第2クォーターに計2単位を履修します。

自然・環境と人間 (2単位必修)

1年次の第4クォーターに1単位、2年次の第3クォーターまたは第4クォーターに1単位履修します。

グローバル化と人間社会 (3単位必修)

- 1) 1年次の第3クォーター～第4クォーター、2年次の第1クォーター～第4クォーター、3年次の第1クォーター～第2クォーターに3単位を履修します。
- 2) 「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1単位必修)

- 1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。
- 2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 工学部昼間コースの基盤教育科目の履修について

機械システム工学科フレックスコースの学生は、工学部昼間コース向けの基盤教育科目を履修した場合、10単位を上限としてフレックスコースの基盤教育科目の必修単位とすることができます。必修単位にできないもの(指定された年次より以前に修得した単位、履修指定単位数を超えて修得した単位等)は自由履修の単位となります。ただし、履修にあたり次の制約があります。

・昼間コースのプラクティカル・イングリッシュ、初修外国語は水戸・日立開講どちらの場合も履修できません。ただし例外として、プラクティカル・イングリッシュの集中講義に関しては、水戸・日立開講どちらの場合も履修し必修単位とすることができます。

・昼間コースの科学の基礎「微積分学」、「力と運動」は、水戸・日立開講どちらの場合も履修できません。ただし、日立開講昼間コースの「微積分学」、「力と運動」については、再履修の場合のみ履修できます。

また、履修申告の際に担当教員及び機械システム工学科長の承認を得る必要があります。

水戸開講の基盤教育科目についても、履修できるものがあります。詳細については、工学部学務第一係に問い合わせてください。

(7) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

前学期		月	火	水	木	金
6 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ	情報リテラシー	茨城学	大学入門ゼミ	プラクティカル・ イングリッシュ
	2Q					
7 講時	1Q			科学の基礎 (微積分学)	心と体の健康 (実技)	科学の基礎 (力と運動)
	2Q					

後学期		月	火	水	木	金
6 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ	グローバル化と人間 社会	茨城学		
	4Q					
7 講時	3Q					
	4Q					

・Q：クォーター

1-5 農学部学生の履修上の注意（平成30年度入学者）

(1) 基盤教育科目の履修基準

表 10-1 農学部の基盤教育科目履修基準

基 盤 教 育 科 目											計	
入門科目		共通基礎科目				リベラルアーツ科目						
大学入門ゼミ	茨城学	プラクティカル・イングリッシュ	情報リテラシー	心と体の健康	科学の基礎	多文化理解			自然と社会の広がり			キャリアを考える
						異文化コミュニケーション (初修外国語含む)	ヒューマニティーズ	パフォーマンス&アート	自然・環境と人間	グローバル化と人間社会		ライフデザイン
2	2	6	2	1	3	2	3		2	4	1	28 単位
4 単位		12 単位				12 単位						

表 10-2 農学部の基盤教育科目履修モデル

科目区分	年次・学期・クォーター	1年次				2年次				3年次				必要 単位数	備 考
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
入門科目	大学入門ゼミ	2 単位												2 単位	
	茨城学	2 単位												2 単位	
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ	2 単位		1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位						6 単位	
	情報リテラシー	2 単位												2 単位	
	心と体の健康	1 単位												1 単位	前学期又は後学期に履修
	科学の基礎	1 単位	1 単位			1 単位								3 単位	2年次の1Q又は2Qに1単位履修
	異文化コミ(初修外国語)			1 単位										2 単位	合計2単位になるように履修
リベラルアーツ科目	異文化コミ(初修外国語を除く)			1 単位		1 単位									
	ヒューマニティーズ			1 単位	1 単位	1 単位								3 単位	2年次の1Q～4Qに1単位履修
	パフォーマンス&アート			1 単位	1 単位	1 単位									
	自然・環境と人間			1 単位	1 単位									2 単位	
	グローバル化と人間社会			1 単位	1 単位	1 単位	1 単位							4 単位	2年次の1Q又は2Qに1単位、3Q又は4Qに1単位履修
ライフデザイン									1 単位				1 単位	3年次の1Q又は2Qに1単位履修	

・Q: クォーター

(2) 履修登録単位数の上限 (CAP 制)

教職科目など卒業要件外の科目や集中講義の単位を除き、履修登録できる単位数の上限は年間 46 単位です。

(3) 入門科目の履修

大学入門ゼミ (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部 (学科) ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

茨城学 (2 単位必修)

- 1) 1 年次の第 2 クォーター・第 3 クォーター (連続) に指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

(4) 共通基礎科目の履修

プラクティカル・イングリッシュ (6 単位必修)

- 1) 1 年次に Integrated English (3 単位)、2 年次に Advanced English (2 単位)、3 年次に Advanced English (1 単位) を履修します。
- 2) 同一授業科目名を重複して単位修得することはできません。

情報リテラシー (2 単位必修)

- 1) 1 年次の前学期に学部ごとに指定のクラスで履修します。
- 2) 2 単位を超えて履修することはできません。

心と体の健康 (「身体活動」1 単位必修)

- 1) 「身体活動」を 1 年次の前学期または後学期に指定されたクラスで履修します。1 単位を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。
- 2) 教育職員免許状取得希望者は、2 年次に「身体活動」を更に 1 単位履修してください。
- 3) 「健康の科学」(クォーター科目) は、希望者が「身体活動」に加えて履修し、自由履修の単位に充当することができます。「健康の科学」を必修の「身体活動」の単位に充てることはできないので注意してください。

科学の基礎 (3 単位必修)

- 1) 1 年次の第 1 クォーター及び第 2 クォーターに「数学基礎」「物理学基礎」「化学基礎」「生物学基礎」から、異なる 2 科目 (1 単位+1 単位) を履修します。「数学基礎」「物理学基礎」「化学基礎」「生物学基礎」は、2 単位を超えて履修することはできません。
- 2) 2 年次の第 1 クォーターまたは第 2 クォーターに指定されたクラスで「科学と倫理 A」(1 単位) を履修します。「科学と倫理 A」は 1 単位を超えて履修することはできません。

(5) リベラルアーツ科目の履修

リベラルアーツ科目では、年次毎に履修すべき単位数が定められています。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) を超えて修得した単位は自由履修の単位に算入されます。1 年次の履修指定単位数 (最低履修単位数) よりも多くの単位を修得した場合であっても、2 年次以降にも指定された単位数を修得してください。

異文化コミュニケーション (初修外国語を含む。) (2 単位必修)

「異文化コミュニケーション」は「異文化コミュニケーション科目」(以下「異文化」と略します) と「初修外国語科目」(以下「初修」と略します) で構成されています。

「異文化」は、同一学期に 2 単位履修することはできません。

1) 1年次に「初修」「異文化」から1～2単位、2年次の第1クォーター～第4クォーターに「異文化」から0～1単位履修します。1年次に2単位を修得する場合は、「初修」を履修する必要があります。

2) 「学術日本語」を除く「初修」では、「〇〇語入門」(1単位)を履修することができます。「〇〇語入門」は履修せず、「異文化」のみで卒業要件を満たすこともできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化(1単位)＋初修入門(1単位)
- ・1年次：異文化(1単位) 2年次：異文化(1単位)
- ・1年次：初修入門(1単位) 2年次：異文化(1単位)

3) 「学術日本語」を除く「初修」では、上記2)とは別に、2年次以降に自由履修として「〇〇語Ⅰ」(2単位)を履修することもできますが(ただし、水戸地区で履修することになります)、その場合「〇〇語入門」とは異なる言語の「〇〇語Ⅰ」を履修しなければなりません。同一言語を重ねて(例：「ドイツ語Ⅰ」と「ドイツ語入門」)履修することはできません。

4) 「学術日本語」を除く「初修」では、希望する学生は自由履修として「〇〇語Ⅱ」(2単位)を履修することができますが(ただし、水戸地区で履修することになります)、「〇〇語Ⅰ」修了程度の学力を有することが望まれます。

5) 外国人留学生は以下のように履修することもできます。

[履修パターン]

- ・1年次：異文化(1単位)＋学術日本語(1単位)
- ・1年次：学術日本語(1単位) 2年次：異文化(1単位)

※プレイスメントテストで一定水準に達しなかったものは必ず「学術日本語Ⅰ」(1単位)を含んで履修してください。

ヒューマニティーズ／パフォーマンス&アート (3単位必修)

1) 「ヒューマニティーズ」と「パフォーマンス&アート」の組み合わせは問いません。

2) 「ヒューマニティーズ」及び「パフォーマンス&アート」から、1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位、2年次の第1クォーター～第4クォーターに1単位履修します。

自然・環境と人間 (2単位必修)

1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位履修します。2年次の第1クォーター及び第2クォーターにも開講されるので、2年次に阿見地区(農学部)で履修することもできますが、できるだけ1年次に履修してください。

グローバル化と人間社会 (4単位必修)

1) 1年次の第3クォーター及び第4クォーターに各1単位、2年次の第1クォーターまたは第2クォーターに1単位、第3クォーターまたは第4クォーターに1単位履修します。

2) 「日本国憲法」の履修を希望する場合は1年次に履修してください(2年次に阿見地区(農学部)では開講されないので注意してください)。「日本国憲法」は、原則として同一担当教員の授業を同一学期内に連続して履修することになります。

ライフデザイン (1単位必修)

1) 3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。

2) 1単位を超えて履修することはできません。

(6) 基盤教育科目の授業時間割

基盤教育科目の授業時間割は、履修基準に従い、卒業に必要な単位を修得しやすいように編成されています。各科目の時間割（バンド）は次表のようになっています。

前学期		月	火	水	木	金
1 講時	1Q	プラクティカル・ イングリッシュ		心と体の健康 (実技) (講義:2Q)	大学入門ゼミ	
	2Q					
2 講時	1Q	学術日本語		プラクティカル・ イングリッシュ	情報リテラシー	
	2Q					
3 講時	1Q				(教職共通)	科学の基礎
	2Q					科学の基礎
4 講時	1Q	学術日本語				
	2Q					
5 講時	1Q		茨城学			
	2Q					

後学期		月	火	水	木	金
1 講時	3Q	プラクティカル・ イングリッシュ		心と体の健康 (実技) (講義:3Q)		
	4Q					
2 講時	3Q					
	4Q					
3 講時	3Q	(教職共通)			ヒューマニティーズ*・P&A	グローバル化と 人間社会
	4Q				異文化	グローバル化と 人間社会
4 講時	3Q	グローバル化と 人間社会 (憲法)	自然・環境と人間		初修外国語 学術日本語	異文化
	4Q	グローバル化と 人間社会 (憲法)	自然・環境と人間			ヒューマニティーズ*・P&A
5 講時	3Q		茨城学			
	4Q					

- ・Q：クォーター
- ・異文化：異文化コミュニケーション（初修外国語を除く）
- ・P&A：パフォーマンス&アート

第 Ⅲ 部

開 講 授 業 科 目

1 基盤教育科目の構成

基盤教育科目で開講される授業科目は、次の表のとおりです。

科目群	科目区分		授業科目	開講形態	1科目あたり		授業形態				
					授業回数	単位数					
入門科目	大学入門ゼミ		大学入門ゼミ	セメスター	15回	2単位	演習				
	茨城学		茨城学	通年	15回	2単位	講義				
共通基礎科目	プラクティカル・イングリッシュ		Integrated English I A・II A・III A	セメスター	30回	2単位	演習				
			Integrated English I B・II B・III B								
			Advanced English I A・I B・II A・II B・III A・III B・III C								
	情報リテラシー		情報リテラシー	セメスター	15回	2単位	講義				
	心と体の健康		身体活動	セメスター	15回	1単位	実技				
			健康の科学	クォーター	8回	1単位	講義				
	科学の基礎		統計学入門、科学入門	クォーター	8回	1単位	講義				
			数学基礎、物理学基礎、化学基礎、生物学基礎	クォーター	8回	1単位	講義				
			微積分学入門、力学入門	クォーター	15回	2単位	講義				
			微積分学基礎、力学基礎	クォーター	15回	2単位	講義				
			微積分学、力と運動	セメスター	15回	2単位	講義				
			科学と倫理A (2年次に履修)	クォーター	8回	1単位	講義				
			科学と倫理B (2年次に履修)	セメスター	15回	2単位	講義				
リベラルアーツ科目	多文化理解	異文化コミュニケーション	初修外国語	ドイツ語 I・II	セメスター	30回	2単位	演習			
				フランス語 I・II							
				中国語 I・II							
				朝鮮語 I・II							
				スペイン語 I・II							
				ドイツ語入門					15回	1単位	演習
				フランス語入門							
				中国語入門							
				朝鮮語入門							
				スペイン語入門							
				ドイツ語基礎 I・II							
				学術日本語 I・II A・II B・II C							
				人間とコミュニケーション					クォーター	8回	1単位
		多文化共生	クォーター	8回	1単位	講義					
		コミュニケーションと芸術文化									

※茨城学は通年開講となっておりますが、授業としては第2・3クォーターに開講されます。教務情報ポータルシステムへの登録は前学期の登録期間に登録してください。

※授業回数が15回となっている授業で、期末試験を実施する場合、期末試験は16回目に実施します。

科目群	科目区分	授業科目	開講形態	1科目あたり		授業形態	
				授業回数	単位数		
リベラル アーツ 科目	多文化 理解	ヒューマニティーズ	思想・文学	クォーター	8回	1単位	講義
		歴史・考古学					
		人間科学					
		メディア文化					
	パフォーマンス & アート	スポーツ文化	クォーター	8回	1単位	演習	
		音楽文化					
		美術文化					
		ダンス・演劇文化					
	自然と社会 の広がり	自然・環境と人間	物質と生命	クォーター	8回	1単位	講義
			技術と社会				
			環境と人間				
		グローバル化と人間社会	法律・政治	クォーター	8回	1単位	講義
			経済・経営				
			日本国憲法				
キャリアを 考える	ライフデザイン	ライフデザイン (3年次に履修)	クォーター	8回	1単位	講義	

2年次以降に履修する授業科目については、当該年次に公表される開講授業科目一覧を参照してください。

2 注意事項

開講授業科目一覧には、今年度開講される授業科目（授業題目）が掲載されており、さらに履修の申告や登録に必要な情報（シラバスコード等）も記載されています。開講授業科目一覧で開講時期（前学期・後学期・クォーター）、曜日・講時、指定学部クラス等を確認し、シラバス（Web）で授業内容を確認の上、授業を選択してください。

1. 入学年度（年次）により**授業科目名**が異なることがあります。履修登録の際には気をつけてください。
2. 同一教員が同じ授業題目で、別の学期・クォーターや異なる時間帯に授業を開講していることがあります。自分の所属する学部が履修対象になっているか指定学部クラス等に注意してください。
3. **所属**の欄は、その授業科目の担当教員の所属学部等名が下記のとおり略して示されています。

・ 人文 →人文社会科学部	・ 教育 →教育学部	・ 理 →理学部	・ 工 →工学部	・ 農 →農学部
・ 機構 →全学教育機構	・ 保セ →保健管理センター	・ I T →I T基盤センター		
・ 広セ →広域水圏環境科学教育研究センター	・ 宇セ →宇宙科学教育研究センター			
・ 社セ →社会連携センター	・ ICAS →地球変動適応科学研究機関	・ 遺 →遺伝子実験施設		
・ 非 →非常勤講師	・ 他 →上記以外の所属学部等又は複数の所属学部等が合同する場合			

4. **指定学部クラス等**の欄には、当該授業の履修対象学部・学科等が示されています。原則としてここに指定されている所属学部・学科等の学生以外は履修できません。
5. **教室**の欄には、授業を行う教室名（下記略号）又は開講地区（水戸地区／工学部／農学部）が記されています。

・ 共通〇〇	共通教育棟2号館教室
・ 〇〇講義室	共通教育棟1号館2階又は3階教室
・ 人文〇〇	人文社会科学部棟教室・演習室
・ 教育〇〇〇〇	教育学部棟教室（A～D棟）
・ 理〇〇	理学部棟教室・セミナー室
・ MM1/2	I T基盤センター（理学部S棟） マルチメディア第1教室／第2教室
・ 英語学習室	理学部B棟1階英語学習室

6. **ナンバリングコード**は、体系的な教育課程の編成のため、教育課程における当該授業の位置づけ等を示すもので、次の項目についてアルファベットや数字で表示します。

各コードについて、授業科目「茨城学」を例に説明します。授業選択の際の参考にしてください。

（例）「茨城学」のナンバリングコード

ナンバリングコード	KB	-	IBS	-	1 3 1	-	COC, COP
説明 No.	①	-	②	-	③④⑤	-	⑥

各コードの説明

No.	コード名	説明
①	部局コード	<p>当該授業を実施する部局を示すコードです。基盤教育科目にはすべて「KB」（全学教育機構）が付されています。</p> <p>学部専門科目には、それぞれ、「L」（人文社会科学部）、「P」（教育学部）、「S」（理学部）、「T」（工学部）、「A」（農学部）が付されています。</p> <p>全学共通プログラム科目にはすべて「KP」（共通プログラム）が付されています。</p> <p>「茨城学」の部局コードは「KB」なので、この授業は「全学教育機構」が実施する授業であることがわかります。「KB」、「KP」が付された授業に関する質問は、共通教育センターにお問い合わせください。</p>
②	学問分野コード	<p>当該授業の学問分野（科目区分）を示すコードです。学問分野コードの一覧は巻末（付録）を参照してください。興味のある学問分野があれば、教務情報ポータルシステム（Dream Campus）でキーワード検索してみるとよいでしょう。</p> <p>「茨城学」の学問分野コードは「IBS」（Ibaraki Studies）です。</p>
③	難易度コード	<p>各学問分野における当該授業の難易度を示すコードです。1～4の数字によって難易度を示します。</p> <p>1=初歩、2=基礎、3=発展、4=応用</p> <p>「茨城学」の難易度コードは「1」なので、この授業の難易度は「初歩」であることがわかります。</p>
④	授業方法コード	<p>当該授業の実施方法を示すコードです。1～3の数字によって、授業の実施方法を示します。</p> <p>「2」又は「3」が付いている授業はアクティブ・ラーニング科目です。</p> <p>1=下記以外の講義 2=実験・実習・実技 3=実験・実習・実技以外のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <p>「茨城学」の授業方法コードは「3」なので、この授業は「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業」であることがわかります。「アクティブ・ラーニング」の具体的な内容は、各授業のシラバスを参照してください。</p>
⑤	使用言語コード	<p>当該授業の授業担当教員が授業を進める上で通常使用する言語を示すコードです。1～5の数字によって、授業中に通常使用する言語を示します。</p> <p>1=日本語 2=英語のみ 3=日本語と英語の併用 4=英語以外の外国語のみ 5=その他(例えば、ドイツ語と日本語の併用など)</p> <p>「茨城学」の使用言語コードは「1」なので、この授業は「日本語」で進行されることがわかります。</p>
⑥	教育プログラムコード	<p>当該授業を構成科目とする教育プログラムを示すコードです。教育プログラムコードの一覧は巻末（付録）を参照してください。</p> <p>「茨城学」の教育プログラムコードは「COC, COP」なので、この授業は「COC 地域志向教育プログラム」及び「地域協創人材教育プログラム」の構成科目であることがわかります。</p>

3 開講授業科目（授業題目）一覧

3-1 入門科目

【大学入門ゼミ】前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
大学入門ゼミ (人文社会科学部)	KB1101	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	村 上 信 夫	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	共通24	
	KB1102	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	高 野 光 平	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	共通44	
	KB1103	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	伊 藤 哲 司	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	共通47	
	KB1104	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	小 原 規 宏	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	3A講義室	
	KB1105	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	富 江 直 子	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	3C講義室	
	KB1106	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	細 谷 幸 男	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	共通13	
	KB1107	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	三 輪 徳 子	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	3D講義室	
	KB1108	KB-SMI-131	前学期	大学における学びの技法	横 溝 環	人文	2	金	2	1年L(現代社会)	共通35	
	KB1109	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	乙 部 延 剛	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	共通45	
	KB1110	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	鈴 木 俊 晴	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	人文26	
	KB1111	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	土 屋 和 子	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	共通31	
	KB1112	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	付 月	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	共通21	
	KB1113	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	加 藤 崇 徳	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	2A講義室	
	KB1114	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	清 山 玲	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	3B講義室	
	KB1115	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	高 井 美智明	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	人文28	
	KB1116	KB-SMI-131	前学期	大学と法学・経済学	宮 崎 忠 恒	人文	2	金	2	1年L(法律経済)	3F講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
大学入門ゼミ (人文社会科学部)	KB1117	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	井 澤 耕 一	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	共通2 1	
	KB1118	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	伊 藤 聡	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	共通3 1	
	KB1119	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	岡 崎 正 男	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	共通4 4	
	KB1120	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	西 野 由希子	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	2 B 講義室	
	KB1121	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	鈴 木 敦	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	3 B 講義室	
	KB1122	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	中 田 潤	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	共通4 5	
	KB1123	KB-SMI-131	前学期	知的探求入門	松 本 光太郎	人文	2	木	5	1年L(人間文化)	3 F 講義室	
大学入門ゼミ (教育学部)	KB1201	KB-SMI-131	前学期	国語科教育入門	宮 崎 尚 子	教育	2	火	3	1年P(国語)	教育B 2 0 5	
	KB1202	KB-SMI-131	前学期	地域と世界を考える	木村 勝彦・小野寺 淳	教育	2	火	3	1年P(社会)	教育A 5 2 6	
	KB1203	KB-SMI-131	前学期	数学入門	小 口 祐 一	教育	2	水	1	1年P(数学)	教育B 2 0 7	
	KB1204	KB-SMI-131	前学期	学理入門	棗田 孝晴・青島 政之	教育	2	水	1	1年P(理科)	教育A 3 2 2	
	KB1205	KB-SMI-131	前学期	ディスカッションとスピーチ	安 原 正 貴	教育	2	火	3	1年P(英語)	教育A 2 2 2	
	KB1206	KB-SMI-131	前学期	音楽を学ぶ意味	神 部 智、他	教育	2	火	3	1年P(音楽)	教育C 4 3 6	
	KB1207	KB-SMI-131	前学期	美術教育実践ゼミ	片口 直樹・甲斐 教行・小泉 晋弥 島田 裕之・向野 康江・島 剛	教育	2	木	2	1年P(美術)	教育C 1 0 1	
	KB1208	KB-SMI-131	前学期	健康科学・スポーツ科学入門	渡 邊 將 司	教育	2	木	2	1年P(保健体育)	教育B 2 0 9	
	KB1209	KB-SMI-131	前学期	技術教育入門	野崎 英明・工藤 雄司・ 榊 守・大西 有・白坂 高司	教育	2	水	1	1年P(技術)	教育B 2 0 2	
	KB1210	KB-SMI-131	前学期	生活科学の視点	西 川 陽 子	教育	2	火	3	1年P(家庭)	教育C 3 0 2	
	KB1211	KB-SMI-131	前学期	大学での学びについて	今 泉 友 里	教育	2	木	2	1年P(教育実践)	教育B 2 0 3	
	KB1212	KB-SMI-131	前学期	特別支援教育入門	荒 川 智	教育	2	水	1	1年P(特別支援)	教育A 5 2 8	
	KB1213	KB-SMI-131	前学期	養護教諭論	斉 藤 ふくみ	教育	2	木	2	1年P(養護教諭)	教育B 3 1 1	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
大学入門ゼミ (理学部)	KB1301	KB-SMI-131	前学期	数学入門 I	中 井 英 一	理	2	木	2	1年S(数学・情報数理)	共通1 1	
	KB1302	KB-SMI-131	前学期	数学入門 II	長谷川 博	理	2	木	2	1年S(数学・情報数理)	共通1 3	
	KB1303	KB-SMI-131	前学期	数学入門 III	藤 間 昌 一	理	2	木	2	1年S(数学・情報数理)	共通2 5	
	KB1304	KB-SMI-131	前学期	数学入門 IV	村 重 淳	理	2	木	2	1年S(数学・情報数理)	理G 4 1 4	
	KB1305	KB-SMI-131	前学期	物理学ゼミナール I	桑 原 慶太郎	理	2	木	2	1年S(物理学)	共通2 4	
	KB1306	KB-SMI-131	前学期	物理学ゼミナール II	佐 藤 正 寛	理	2	木	2	1年S(物理学)	3 A 講義室	
	KB1307	KB-SMI-131	前学期	物理学ゼミナール III	釣 部 通	理	2	木	2	1年S(物理学)	共通3 7	
	KB1308	KB-SMI-131	前学期	化学ゼミナール I	大 橋 朗	理	2	木	2	1年S(化学)	共通3 4	
	KB1309	KB-SMI-131	前学期	化学ゼミナール II	金 幸 夫	理	2	木	2	1年S(化学)	共通3 5	
	KB1310	KB-SMI-131	前学期	化学ゼミナール III	森 聖 治	理	2	木	2	1年S(化学)	2 B 講義室	
	KB1311	KB-SMI-131	前学期	化学ゼミナール IV	藤 澤 清 史	理	2	木	2	1年S(化学)	3 E 講義室	
	KB1312	KB-SMI-131	前学期	生物科学の学び方 I	遠藤泰彦、中村麻子、仁木 雄三	理	2	木	2	1年S(生物)	共通4 4	
	KB1313	KB-SMI-131	前学期	生物科学の学び方 II	山村靖夫、及川真平、吉田 大和	理	2	木	2	1年S(生物)	2 A 講義室	
	KB1314	KB-SMI-131	前学期	生物科学の学び方 III	小島純一、石見幸男、立花 章	理	2	木	2	1年S(生物)	3 D 講義室	
	KB1315	KB-SMI-131	前学期	地球環境科学の学び方 I	橋 爪 光	理	2	木	2	1年S(地球環境)	共通4 5	
	KB1316	KB-SMI-131	前学期	地球環境科学の学び方 II	山 田 卓 司	理	2	木	2	1年S(地球環境)	共通4 6	
	KB1317	KB-SMI-131	前学期	地球環境科学の学び方 III	野 澤 恵	理	2	木	2	1年S(地球環境)	共通4 7	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
大学入門ゼミ (工学部)	KB1401	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	倉 本 繁	工	2	火	5	1年T(機械システム)	共通10	
	KB1402	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	池畑隆、島影尚、青野友祐、 鵜殿治彦、梅比良正弘	工	2	木	3	1年T(電気電子システム)	共通31/35/ 36/3A/3B	第1～5回は 共通30で実施
	KB1403	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	横田 仁志、中島 光一	工	2	火	5	1年T(物質科学)	共通41/47	第1～5回は 人文15で実施
	KB1404	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	米山一樹、黒澤馨、原口春海、 小澤佑介、高橋竜一	工	2	金	4	1年T(情報)	共通27/3A/3B/ 3C/3D/3E	
	KB1405	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	車 谷 麻 緒	工	2	木	2	1年T(都市システム)	共通27/3C	
	KB0101	KB-SMI-131	前学期	大学入門ゼミ	岩 崎 唯 史	工	2	木	6	1年T(機械システム フレックス)	工学部開講	
大学入門ゼミ (農学部)	KB1501	KB-SMI-131	前学期	フレッシュマンゼミナール	朝山宗彦、成澤才彦、金澤卓弥 鈴木穂高、豊田淳、鎗田孝	農	2	木	1	1年A(食生命)	共通41、他	
	KB1502	KB-SMI-131	前学期	フレッシュマンゼミナール	井上栄一、古谷綾子、牧山正男 前田滋哉、長澤淳、高瀬唯	農	2	木	1	1年A(地域総合)	共通30、他	

【 茨城学 】

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
茨 城 学	KB2001	KB-IBS-131-COC, COP	通年	清水、小原、添田、小野寺、 安藤、岩瀬、福與、他	機構、他	2	水	3	1年L (I) T (I)	講堂	授業は2・3クォーター に開講されます。 (注)
	KB2002	KB-IBS-131-COC, COP	通年	清水、小原、添田、小野寺、 安藤、岩瀬、福與、他	機構、他	2	水	4	1年L (II) T (III)	講堂	授業は2・3クォーター に開講されます。 (注)
	KB2003	KB-IBS-131-COC, COP	通年	清水、小原、添田、小野寺、 安藤、岩瀬、福與、他	機構、他	2	火	4	1年P	講堂	授業は2・3クォーター に開講されます。 (注)
	KB2004	KB-IBS-131-COC, COP	通年	清水、小原、添田、小野寺、 安藤、岩瀬、福與、他	機構、他	2	火	5	1年S T (II) A	講堂	授業は2・3クォーター に開講されます。 (注)
	KB2005	KB-IBS-131-COC, COP	通年	渡 辺 啓 巳	非	2	水	6	1年T (フレックス)	工学部開講	授業は2・3クォー ターに開講されます。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「1年L (I)」は、人文社会科学部の現代社会学科及び法律経済学科の1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「1年L (II)」は、人文社会科学部の人間文化学科の1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「1年T (I)」は、工学部の物質科学、及び都市システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「1年T (II)」は、工学部の情報工学科の1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「1年T (III)」は、工学部の機械システム (フレックスコースを除く)、電気電子システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

3-2 共通基礎科目

【 プラクティカル・イングリッシュ 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB3001	KB-ENG-133	前学期	鈴木 聡子	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通23	
	KB3002	KB-ENG-133	前学期	森下 早也香	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通34	
	KB3003	KB-ENG-133	前学期	福田 浩子	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	3A講義室	
Integrated English IIA	KB3004	KB-ENG-132	前学期	ドラコス ジョセフ	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通22	
	KB3005	KB-ENG-132	前学期	上田 敦子	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	2A講義室	
	KB3006	KB-ENG-132	前学期	小林 邦彦	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通14	
	KB3007	KB-ENG-132	前学期	佐々木 友美	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通45	
	KB3008	KB-ENG-132	前学期	藤咲 多恵子	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通11	
	KB3009	KB-ENG-132	前学期	井上 まゆみ	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通13	
	KB3010	KB-ENG-132	前学期	谷村 久美子	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通42	
	KB3011	KB-ENG-132	前学期	柴田 博和	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通36	
	KB3012	KB-ENG-132	前学期	菊池 武	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	3F講義室	
	KB3013	KB-ENG-132	前学期	高木 有美	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通26	
	KB3014	KB-ENG-132	前学期	トゥール ティモシー	非	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通12	
Integrated English IIIA	KB3015	KB-ENG-132	前学期	館 深雪	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	共通44	
	KB3016	KB-ENG-132	前学期	大森 真	機構	2	月・1 / 水・2	1年PA	3B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB3101	KB-ENG-133	前学期	鈴木 聡子	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	共通23	
	KB3102	KB-ENG-133	前学期	深谷 充佳	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通46	
	KB3103	KB-ENG-133	前学期	福田 浩子	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	3A講義室	
Integrated English IIA	KB3104	KB-ENG-132	前学期	ドラコス ジョセフ	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通22	
	KB3105	KB-ENG-132	前学期	上田 敦子	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	2A講義室	
	KB3106	KB-ENG-132	前学期	森下 早也香	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通34	
	KB3107	KB-ENG-132	前学期	小林 邦彦	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	共通14	
	KB3108	KB-ENG-132	前学期	佐々木 友美	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	共通45	
	KB3109	KB-ENG-132	前学期	藤咲 多恵子	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通11	
	KB3110	KB-ENG-132	前学期	井上 まゆみ	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通13	
	KB3111	KB-ENG-132	前学期	谷村 久美子	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通42	
	KB3112	KB-ENG-132	前学期	柴田 博和	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通36	
	KB3113	KB-ENG-132	前学期	カニンガム ジョイス	非	2	月・2 / 水・1	1年T	人文C205	
	KB3114	KB-ENG-132	前学期	菊池 武	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	3F講義室	
	KB3115	KB-ENG-132	前学期	高木 有美	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通26	
	KB3116	KB-ENG-132	前学期	トゥール ティモシー	非	2	月・2 / 水・1	1年T	共通12	
Integrated English IIIA	KB3117	KB-ENG-132	前学期	館 深雪	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	共通44	
	KB3118	KB-ENG-132	前学期	大森 真	機構	2	月・2 / 水・1	1年T	3B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考	
Integrated English IA	KB3201	KB-ENG-133	前学期	三 中 登志江	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通2 4		
	KB3202	KB-ENG-133	前学期	福 田 浩 子	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	3 A講義室		
Integrated English IIA	KB3203	KB-ENG-132	前学期	森 下 早也香	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通3 4		
	KB3204	KB-ENG-132	前学期	上 田 敦 子	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	2 A講義室		
	KB3205	KB-ENG-132	前学期	谷 村 久美子	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通4 2		
	KB3206	KB-ENG-132	前学期	齋 藤 英 敏	教育	2	火・2 / 木・1	1年L S	教育B 2 0 5		
	KB3207	KB-ENG-132	前学期	小 林 邦 彦	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通3 7		
	KB3208	KB-ENG-132	前学期	佐々木 友 美	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通4 5		
	KB3209	KB-ENG-132	前学期	シュミット ロナルド	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通2 5		
	KB3210	KB-ENG-132	前学期	シャノン フレデリック	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通4 6		
	KB3211	KB-ENG-132	前学期	藤 咲 多恵子	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通1 1		
	KB3212	KB-ENG-132	前学期	井 上 まゆみ	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通1 3		
	KB3213	KB-ENG-132	前学期	小 林 恵美子	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通4 4		
	KB3214	KB-ENG-132	前学期	菊 地 翔 太	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通3 2		
	KB3215	KB-ENG-132	前学期	鈴 木 聡 子	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通2 3		
	KB3216	KB-ENG-132	前学期	(未定)	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通2 7		
	KB3217	KB-ENG-132	前学期	菊 池 武	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	3 F講義室		
	KB3218	KB-ENG-132	前学期	トゥール ティモシー	非	2	火・2 / 木・1	1年L S	共通1 2		
	Integrated English IIIA	KB3219	KB-ENG-132	前学期	猪 井 新 一	教育	2	火・2 / 木・1	1年L S	3 C講義室	
		KB3220	KB-ENG-132	前学期	大 森 真	機構	2	火・2 / 木・1	1年L S	3 B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB0301	KB-ENG-133	前学期	落 合 直 子	非	2	月・6／金・6	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIA	KB0302	KB-ENG-132	前学期	フィダルゴ ジーナ	非	2	月・6／金・6	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIIA	KB0303	KB-ENG-132	前学期	柴 田 博 和	非	2	月・6／金・6	1年T (フレックス)	工学部開講	

【 プラクティカル・イングリッシュ 】 前学期・集中講義

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB3301	KB-ENG-133	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年全学共通	水戸開講	
Integrated English IIA	KB3302	KB-ENG-132	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年全学共通	水戸開講	
Integrated English IIIA	KB3303	KB-ENG-132	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年全学共通	水戸開講	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB0304	KB-ENG-133	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIA	KB0305	KB-ENG-132	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIIA	KB0306	KB-ENG-132	前学期	(未定)	非	2	夏季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	

【 プラクティカル・イングリッシュ 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時		指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB3051	KB-ENG-133	後学期	鈴木 聡子	機構	1	月	1	1年PA	共通23	
	KB3052	KB-ENG-133	後学期	森下 早也香	非	1	月	1	1年PA	共通34	
	KB3053	KB-ENG-133	後学期	福田 浩子	機構	1	月	1	1年PA	3A講義室	
Integrated English IIB	KB3054	KB-ENG-132	後学期	ドラコス ジョセフ	非	1	月	1	1年PA	共通22	
	KB3055	KB-ENG-132	後学期	上田 敦子	機構	1	月	1	1年PA	2A講義室	
	KB3056	KB-ENG-132	後学期	小林 邦彦	機構	1	月	1	1年PA	共通14	
	KB3057	KB-ENG-132	後学期	佐々木 友美	機構	1	月	1	1年PA	共通45	
	KB3058	KB-ENG-132	後学期	藤咲 多恵子	非	1	月	1	1年PA	共通11	
	KB3059	KB-ENG-132	後学期	井上 まゆみ	非	1	月	1	1年PA	共通13	
	KB3060	KB-ENG-132	後学期	谷村 久美子	非	1	月	1	1年PA	共通42	
	KB3061	KB-ENG-132	後学期	柴田 博和	非	1	月	1	1年PA	共通36	
	KB3062	KB-ENG-132	後学期	菊池 武	機構	1	月	1	1年PA	3F講義室	
	KB3063	KB-ENG-132	後学期	高木 有美	非	1	月	1	1年PA	共通26	
	KB3064	KB-ENG-132	後学期	トゥール ティモシー	非	1	月	1	1年PA	共通12	
Integrated English IIIB	KB3065	KB-ENG-132	後学期	館 深雪	機構	1	月	1	1年PA	共通44	
	KB3066	KB-ENG-132	後学期	大森 真	機構	1	月	1	1年PA	3B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時		指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB3151	KB-ENG-133	後学期	鈴木 聡子	機構	1	月	2	1年T	共通23	
	KB3152	KB-ENG-133	後学期	深谷 充佳	非	1	月	2	1年T	共通46	
	KB3153	KB-ENG-133	後学期	福田 浩子	機構	1	月	2	1年T	3A講義室	
Integrated English IIB	KB3154	KB-ENG-132	後学期	ドラコス ジョセフ	非	1	月	2	1年T	共通22	
	KB3155	KB-ENG-132	後学期	上田 敦子	機構	1	月	2	1年T	2A講義室	
	KB3156	KB-ENG-132	後学期	森下 早也香	非	1	月	2	1年T	共通34	
	KB3157	KB-ENG-132	後学期	小林 邦彦	機構	1	月	2	1年T	共通14	
	KB3158	KB-ENG-132	後学期	佐々木 友美	機構	1	月	2	1年T	共通45	
	KB3159	KB-ENG-132	後学期	藤咲 多恵子	非	1	月	2	1年T	共通11	
	KB3160	KB-ENG-132	後学期	井上 まゆみ	非	1	月	2	1年T	共通13	
	KB3161	KB-ENG-132	後学期	谷村 久美子	非	1	月	2	1年T	共通42	
	KB3162	KB-ENG-132	後学期	柴田 博和	非	1	月	2	1年T	共通36	
	KB3163	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	月	2	1年T	共通32	
	KB3164	KB-ENG-132	後学期	菊池 武	機構	1	月	2	1年T	3F講義室	
	KB3165	KB-ENG-132	後学期	高木 有美	非	1	月	2	1年T	共通26	
	KB3166	KB-ENG-132	後学期	トゥール ティモシー	非	1	月	2	1年T	共通12	
Integrated English IIIB	KB3167	KB-ENG-132	後学期	館 深雪	機構	1	月	2	1年T	共通44	
	KB3168	KB-ENG-132	後学期	大森 真	機構	1	月	2	1年T	3B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時		指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB3251	KB-ENG-133	後学期	三 中 登志江	非	1	火	2	1年L S	共通2 4	
	KB3252	KB-ENG-133	後学期	福 田 浩 子	機構	1	火	2	1年L S	3 A講義室	
Integrated English IIB	KB3253	KB-ENG-132	後学期	森 下 早也香	非	1	火	2	1年L S	共通3 4	
	KB3254	KB-ENG-132	後学期	上 田 敦 子	機構	1	火	2	1年L S	2 A講義室	
	KB3255	KB-ENG-132	後学期	谷 村 久美子	非	1	火	2	1年L S	共通2 6	
	KB3256	KB-ENG-132	後学期	小 林 英 美	教育	1	火	2	1年L S	共通2 2	
	KB3257	KB-ENG-132	後学期	小 林 邦 彦	機構	1	火	2	1年L S	共通3 7	
	KB3258	KB-ENG-132	後学期	佐々木 友 美	機構	1	火	2	1年L S	共通4 5	
	KB3259	KB-ENG-132	後学期	シュミット ロナルド	機構	1	火	2	1年L S	共通2 5	
	KB3260	KB-ENG-132	後学期	シャノン フレデリック	機構	1	火	2	1年L S	共通4 6	
	KB3261	KB-ENG-132	後学期	藤 咲 多恵子	非	1	火	2	1年L S	共通1 1	
	KB3262	KB-ENG-132	後学期	井 上 まゆみ	非	1	火	2	1年L S	共通1 3	
	KB3263	KB-ENG-132	後学期	小 林 恵美子	非	1	火	2	1年L S	共通4 4	
	KB3264	KB-ENG-132	後学期	菊 地 翔 太	非	1	火	2	1年L S	共通3 2	
	KB3265	KB-ENG-132	後学期	鈴 木 聡 子	機構	1	火	2	1年L S	共通2 3	
	KB3266	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	火	2	1年L S	共通4 7	
	KB3267	KB-ENG-132	後学期	菊 池 武	機構	1	火	2	1年L S	3 F講義室	
	KB3268	KB-ENG-132	後学期	トゥール ティモシー	非	1	火	2	1年L S	共通1 2	
Integrated English IIIB	KB3269	KB-ENG-132	後学期	館 深 雪	機構	1	火	2	1年L S	共通4 3	
	KB3270	KB-ENG-132	後学期	大 森 真	機構	1	火	2	1年L S	3 B講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時		指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB0351	KB-ENG-133	後学期	落 合 直 子	非	1	月	6	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIB	KB0352	KB-ENG-132	後学期	フィダルゴ ジーナ	非	1	月	6	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIIB	KB0353	KB-ENG-132	後学期	柴 田 博 和	非	1	月	6	1年T (フレックス)	工学部開講	

【 プラクティカル・イングリッシュ 】 後学期・再履修

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時		指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IA	KB3451	KB-ENG-133	後学期	森 下 早也香	非	2	木・1 / 木・2		1年全学共通	共通3 4	
Integrated English IIA	KB3452	KB-ENG-132	後学期	谷 村 久美子	非	2	木・1 / 木・2		1年全学共通	共通4 2	
	KB3453	KB-ENG-132	後学期	佐々木 友 美	機構	2	木・1 / 木・2		1年全学共通	共通4 5	
Integrated English IIIA	KB3454	KB-ENG-132	後学期	井 上 まゆみ	非	2	木・1 / 木・2		1年全学共通	共通1 3	

【 プラクティカル・イングリッシュ 】 後学期・集中講義

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB3351	KB-ENG-133	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年全学共通	水戸開講	
Integrated English IIB	KB3352	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年全学共通	水戸開講	
Integrated English IIIB	KB3353	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年全学共通	水戸開講	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
Integrated English IB	KB0354	KB-ENG-133	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIB	KB0355	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	
Integrated English IIIB	KB0356	KB-ENG-132	後学期	(未定)	非	1	春季集中	1年T (フレックス)	工学部開講	

【 情報リテラシー 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
情報リテラシー	KB4001	KB-INL-131	前学期	菅 谷 克 行	人文	2	月	1	1年L	MM 2	
	KB4002	KB-INL-131	前学期	鈴 木 栄 幸	人文	2	月	1	1年L	MM 1	
	KB4003	KB-INL-131	前学期	新 納 浩 幸	工	2	月	3	1年L	MM 1	
	KB4004	KB-INL-131	前学期	羽 瀧 裕 真、野 口 宏	IT・工	2	月	1	1年L	英語学習室	
	KB4005	KB-INL-131	前学期	佐 藤 伸 也	機構	2	月	3	1年L	MM 2	
	KB4006	KB-INL-131	前学期	佐 藤 伸 也	機構	2	火	3	1年L	MM 2	
	KB4007	KB-INL-131	前学期	白 坂 高 司	教育	2	金	1	1年P (P 2)	MM 1	(注)
	KB4008	KB-INL-131	前学期	工 藤 雄 司	教育	2	木	5	1年P (P 1)	MM 1	(注)
	KB4009	KB-INL-131	前学期	野 崎 英 明	教育	2	金	1	1年P (P 2)	MM 2	(注)
	KB4010	KB-INL-131	前学期	関 友 作	教育	2	金	2	1年P (P 3)	MM 1	(注)
	KB4011	KB-INL-131	前学期	小 林 祐 紀	教育	2	木	5	1年P (P 1)	MM 2	(注)
	KB4012	KB-INL-131	前学期	松 村 初	教育	2	金	2	1年P (P 3)	MM 2	(注)
	KB4013	KB-INL-131	前学期	鳥 養 祐 二	理	2	月	2	1年S	MM 1	
	KB4014	KB-INL-131	前学期	渡 邊 辰 矢	理	2	月	2	1年S	MM 2	
	KB4015	KB-INL-131	前学期	伊 賀 文 俊	理	2	月	5	1年S	MM 2	

※ (注) 「指定学部クラス等」の「P 1」は、教育学部の国語選修、社会選修、英語選修、音楽選修、家庭選修の1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「P 2」は、教育学部の数学選修、理科選修、技術選修、特別支援教育コースの1年次生を対象としていることを表します。

※ (注) 「指定学部クラス等」の「P 3」は、教育学部の美術選修、保健体育選修、教育実践科学コース、養護教諭養成課程の1年次生を対象としていることを表します。

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
情報リテラシー	KB4016	KB-INL-131	前学期	尾関 和秀、竹田 晃人	工	2	火	2	1年T (機械システム)	共通30	BYOD対応
	KB4017	KB-INL-131	前学期	栗原 和美、上原 清彦	工	2	火	5	1年T (電気電子システム)	共通22/26	BYOD対応
	KB4018	KB-INL-131	前学期	永 野 隆 敏	工	2	金	5	1年T (物質科学)	MM1/MM2	
	KB4019	KB-INL-131	前学期	鎌 田 賢	工	2	木	1	1年T (情報)	MM2	BYOD対応
	KB4020	KB-INL-131	前学期	増 永 英 治	工	2	火	1	1年T (都市システム)	MM1	
	KB4021	KB-INL-131	前学期	田 附 明 夫	農	2	木	2	1年A	MM1	
	KB4022	KB-INL-131	前学期	長 澤 淳	農	2	木	2	1年A	MM2	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
情報リテラシー	KB0401	KB-INL-131	前学期	竹 内 亨	工	2	火	6	1年T (フレックス)	工学部開講	BYOD対応

【心と体の健康】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	種目等	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
身体活動	KB5101	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	屋内ボールゲーム	加藤 敏 弘	人文	1	水	2	1年L	第1アリーナ (大体育館)	
	KB5102	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ソフトボール	富 樫 泰 一	教育	1	水	2	1年L	第1グラウンド (野球場)	
	KB5103	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	屋外ボールゲーム	北 條 幸 幸	非	1	水	2	1年L	第2グラウンド (サッカー場)	
	KB5104	KB-PHA-121	前学期	個人スポーツ	卓球	日 下 裕 弘	非	1	水	2	1年L	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5105	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	里山ハイキング	松 坂 晃	機構	1	水	2	1年L	学内外	
健康の科学	KB5201	KB-SFH-131	1	他者と自己に出会うコミュニケーション		大 島 聖 美	教育	1	水	2	1年L	共通41	
身体活動	KB5106	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	コンディショニング	上 地 勝	教育	1	月	3	1年P	第1アリーナ (大体育館)	
	KB5107	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	ボディーワーク	木 村 元 子	非	1	月	3	1年P	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5108	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	サッカー	小 澤 聡	非	1	月	3	1年P	第2グラウンド (サッカー場)	
	KB5109	KB-PHA-121	前学期	個人スポーツ	テニス	北 條 幸 幸	非	1	月	3	1年P	テニスコート	
健康の科学	KB5202	KB-SFH-131	1	人間関係と自己理解の心理学		正 保 春 彦	教育	1	月	3	1年P	共通41	
身体活動	KB5110	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ネットスポーツ	勝 本 真	教育	1	水	1	1年SA	第1アリーナ (大体育館)	
	KB5111	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	ダンス	篠 田 明 音	教育	1	水	1	1年SA	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5112	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ソフトボール	渡 邊 洋	非	1	水	1	1年SA	第1グラウンド (野球場)	
	KB5113	KB-PHA-121	前学期	個人スポーツ	テニス	日 下 裕 弘	非	1	水	1	1年SA	テニスコート	
健康の科学	KB5203	KB-SFH-131	2	人生をラクにするメンタルヘルス学		金 丸 隆 太	教育	1	水	1	1年SA	共通10	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	種目等	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
身体活動	KB5114	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	屋内ボールゲーム	木村元子	非	1	金	1	1年T(I)	第1アリーナ (大体育館)	(注)1
	KB5115	KB-PHA-121	前学期	個人スポーツ	テニス	大津展子	教育	1	金	1	1年T(I)	テニスコート	(注)1
	KB5116	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ソフトボール	阿部巧	非	1	金	1	1年T(I)	第1グラウンド (野球場)	(注)1
健康の科学	KB5204	KB-SFH-131	1	心と体の健康科学		松坂晃、矢嶋敬紘	機構	1	金	1	1年T(I)	共通41	(注)1
身体活動	KB5117	KB-PHA-121	前学期	個人スポーツ	バドミントン	中嶋哲也	教育	1	金	2	1年T(II)	第1アリーナ (大体育館)	(注)2
	KB5118	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	エアロビクス	瀬谷元子	非	1	金	2	1年T(II)	第2アリーナ (小体育館)	(注)2
	KB5119	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ソフトボール	阿部巧	非	1	金	2	1年T(II)	第1グラウンド (野球場)	(注)2
	KB5120	KB-PHA-121	前学期	コンディショニング	ウォーク&ジョグ	木村元子	非	1	金	2	1年T(II)	学内外	(注)2
健康の科学	KB5205	KB-SFH-131	1	ライフスタイルと健康		青柳直子	教育	1	金	2	1年T(II)	教育D102	(注)2

※(注)1「指定学部クラス等」の「1年T(I)」は、工学部の物質科学、情報、及び都市システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

※(注)2「指定学部クラス等」の「1年T(II)」は、工学部の機械システム(フレックスコースを除く)、電気電子システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	種目等	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
身体活動	KB0501	KB-PHA-121	前学期	チームスポーツ	ボールゲームII	酒井 紳	非	1	木	7	1年T(フレックス)	工学部開講	

【心と体の健康】後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	種目等	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
身体活動	KB5151	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	テニス	北 條 幸	非	1	水	2	1年L	テニスコート	
	KB5152	KB-PHA-121	後学期	コンディショニング	ダンス	篠 田 明 音	教育	1	水	2	1年L	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5153	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	ソフトボール	富 樫 泰 一	教育	1	水	2	1年L	第1グラウンド (野球場)	
	KB5154	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	卓球	日 下 裕 弘	非	1	水	2	1年L	第1アリーナ (大体育館)	
健康の科学	KB5251	KB-SFH-131	4	病と健康		古 池 雄 治	教育	1	水	2	1年L	共通41	
身体活動	KB5155	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	卓球	小 澤 聡	非	1	月	3	1年P	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5156	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	屋外ボールゲーム	渡 邊 洋	非	1	月	3	1年P	第2グラウンド (サッカー場)	
	KB5157	KB-PHA-121	後学期	コンディショニング	里山ハイキング	松 坂 晃	機構	1	月	3	1年P	学内外	
	KB5158	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	屋内ボールゲーム	木 村 元 子	非	1	月	3	1年P	第1アリーナ (大体育館)	
健康の科学	KB5252	KB-SFH-131	4	精神の科学		布 施 泰 子	保セ	1	月	3	1年P	共通10	
身体活動	KB5159	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	ネットスポーツ	勝 本 真	教育	1	水	1	1年SA	第1アリーナ (大体育館)	
	KB5160	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	卓球	日 下 裕 弘	非	1	水	1	1年SA	第2アリーナ (小体育館)	
	KB5161	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	ソフトボール	渡 邊 洋	非	1	水	1	1年SA	第1グラウンド (野球場)	
	KB5162	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	テニス	北 條 幸	非	1	水	1	1年SA	テニスコート	
	KB5163	KB-PHA-121	後学期	コンディショニング	里山ハイキング	松 坂 晃	機構	1	水	1	1年SA	学内外	
健康の科学	KB5253	KB-SFH-131	3	アレルギーを知ろう		石 原 研 治	教育	1	水	1	1年SA	教育B312	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	種目等	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
身体活動	KB5164	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	バスケットボール	木村元子	非	1	金	1	1年T (I)	第1アリーナ (大体育館)	(注)1
	KB5165	KB-PHA-121	後学期	個人スポーツ	テニス	大津展子	教育	1	金	1	1年T (I)	テニスコート	(注)1
	KB5166	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	サッカー	阿部巧	非	1	金	1	1年T (I)	第2グラウンド (サッカー場)	(注)1
健康の科学	KB5254	KB-SFH-131	3	心と体の健康科学		松坂晃、矢嶋敬紘	機構	1	金	1	1年T (I)	共通41	(注)1
身体活動	KB5167	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	バスケットボール	木村元子	非	1	金	2	1年T (II)	第1アリーナ (大体育館)	(注)2
	KB5168	KB-PHA-121	後学期	チームスポーツ	サッカー	阿部巧	非	1	金	2	1年T (II)	第2グラウンド (サッカー場)	(注)2
健康の科学	KB5255	KB-SFH-131	3	大学生の健康と保健		廣原紀恵	教育	1	金	2	1年T (II)	共通41	(注)2

※(注)1 「指定学部クラス等」の「1年T (I)」は、工学部の物質科学、情報、及び都市システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

※(注)2 「指定学部クラス等」の「1年T (II)」は、工学部の機械システム（フレックスコースを除く）、電気電子システム工学科の1年次生を対象としていることを表します。

【 科学の基礎（一般基礎） 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
統計学入門	KB6101	KB-ST5-111	1	統計学入門	吉 井 豊	教育	1	火	5	1年LP	共通36	統計学
科学入門	KB6102	KB-CHE-131	1	化学と環境と生活 I	松 川 覚	教育	1	火	5	1年LP	教育D101	化学
	KB6103	KB-BIO-131	1	生命科学	二 橋 美瑞子	理	1	火	5	1年LP	理10	生物
	KB6104	KB-EAS-111	1	地球科学の見方・考え方	伊 藤 孝	教育	1	火	5	1年LP	共通27	地学
	KB6105	KB-EAS-131	1	マグマと火山の地球科学入門	藤 縄 明彦	理	1	火	5	1年LP	共通37	地学
統計学入門	KB6106	KB-ST5-111	2	統計学入門	梅 津 健一郎	教育	1	火	5	1年LP	共通36	統計学
科学入門	KB6107	KB-CHE-131	2	化学と環境と生活 I	松 川 覚	教育	1	火	5	1年LP	教育D101	化学
	KB6108	KB-BIO-131	2	生命科学	二 橋 美瑞子	理	1	火	5	1年LP	理10	生物
	KB6109	KB-BIO-131	2	生物とはなにか	阿 部 信一郎	教育	1	火	5	1年LP	共通27	生物
	KB6110	KB-EAS-131	2	マグマと火山の地球科学入門	藤 縄 明彦	理	1	火	5	1年LP	共通37	地学

【 科学の基礎（理系基礎） 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
数学基礎	KB6201	KB-MAT-131	1	入 江 博	理	1	金	3	1年S T A	共通3 3	数学Ⅲ未履修者の履修を推奨
	KB6202	KB-MAT-131	1	西 脇 淳 子	農	1	金	3	1年S T A	共通2 2	
物理学基礎	KB6203	KB-PHY-131	1	中 石 克 也	農	1	金	3	1年S T A	共通2 6	
	KB6204	KB-PHY-111	1	飯 沼 裕 美	理	1	金	3	1年S T A	共通2 3	
化学基礎	KB6205	KB-CHE-131	1	長谷川 守文	農	1	金	3	1年S T A	共通3 6	
生物学基礎	KB6206	KB-BIO-131	1	仁 木 雄 三	理	1	金	3	1年S T A	共通4 2	
数学基礎	KB6207	KB-MAT-131	2	入 江 博	理	1	金	3	1年S T A	共通3 3	
	KB6208	KB-MAT-131	2	西 脇 淳 子	農	1	金	3	1年S T A	共通2 2	
物理学基礎	KB6209	KB-PHY-111	2	飯 沼 裕 美	理	1	金	3	1年S T A	共通2 6	
	KB6210	KB-PHY-131	2	中 石 克 也	農	1	金	3	1年S T A	共通2 3	
化学基礎	KB6211	KB-CHE-131	2	戸 嶋 浩 明	農	1	金	3	1年S T A	共通3 6	
生物学基礎	KB6212	KB-BIO-131	2	仁 木 雄 三	理	1	金	3	1年S T A	共通4 2	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
微積分学入門	KB6301	KB-MAT-131	1	小 西 康 文	機構	2	月 5 ・ 木 4		1 年 T	共通 4 7	連動授業
微積分学基礎	KB6302	KB-MAT-131	2	小 西 康 文	機構	2	月 5 ・ 木 4		1 年 T	共通 4 7	
微積分学	KB6303	KB-MAT-131	前学期	今 村 仁	工	2	木	4	1 年 T	共通 4 2	
	KB6304	KB-MAT-131	前学期	宮 島 啓 一	工	2	木	4	1 年 T	共通 2 3	
	KB6305	KB-MAT-131	前学期	赤 羽 秀 郎	工	2	木	4	1 年 T	共通 2 2	
	KB6306	KB-MAT-131	前学期	鎌 田 賢	工	2	木	4	1 年 T	共通 3 2	
	KB6307	KB-MAT-131	前学期	小 貫 哲 平	工	2	木	4	1 年 T	共通 3 6	
	KB6308	KB-MAT-131	前学期	岡 裕 和	工	2	木	4	1 年 T	共通 3 0	
	KB6309	KB-MAT-131	前学期	藤 間 昌 一	理	2	木	4	1 年 T	共通 4 6	
	KB6310	KB-MAT-131	前学期	山 崎 大	機構	2	木	4	1 年 T	共通 2 6	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
微積分学	KB0601	KB-MAT-131	前学期	小貫 哲平、今村 仁	工	2	水	7	1 年 T (フレックス)	工学部開講	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
力学入門	KB6401	KB-PHY-131	1	山 崎 大	機構	2	月 1・火 4		1年T	共通 2 7	連動授業
力学基礎	KB6402	KB-PHY-131	2	山 崎 大	機構	2	月 1・火 4		1年T	共通 2 7	
力と運動	KB6403	KB-PHY-131	前学期	西 剛 史	工	2	火	4	1年T	共通 2 2	
	KB6404	KB-PHY-131	前学期	清 水 淳	工	2	火	4	1年T	共通 2 3	
	KB6405	KB-PHY-131	前学期	和 田 達 明	工	2	火	4	1年T	共通 2 6	
	KB6406	KB-PHY-131	前学期	原 田 隆 郎	工	2	火	4	1年T	共通 3 2	
	KB6407	KB-PHY-131	前学期	湊 淳	工	2	火	4	1年T	共通 3 6	
	KB6408	KB-PHY-131	前学期	目 時 直 人	理	2	火	4	1年T	共通 4 2	
	KB6409	KB-PHY-131	前学期	伊 藤 祐 太	非	2	火	4	1年T	共通 4 6	
	KB6410	KB-PHY-131	前学期	小 西 康 文	機構	2	火	4	1年T	共通 4 7	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
力と運動	KB0602	KB-PHY-131	前学期	清 水 淳	工	2	金	7	1年T (フレックス)	工学部開講	

3-3 リベラルアーツ科目

多文化理解

【異文化コミュニケーション（初修外国語）】

【ドイツ語】 前学期

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語 I	KB7101	KB-GER-131-JEP	前学期	ドイツ語 I (1)	小泉淳二／石井慎一郎	人文・非	2	月・2／木・4	1年L	人文14	
	KB7102	KB-GER-131-JEP	前学期	ドイツ語 I (2)	伊藤満広／市川宏子	非	2	月・2／木・4	1年L	共通25	
	KB7103	KB-GER-131-JEP	前学期	ドイツ語 I (3)	小川和彦	非	2	月・2／木・4	1年L	共通27	

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語基礎 I	KB0701	KB-GER-131	前学期	ドイツ語基礎 I	大久保清美	非	1	金・7	2年T (Bコース)	工学部開講	

【ドイツ語】 後学期

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語 II	KB7151	KB-GER-131-JEP	後学期	ドイツ語 II	伊藤満広／市川宏子	非	2	月・2／木・4	1年L	共通25	

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語入門	KB7161	KB-GER-131-JEP	後学期	ドイツ語入門 (1)	小沼喜好	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通12	
	KB7162	KB-GER-131-JEP	後学期	ドイツ語入門 (2)	小川和彦	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通11	
	KB7163	KB-GER-131-JEP	後学期	ドイツ語入門 (3)	伊藤満広	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通13	
	KB7164	KB-GER-131-JEP	後学期	ドイツ語入門 (4)	石井慎一郎	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通26	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語入門	KB7165	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(5)	小 沼 喜 好	非	1	木	5	1年ST	共通12	
	KB7166	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(6)	小 川 和 彦	非	1	木	5	1年ST	共通11	
	KB7167	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(7)	伊 藤 満 広	非	1	木	5	1年ST	共通13	
	KB7168	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(8)	石 井 慎一郎	非	1	木	5	1年ST	共通26	
	KB7169	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(9)	市 川 宏 子	非	1	木	5	1年ST	共通25	
	KB7170	KB-GER-131	後学期	ドイツ語入門(10)	勝 山 紘 子	非	1	木	5	1年ST	共通23	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
ドイツ語基礎II	KB0702	KB-GER-131	後学期	ドイツ語基礎II	小 泉 淳 二	人文	1	金・7	2年T(Bコース)	工学部開講	

【 フランス語 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
フランス語 I	KB7201	KB-FRE-131-JEP	前学期	フランス語 I (1)	神 田 大 吾	人文	2	月・2 / 木・4	1年L	3 E 講義室	
	KB7202	KB-FRE-131-JEP	前学期	フランス語 I (2)	藤 原 貞 朗	人文	2	月・2 / 木・4	1年L	3 D 講義室	

【 フランス語 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
フランス語 II	KB7251	KB-FRE-131-JEP	後学期	フランス語 II	猪 俣 紀 子	人文	2	月・2 / 木・4	1年L	3 D 講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
フランス語入門	KB7261	KB-FRE-131-JEP	後学期	フランス語入門 (1)	反 町 秀 記	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	3 A 講義室	
	KB7262	KB-FRE-131-JEP	後学期	フランス語入門 (2)	木 村 仁 志	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	3 B 講義室	
	KB7263	KB-FRE-131	後学期	フランス語入門 (3)	反 町 秀 記	非	1	木	5	1年S T	3 A 講義室	
	KB7264	KB-FRE-131	後学期	フランス語入門 (4)	木 村 仁 志	非	1	木	5	1年S T	3 B 講義室	

【 中国語 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
中 国 語 I	KB7301	KB-CHI-131-JEP	前学期	中国語 I (1)	吉 川 虹 緒	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通33	
	KB7302	KB-CHI-131-JEP	前学期	中国語 I (2)	李 立 冰	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通41	
	KB7303	KB-CHI-131-JEP	前学期	中国語 I (3)	王 克 西	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通35	
	KB7304	KB-CHI-131-JEP	前学期	中国語 I (4)	金 成 姫	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通37	
	KB7305	KB-CHI-131-JEP	前学期	中国語 I (5)	高 建 華	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通24	

【 中国語 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
中 国 語 II	KB7351	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語 II (1)	李 立 冰	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通41	
	KB7352	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語 II (2・3)	王 克 西	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通35	
	KB7353	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語 II (4・5)	西 野 由希子	人文	2	月・2 / 木・4	1年L	共通43	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
中 国 語 入 門	KB7361	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (1)	金 成 姫	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通37	
	KB7362	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (2)	高 建 華	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通24	
	KB7363	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (3)	梅 村 卓	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通33	
	KB7364	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (4)	吉 川 虹 緒	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通32	
	KB7365	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (5)	北 島 大 悟	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通27	
	KB7366	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (6)	井 澤 耕 一	人文	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通34	
	KB7367	KB-CHI-131-JEP	後学期	中国語入門 (7)	山 元 貴 尚	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通36	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
中国語入門	KB7368	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（８）	李 立 冰	非	1	木	5	1年ST	共通41	
	KB7369	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（９）	王 克 西	非	1	木	5	1年ST	共通35	
	KB7370	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（10）	金 成 姫	非	1	木	5	1年ST	共通37	
	KB7371	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（11）	高 建 華	非	1	木	5	1年ST	共通24	
	KB7372	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（12）	梅 村 卓	非	1	木	5	1年ST	共通33	
	KB7373	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（13）	吉 川 虹 緒	非	1	木	5	1年ST	共通32	
	KB7374	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（14）	北 島 大 悟	非	1	木	5	1年ST	共通27	
	KB7375	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（15）	山 元 貴 尚	非	1	木	5	1年ST	共通36	
	KB7376	KB-CHI-131	後学期	中国語入門（16）	井 澤 耕 一	人文	1	木	5	1年ST	共通34	

【 朝鮮語 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
朝 鮮 語 I	KB7401	KB-KOR-131-JEP	前学期	朝鮮語 I (1)	李 文 鎬	非	2	月・2 / 木・4	1年L	人文12	
	KB7402	KB-KOR-131-JEP	前学期	朝鮮語 I (2)	権 敬 殷	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通43	

【 朝鮮語 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
朝 鮮 語 II	KB7451	KB-KOR-131-JEP	後学期	朝鮮語 II	李 文 鎬	非	2	月・2 / 木・4	1年L	共通47	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
朝 鮮 語 入 門	KB7461	KB-KOR-131-JEP	後学期	朝鮮語入門 (1)	権 敬 殷	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	共通46	
	KB7462	KB-KOR-131-JEP	後学期	朝鮮語入門 (2)	呉 允 熙	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	人文24	
	KB7463	KB-KOR-131-JEP	後学期	朝鮮語入門 (3)	糟 谷 政 和	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	3E講義室	
	KB7465	KB-KOR-131	後学期	朝鮮語入門 (4)	権 敬 殷	非	1	木	5	1年ST	共通46	
	KB7466	KB-KOR-131	後学期	朝鮮語入門 (5)	呉 允 熙	非	1	木	5	1年ST	人文24	
	KB7467	KB-KOR-131	後学期	朝鮮語入門 (6)	糟 谷 政 和	非	1	木	5	1年ST	3E講義室	

【 スペイン語 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
スペイン語 I	KB7501	KB-SPA-131-JEP	前学期	スペイン語 I	福田 大 治	非	2	月・2 / 木・4	1年L	3 C 講義室	

【 スペイン語 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜日・講時	指定学部クラス等	教室	備考
スペイン語 II	KB7551	KB-SPA-131-JEP	後学期	スペイン語 II	福田 大 治	非	2	月・2 / 木・4	1年L	3 C 講義室	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
スペイン語入門	KB7561	KB-SPA-131-JEP	後学期	スペイン語入門 (1)	ビセンテ アルカニース	非	1	木	4	1年L (人間文化を除く) PA	3 F 講義室	
	KB7562	KB-SPA-131	後学期	スペイン語入門 (2)	福田 大 治	非	1	木	5	1年S T	3 C 講義室	
	KB7563	KB-SPA-131	後学期	スペイン語入門 (3)	ビセンテ アルカニース	非	1	木	5	1年S T	3 F 講義室	

【 学術日本語 】 前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
学術日本語Ⅰ	KB7601	KB-JPN-131- JEP	前学期	学術日本語Ⅰ（総合）	安 龍 洙	機構	1	月	4	1年全学共通	共通13	
学術日本語ⅡA	KB7602	KB-JPN-131- JEP	前学期	学術日本語ⅡA（総合）	権 賢 貞	非	1	月	4	1年全学共通	共通15	
学術日本語ⅡB	KB7603	KB-JPN-131- JEP	前学期	学術日本語ⅡB（アカデミック・ライティング）	権 賢 貞	非	1	月	2	1年LPA	共通15	
学術日本語ⅡB	KB7604	KB-JPN-131	前学期	学術日本語ⅡB（アカデミック・ライティング）	八 若 壽美子	機構	1	月	3	1年ST	共通15	

【 学術日本語 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
学術日本語Ⅰ	KB7651	KB-JPN-131- JEP	後学期	学術日本語Ⅰ（応用）	青 木 香代子	機構	1	金	5	1年全学共通	共通15	
学術日本語ⅡA	KB7652	KB-JPN-131- JEP	後学期	学術日本語ⅡA（応用）	池 田 庸 子	機構	1	金	5	1年全学共通	共通21	
学術日本語ⅡC	KB7653	KB-JPN-131- JEP	後学期	学術日本語ⅡC（口頭表現）	松 田 勇 一	非	1	木	4	1年LPA	共通15	
学術日本語ⅡC	KB7654	KB-JPN-131	後学期	学術日本語ⅡC（口頭表現）	矢 高 美智子	非	1	木	5	1年ST	共通15	

【異文化コミュニケーション】前学期集中講義

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期	授業題目	担当教員	所属学部	単位	曜日	講時	指定学部クラス等	教室	備考
			クォーター									
多文化共生	KB7709	KB-CRC-135-JEP	前学期	短期海外研修Ⅰ(韓国)	安 龍 洙	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7710	KB-CRC-135-JEP	前学期	短期海外研修Ⅱ(韓国)	安 龍 洙	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7711	KB-CRC-135-JEP	前学期	短期海外研修Ⅰ(スペイン)	池 田 庸 子	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7712	KB-CRC-135-JEP	前学期	短期海外研修Ⅱ(スペイン)	池 田 庸 子	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7713	KB-CRC-133-JEP, GEP	前学期	短期海外研修Ⅰ(ブルネイ)	瀬 尾 匡 輝	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7714	KB-CRC-133-JEP, GEP	前学期	短期海外研修Ⅱ(ブルネイ)	瀬 尾 匡 輝	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7715	KB-CRC-133-JEP	前学期	短期海外研修Ⅰ(サンフランシスコボランティア)	青 木 香 代 子	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7716	KB-CRC-133-JEP	前学期	短期海外研修Ⅱ(サンフランシスコボランティア)	青 木 香 代 子	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7717	KB-CRC-133-JEP, GEP	前学期	短期海外研修Ⅰ(オーストラリア)	塚 田 純	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7718	KB-CRC-133-JEP, GEP	前学期	短期海外研修Ⅱ(オーストラリア)	塚 田 純	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	

【異文化コミュニケーション】後学期

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期	授業題目	担当教員	所属学部	単位	曜日	講時	指定学部クラス等	教室	備考
			クォーター									
人間とコミュニケーション	KB7751	KB-CRC-131-JEP	3	人間科学への招待	伊 藤 哲 司	人文	1	木	3	1年LPS	理8	
	KB7752	KB-CRC-131-JEP	3	倫理学入門	田 原 彰 太 郎	人文	1	木	3	1年LPS	共通33	
	KB7753	KB-CRC-131-JEP	3	多文化コミュニケーション	横 溝 環	人文	1	木	3	1年LPS	人文24	
	KB7754	KB-CRC-111-JEP	3	異文化としての子ども理解	新 井 英 靖	教育	1	木	3	1年LPS	教育A528	
	KB7755	KB-CRC-133-JEP, GEP	3	International Exchange	塚 田 純	機構	1	木	3	1年LPS	共通45	
多文化共生	KB7756	KB-CRC-131-JEP	3	シルクロードの文化と歴史	澁 谷 浩 一	人文	1	木	3	1年LPS	共通37	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期	授業題目	担当教員	所属	単	曜	講	指定学部クラス等	教室	備考
			クォーター			学部						
多文化共生	KB7757	KB-CRC-111-JEP	3	世界の中のヨーロッパ	森 下 嘉 之	人文	1	木	3	1年LPS	共通27	
コミュニケーション と芸術文化	KB7758	KB-CRC-111	3	イタリア・ルネサンスの美術 と思想	甲 斐 教 行	教育	1	木	3	1年LPS	共通47	
	KB7759	KB-CRC-111	3	日中比較妖怪学入門 (A)	増 子 和 男	教育	1	木	3	1年LPS	共通24	
人間とコミュニケー ション	KB7760	KB-CRC-131-JEP	4	言語と科学	藤 井 文 男	人文	1	金	4	1年LPS	共通12	
	KB7761	KB-CRC-131-JEP	4	討議活動によるアクティブ ラーニングの実践	小 川 哲 哉	教育	1	金	4	1年LPS	教育A224	
	KB7762	KB-CRC-111-JEP	4	日本語の世界	川 嶋 秀 之	教育	1	金	4	1年LPS	共通11	
多文化共生	KB7763	KB-CRC-131-JEP	4	異文化コミュニケーションと マネジメント	三 輪 徳 子	人文	1	金	4	1年LPS	人文27	
	KB7764	KB-CRC-131-JEP	4	南アジアの言語と文化	山 田 桂 子	人文	1	金	4	1年LPS	共通25	
	KB7765	KB-CRC-131-JEP, COC	4	多文化共生	青 木 香代子	機構	1	金	4	1年LPS (外国人留学生優先)	3F講義室	
コミュニケーション と芸術文化	KB7766	KB-CRC-131	4	甲骨文字と「現代」漢字	鈴 木 敦	人文	1	金	4	1年LPS	3E講義室	
人間とコミュニケー ション	KB7767	KB-CRC-131	3	言語と科学	藤 井 文 男	人文	1	金	4	1年TA	共通12	
	KB7768	KB-CRC-131	3	討議活動によるアクティブ ラーニングの実践	小 川 哲 哉	教育	1	金	4	1年TA	教育A224	
	KB7769	KB-CRC-132-GEP	3	Cross-cultural Understanding: Japan and America	館 深 雪	機構	1	金	4	1年TA	共通43	
多文化共生	KB7770	KB-CRC-131	3	異文化コミュニケーションと マネジメント	三 輪 徳 子	人文	1	金	4	1年TA	人文27	
	KB7771	KB-CRC-131	3	南アジアの言語と文化	山 田 桂 子	人文	1	金	4	1年TA	共通25	
	KB7772	KB-CRC-131-COC	3	多文化共生	青 木 香代子	機構	1	金	4	1年TA (外国人留学生優先)	3F講義室	
コミュニケーションと 芸術文化	KB7773	KB-CRC-131	3	甲骨文字と「現代」漢字	鈴 木 敦	人文	1	金	4	1年TA	3E講義室	
人間とコミュニケー ション	KB7774	KB-CRC-131	4	倫理学入門	田 原 彰太郎	人文	1	木	3	1年TA	共通33	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期	授業題目	担当教員	所属	単	曜	講	指定学部クラス等	教室	備考
			クォーター			学部						
人間とコミュニケーション	KB7775	KB-CRC-133-GEP	4	International Exchange	塚 田 純	機構	1	木	3	1年TA	共通45	
コミュニケーション と芸術文化	KB7776	KB-CRC-111	4	イタリア・ルネサンスの美術 と思想	甲 斐 教 行	教育	1	木	3	1年TA	共通47	
	KB7777	KB-CRC-111	4	ビートルズと1960年代アメリ カ：政治・文化・音楽	君 塚 淳 一	教育	1	木	3	1年TA	共通10	
	KB7778	KB-CRC-131	4	英国文化入門：再発見と再利 用の文化史	小 林 英 美	教育	1	木	3	1年TA	共通43	
	KB7779	KB-CRC-111	4	日中比較妖怪学入門 (B)	増 子 和 男	教育	1	木	3	1年TA	共通24	

【異文化コミュニケーション】後学期集中講義

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期	授業題目	担当教員	所属	単	曜	講	指定学部クラス等	教室	備考
			クォーター			学部						
多文化共生	KB7781	KB-CRC-133-JEP, GEP	後学期	短期海外研修 I (マレーシア)	瀬 尾 匡 輝	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB7782	KB-CRC-133-JEP, GEP	後学期	短期海外研修 II (マレーシア)	瀬 尾 匡 輝	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	

【 ヒューマニティーズ 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
思想・文学	KB7851	KB-HUM-131-JEP	3	変体仮名を読む	櫻井 豪人	人文	1	金	4	1年LPS	共通23	
	KB7852	KB-HUM-131-COC, JEP	3	茨城の方言と民俗	杉本 妙子	人文	1	金	4	1年LPS	共通13	
	KB7853	KB-HUM-131-JEP	3	日本古典文学講読	堀口 育男	人文	1	金	4	1年LPS	共通47	
歴史・考古学	KB7854	KB-HUM-131	3	外国人が見た江戸時代	添田 仁	人文	1	金	4	1年LPS	共通10	
	KB7855	KB-HUM-111	3	実像と虚像の戦国合戦—近世絵画の中の中世—	高橋 修	人文	1	金	4	1年LPS	共通30	
	KB7856	KB-HUM-131	3	ヨーロッパの歴史 近代以降を中心に	中田 潤	人文	1	金	4	1年LPS	共通22	
	KB7857	KB-HUM-111	3	日本の医療史	瀧澤 利行	教育	1	金	4	1年LPS	共通36	
人間科学	KB7858	KB-HUM-131	3	現代民俗学	塚原 伸治	人文	1	金	4	1年LPS	共通37	
	KB7859	KB-HUM-131	3	心理学への招待	宮崎 章夫	人文	1	金	4	1年LPS	共通32	
	KB7860	KB-HUM-131	3	心理学概論	守下 奈美子	非	1	金	4	1年LPS	共通42	
メディア文化	KB7861	KB-HUM-131	3	ことばを探す<メディア・教科書>	鈴木 一史	教育	1	金	4	1年LPS	共通41	
	KB7862	KB-HUM-133-GEP	3	主権者としてのメディア学A(Media and Democratic Citizenship A)	塚田 純	機構	1	金	4	1年LPS	共通45	
思想・文学	KB7863	KB-HUM-131-JEP	4	子どもと若者をめぐる文化	伊藤 聡	人文	1	木	3	1年LPS	共通12	
	KB7864	KB-HUM-131-JEP	4	日本近代文学	宮崎 尚子	教育	1	木	3	1年LPS	共通26	
	KB7865	KB-HUM-131-JEP	4	日本語を考える (日本語文法)	池田庸子、八若壽美子	機構	1	木	3	1年LPS	共通22	
歴史・考古学	KB7866	KB-HUM-131	4	教養としての日本戦後史	佐々木 啓	人文	1	木	3	1年LPS	共通27	
	KB7867	KB-HUM-111	4	江戸時代の村と人	千葉 真由美	教育	1	木	3	1年LPS	共通23	
人間科学	KB7868	KB-HUM-131	4	マヤ文明	青山 和夫	人文	1	木	3	1年LPS	共通32	
	KB7869	KB-HUM-111	4	心理学への招待	本山 宏希	人文	1	木	3	1年LPS	共通36	
	KB7870	KB-HUM-131	4	男性の子育てを考えよう!	数井 みゆき	教育	1	木	3	1年LPS	共通42	
	KB7871	KB-HUM-131	4	ことばの発達と障害	田原 敬	教育	1	木	3	1年LPS	共通37	
メディア文化	KB7872	KB-HUM-131	4	戦争の記録と記憶	高野 光平	人文	1	木	3	1年LPS	共通34	
	KB7873	KB-HUM-131	4	メディアと社会	村上 信夫	人文	1	木	3	1年LPS	共通41	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
思想・文学	KB7874	KB-HUM-131	3	日本人の死生観	伊藤 聡	人文	1	木	3	1年T A	共通1 2	
	KB7875	KB-HUM-131	3	日本近代文学	宮崎 尚子	教育	1	木	3	1年T A	共通2 6	
歴史・考古学	KB7876	KB-HUM-131	3	教養としての日本戦後史	佐々木 啓	人文	1	木	3	1年T A	共通2 7	
	KB7877	KB-HUM-131	3	江戸時代の村と人	千葉 真由美	教育	1	木	3	1年T A	共通2 3	
人間科学	KB7878	KB-HUM-111	3	心理学への招待	本山 宏希	人文	1	木	3	1年T A	共通3 6	
	KB7879	KB-HUM-131	3	男性の子育てを考えよう！	数井 みゆき	教育	1	木	3	1年T A	共通4 2	
メディア文化	KB7880	KB-HUM-131	3	メディアと社会	村上 信夫	人文	1	木	3	1年T A	共通4 1	
思想・文学	KB7881	KB-HUM-131	4	変体仮名を読む	櫻井 豪人	人文	1	金	4	1年T A	共通2 3	
歴史・考古学	KB7882	KB-HUM-131	4	外国人が見た江戸時代	添田 仁	人文	1	金	4	1年T A	共通1 0	
	KB7883	KB-HUM-111	4	実像と虚像の戦国合戦—近世絵画の中の中世—	高橋 修	人文	1	金	4	1年T A	共通3 0	
	KB7884	KB-HUM-131	4	ヨーロッパの歴史 近代以降を中心に	中田 潤	人文	1	金	4	1年T A	共通2 2	
	KB7885	KB-HUM-111	4	日本の医療史	瀧澤 利行	教育	1	金	4	1年T A	共通3 6	
人間科学	KB7886	KB-HUM-131	4	現代民俗学	塚原 伸治	人文	1	金	4	1年T A	共通3 7	
	KB7887	KB-HUM-131	4	心理学概論	守下 奈美子	非	1	金	4	1年T A	共通4 2	
メディア文化	KB7888	KB-HUM-131	4	ことばを探す<メディア・教科書>	鈴木 一史	教育	1	金	4	1年T A	共通4 1	
	KB7889	KB-HUM-133-GEP	4	主権者としてのメディア学B(Media and Democratic Citizenship B)	塚田 純	機構	1	金	4	1年T A	共通4 5	

【 パフォーマンス&アート 】後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
スポーツ文化	KB7951	KB-PAA-131	3	スポーツトレーニング	渡 邊 将 司	教育	1	金	4	1年L P S	3 C 講義室	
美術文化	KB7952	KB-PAA-131	3	暮らしの中の美術	島 剛	教育	1	金	4	1年L P S	共通4 4	
音楽文化	KB7953	KB-PAA-131	3	音楽文化メッタ切り、音楽バカ談義	山 口 哲 人	教育	1	金	4	1年L P S	教育C 4 0 1	
ダンス・演劇文化	KB7954	KB-PAA-131-COC	4	水戸芸術館で学ぶ音楽、演劇、美術	田 中 宏 明、他	教育	1	木	3	1年L P S	共通3 0	
美術文化	KB7955	KB-PAA-131	4	絵画入門	片 口 直 樹	教育	1	木	3	1年L P S	教育C 1 1 1	
	KB7956	KB-PAA-131	4	仮名の書に親しむ	齋 木 久 美	教育	1	木	3	1年L P S	教育B 1 0 7	
スポーツ文化	KB7957	KB-PAA-131	4	心身の健康科学	斉 藤 ふくみ	教育	1	木	3	1年L P S	3 C 講義室	
音楽文化	KB7958	KB-PAA-131	4	新しい音楽を探す	山 口 哲 人	教育	1	木	3	1年L P S	教育C 4 0 1	
	KB7959	KB-PAA-111	4	ムーミン、オーロラ、シベリウス〜フィンランドの音楽を訪ねて〜	神 部 智	教育	1	木	3	1年L P S	教育C 4 3 6	
美術文化	KB7960	KB-PAA-131	3	暮らしの中の美術	島 剛	教育	1	木	3	1年T A	共通4 4	
	KB7961	KB-PAA-131	3	世界のアニメーション文化	島 田 裕 之	教育	1	木	3	1年T A	教育C 1 0 1	
ダンス・演劇文化	KB7962	KB-PAA-131-COC	3	水戸芸術館で学ぶ音楽、演劇、美術	田 中 宏 明、他	教育	1	木	3	1年T A	共通3 0	
音楽文化	KB7963	KB-PAA-111	3	クラシック音楽の魅力〜バッハからドビュッシーへの旅路〜	神 部 智	教育	1	木	3	1年T A	教育C 4 3 6	
	KB7964	KB-PAA-131	3	独唱の喜び	藤 田 文 子	教育	1	木	3	1年T A	教育C 4 0 1	
美術文化	KB7965	KB-PAA-131	3	画像加工入門	佐々木 忠 之	教育	1	木	3	1年T A	教育B 3 0 1	
美術文化	KB7966	KB-PAA-131	4	絵画入門	片 口 直 樹	教育	1	金	4	1年T A	教育C 1 1 1	
スポーツ文化	KB7967	KB-PAA-131	4	心身の健康科学	斉 藤 ふくみ	教育	1	金	4	1年T A	3 C 講義室	

自然と社会の広がり

【 自然・環境と人間 】 前学期・集中講義

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属学部	単位	曜日	講時	指定学部クラス等	教室	備考
環境と人間	KB8101	KB-NEH-131	1	障がいのある人と共生・共存する社会～障がいを知る～	有賀 絵理	非	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB8102	KB-NEH-131-COC	2	サステイナビリティ学入門	田村 誠	ICAS	1	集中		1年全学共通	水戸開講	

【 自然・環境と人間 】 後学期

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属学部	単位	曜日	講時	指定学部クラス等	教室	備考
物質と生命	KB8151	KB-NEH-131	3	化学の理論と人間I	青島 政之	教育	1	火	5	1年LP	共通23	
技術と社会	KB8152	KB-NEH-131-COC	3	茨城の産業・技術と社会 (地域産業・技術編)	堤 一郎	教育	1	火	5	1年LP	共通32	
	KB8153	KB-NEH-111	3	暮らしの中の科学技術	矢島 裕介	教育	1	火	5	1年LP	共通41	
	KB8154	KB-NEH-131	3	バイオテクノロジー入門	安西 弘行、金澤 卓弥、 朝山 宗彦	農	1	火	5	1年LP	共通46	
環境と人間	KB8155	KB-NEH-131	3	食生活と環境	西川 陽子	教育	1	火	5	1年LP	3C講義室	
	KB8156	KB-NEH-131	3	化学とエネルギーと環境	松川 覚	教育	1	火	5	1年LP	人文10	
	KB8157	KB-NEH-131	3	計算機科学への招待	佐藤 伸也	機構	1	火	5	1年LP	共通43	
	KB8197	KB-NEH-131-COC	3	自然災害と地域防災	信岡 尚道	工	1	火	5	1年LP	共通11	
物質と生命	KB8158	KB-NEH-111	4	宇宙の進化と物質生命	藤原 高德	理	1	火	5	1年LP	共通36	
	KB8159	KB-NEH-131	4	化学の理論と人間II	青島 政之	教育	1	火	5	1年LP	共通23	
技術と社会	KB8160	KB-NEH-131-COC	4	茨城の産業・技術と社会 (河川航路・鉄道編)	玉川 里子	非	1	火	5	1年LP	共通32	
	KB8161	KB-NEH-111	4	暮らしの中の科学技術	矢島 裕介	教育	1	火	5	1年LP	共通41	
環境と人間	KB8162	KB-NEH-131	4	環境とライフスタイル	木村 美智子	教育	1	火	5	1年LP	共通47	
	KB8163	KB-NEH-131	4	身近な生物たちと共に暮らす社会	阿部 信一郎	教育	1	火	5	1年LP	共通46	
	KB8164	KB-NEH-111	4	地球と生物	伊藤 孝	教育	1	火	5	1年LP	共通22	
	KB8165	KB-NEH-131-COC	4	自然災害と地域防災	信岡 尚道	工	1	火	5	1年LP	共通11	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
物質と生命	KB8166	KB-NEH-131	3	生命科学Ⅰ	熊 沢 紀 之	工	1	火	4	1年STA	共通12	
	KB8167	KB-NEH-131	3	有用物質と生命	小川 恭喜、宮口 右二	農	1	火	4	1年STA	共通24	
	KB8168	KB-NEH-131	3	宇宙論史Ⅰ	山 崎 大	機構	1	火	4	1年STA	共通10	
	KB8169	KB-NEH-131	3	素粒子物理学における現象論Ⅰ	小 西 康 文	機構	1	火	4	1年STA	共通30	
	KB8170	KB-NEH-131	3	物質と生命	藤 澤 清 史	理	1	火	4	1年STA	共通33	
技術と社会	KB8171	KB-NEH-131	3	機械システム入門(1)	機械システム工学科教員	工	1	火	4	1年STA	共通36	
	KB8172	KB-NEH-131	3	バイオテクノロジー入門	安西 弘行、金澤 卓弥、 朝山 宗彦	農	1	火	4	1年STA	共通46	
	KB8173	KB-NEH-131	3	微生物と人間社会	長南 茂、久留主 泰朗、 西原 宏史	農	1	火	4	1年STA	共通26	
環境と人間	KB8174	KB-NEH-131	3	環境と人間	篠嶋妥、太田弘道、他	工	1	火	4	1年STA	共通22	
	KB8175	KB-NEH-131-COC	3	自然災害と地域防災	信 岡 尚 道	工	1	火	4	1年STA	共通11	
	KB8176	KB-NEH-131	3	化学と環境	森 聖治、山口 央	理	1	火	4	1年STA	共通37	
	KB8177	KB-NEH-131	3	宇宙環境の理解	野 澤 恵	理	1	火	4	1年STA	共通32	
物質と生命	KB8178	KB-NEH-131	4	生命と物質	大 友 征 宇	理	1	火	4	1年STA	共通33	
	KB8179	KB-NEH-131	4	生命科学Ⅱ	熊 沢 紀 之	工	1	火	4	1年STA	共通12	
	KB8180	KB-NEH-131	4	化学物質と生命	小川 恭喜、豊田 淳	農	1	火	4	1年STA	共通24	
	KB8181	KB-NEH-131	4	宇宙論史Ⅱ	山 崎 大	機構	1	火	4	1年STA	共通10	
	KB8182	KB-NEH-131	4	素粒子物理学における現象論Ⅱ	小 西 康 文	機構	1	火	4	1年STA	共通30	
技術と社会	KB8183	KB-NEH-131	4	機械システム入門(2)	機械システム工学科教員	工	1	火	4	1年STA	共通36	
	KB8184	KB-NEH-131	4	具体的な問題からの視点	辻 龍 介	工	1	火	4	1年STA	共通42	
環境と人間	KB8185	KB-NEH-131	4	環境と人間	篠嶋妥、太田弘道、他	工	1	火	4	1年STA	共通22	
	KB8186	KB-NEH-131	4	生物の多様さと人間の活動	及 川 真 平	理	1	火	4	1年STA	共通37	
	KB8187	KB-NEH-131	4	宇宙環境の利用	野 澤 恵	理	1	火	4	1年STA	共通32	
	KB8188	KB-NEH-131-COC	4	霞ヶ浦の自然	岡 田 誠	理	1	火	4	1年STA	共通26	
	KB8189	KB-NEH-131	4	計算機科学への招待	佐 藤 伸 也	機構	1	火	4	1年STA	共通43	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
環境と人間	KB8198	KB-NEH-131-COC	4	自然災害と地域防災	信岡 尚道	工	1	火	4	1年STA	共通11	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
技術と社会	KB0812	KB-NEH-131	4	半導体応用電子デバイス	村上 進	非	1	金	6	1年T (フレックス) 2年T (Bコース)	工学部開講	

【 自然・環境と人間 】 後学期・集中講義

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
環境と人間	KB8196	KB-NEH-131-COC	3	霞ヶ浦と流域活動	黒田 久雄、他	農	1	集中		1年全学共通	水戸開講	

【 グローバル化と人間社会 】 後学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
法律・政治	KB8251	KB-GHS-111	3	日本の政治	馬 渡 剛	人文	1	月	4	1年L P S	共通2 2	
	KB8252	KB-GHS-131	3	政治・行政の視座	川 島 佑 介	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 3	
経済・経営	KB8253	KB-GHS-131	3	ミクロ経済学入門（生産者行動理論）	田 中 泉	人文	1	月	4	1年L P S	共通4 2	
	KB8254	KB-GHS-131	3	現代日本の経済Ⅰ	兪 和	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 7	
	KB8255	KB-GHS-131	3	マネジメント入門（マネジメン トの使命と方法）	細 田 雅 洋	人文	1	月	4	1年L P S	共通2 7	
	KB8256	KB-GHS-131	3	日本経済史入門（明治～戦間期）	宮 崎 忠 恒	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 2	
	KB8257	KB-GHS-111	3	経済学入門（合理的な意思決定）	石 垣 建 志	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 6	
公共社会	KB8258	KB-GHS-131	3	消費者の自立	野 中 美津枝	教育	1	月	4	1年L P S	共通4 7	
	KB8259	KB-GHS-131	3	平和のための政治A	蓮 井 誠一郎	人文	1	月	4	1年L P S	共通2 3	
	KB8260	KB-GHS-131-COC	3	大学生と消費生活	井上 拓也、古山 均	人文・非	1	月	4	1年L P S	3 C 講義室	
グローバル スタディーズ	KB8261	KB-GHS-111-JEP	3	観光地理学概論	小 原 規 宏	人文	1	月	4	1年L P S	共通1 2	
	KB8262	KB-GHS-132-JEP, GEP	3	Diversity and Social Issues in Japan A	青 木 香代子	機構	1	月	4	1年L P S (外国人留学生優先)	3 F 講義室	
	KB8263	KB-GHS-131-JEP	3	環境と経済のサステイナビリ ティ：気候変動編	田 村 誠	ICAS	1	月	4	1年L P S	共通1 1	
法律・政治	KB8264	KB-GHS-131-COC	4	生き残るための政治学	馬 渡 剛	人文	1	月	4	1年L P S	共通2 2	
	KB8265	KB-GHS-111	4	政治と行政の仕組み	川 島 佑 介	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 3	
経済・経営	KB8266	KB-GHS-131	4	ミクロ経済学入門（消費者行 動理論）	田 中 泉	人文	1	月	4	1年L P S	共通4 2	
	KB8267	KB-GHS-131	4	現代日本の経済Ⅱ	兪 和	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 7	
	KB8268	KB-GHS-131	4	マネジメント入門（マネジメ ントの方法と戦略）	細 田 雅 洋	人文	1	月	4	1年L P S	共通2 7	
	KB8269	KB-GHS-131	4	日本経済史入門（復興期～高度 成長期）	宮 崎 忠 恒	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 2	
	KB8270	KB-GHS-111	4	経済学入門（需要と供給）	石 垣 建 志	人文	1	月	4	1年L P S	共通3 6	
	KB8271	KB-GHS-131	4	私たちの暮らしと金融 （野村証券提供講座）	野村証券講師	非	1	月	4	1年L P S	共通4 6	
公共社会	KB8272	KB-GHS-131	4	障害者の歴史と人権	荒 川 智	教育	1	月	4	1年L P S	共通2 6	

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
公共社会	KB8273	KB-GHS-131	4	平和のための政治B	蓮井 誠一郎	人文	1	月	4	1年LPS	共通23	
グローバル スタディーズ	KB8274	KB-GHS-132-JEP, GEP	4	Diversity and Social Issues in Japan B	青木 香代子	機構	1	月	4	1年LPS (外国人留学生優先)	3F講義室	
	KB8275	KB-GHS-131-JEP	4	環境と経済のサステイナビリティ：エネルギー編	田村 誠	ICAS	1	月	4	1年LPS	共通11	
法律・政治	KB8351	KB-GHS-131	3	西洋近代世界の成立と政治	乙部 延剛	人文	1	金	3	1年TA	共通33	
	KB8352	KB-GHS-131	3	福祉と法（子ども、若者）	土屋 和子	人文	1	金	3	1年TA	共通12	
経済・経営	KB8353	KB-GHS-131	3	会社とは何か	高井 美智明	人文	1	金	3	1年TA	共通36	
	KB8354	KB-GHS-131	3	経営戦略論入門	加藤 崇徳	人文	1	金	3	1年TA	共通41	
	KB8355	KB-GHS-131	3	私たちの暮らしと金融 (野村証券提供講座)	野村証券講師	非	1	金	3	1年TA	共通46	
公共社会	KB8356	KB-GHS-131	3	障害者の歴史と人権	荒川 智	教育	1	金	3	1年TA	共通26	
	KB8357	KB-GHS-131-COC	3	地域社会学概論 基礎編	星 純子	人文	1	金	3	1年TA	共通27	
	KB8358	KB-GHS-131-COC	3	現代社会論A	渋谷 敦司	人文	1	金	3	1年TA	共通24	
グローバル スタディーズ	KB8359	KB-GHS-131	3	20世紀の国際政治と地球的問題I	小松 寛	非	1	金	3	1年TA	共通42	
	KB8360	KB-GHS-132-GEP	3	Media and Politics in Japan A	塚田 純	機構	1	金	3	1年TA	共通45	
法律・政治	KB8361	KB-GHS-131	4	共生をめぐる政治：20世紀から現在に至る模索	乙部 延剛	人文	1	金	3	1年TA	共通33	
	KB8362	KB-GHS-131	4	福祉と法（障害のある人、高齢者）	土屋 和子	人文	1	金	3	1年TA	共通12	
経済・経営	KB8363	KB-GHS-131	4	コーポレート・ガバナンス入門	高井 美智明	人文	1	金	3	1年TA	共通36	
経済・経営	KB8364	KB-GHS-131	4	経営組織論入門	加藤 崇徳	人文	1	金	3	1年TA	共通41	
公共社会	KB8365	KB-GHS-131	4	戦後昭和の都市と農村	乾 康代	教育	1	金	3	1年TA	共通32	
	KB8366	KB-GHS-131	4	仕事を考える	小磯 重隆	機構	1	金	3	1年TA	共通13	
	KB8367	KB-GHS-131-COC	4	地域社会学概論 応用編	星 純子	人文	1	金	3	1年TA	共通27	
	KB8368	KB-GHS-131	4	大学生と消費生活	古山 均	非	1	金	3	1年TA	3C講義室	

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
グローバル スタディーズ	KB8369	KB-GHS-131	4	20世紀の国際政治と地球的問題II	小 松 寛	非	1	金	3	1年T A	共通4 2	
	KB8370	KB-GHS-132-GEP	4	Media and Politics in Japan B	塚 田 純	機構	1	金	3	1年T A	共通4 5	

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
グローバルスタ ディーズ	KB0823	KB-GHS-131	3	アジア学入門	金 光 男	機構	1	火	6	1年T(フレックス) 2年T(Bコース)	工学部開講	
公共社会	KB0824	KB-GHS-131	4	社会学の視点	富 江 直 子	人文	1	火	6	1年T(フレックス) 2年T(Bコース)	工学部開講	

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
日本国憲法	KB8455	KB-GHS-131	3	憲法と統治機構	古 屋 等	人文	1	月	4	1年A	共通1 0	連動授業
	KB8456	KB-GHS-131	4	憲法と人権保障	古 屋 等	人文	1	月	4	1年A	共通1 0	

【 グローバル化と人間社会 】 後学期・集中講義

授業科目	シラバスコード	ナンバリングコード	学期 クォーター	授業題目	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
公共社会	KB8551	KB-GHS-131-COC	各クォーター	ボランティア活動	戸 嶋 浩 明	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB8552	KB-GHS-121	各クォーター	インターンシップ実習 I	小 磯 重 隆	機構	1	集中		1年全学共通	水戸開講	
	KB8553	KB-GHS-131-COC	3	アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～	加藤 敏弘、他	人文・非	1	集中		1年全学共通	水戸開講	

3-4 全学共通プログラム科目

【COC地域志向教育プログラム】前学期

授業科目	シラバス コード	ナンバリング コード	学期 クォーター	担当教員	所属 学部	単 位	曜 日	講 時	指定学部クラス等	教室	備考
5 学部混合地域 P B L I	KP3001	KP-ARS-331-COC	前学期	清 水 恵美子	機構	2		集中	1 年全学共通	水戸開講	
5 学部混合地域 P B L III	KP3003	KP-ARS-331-COC	前学期	西野由希子、井上拓也	人文	2		集中	1 年全学共通	水戸開講	
5 学部混合地域 P B L IV	KP3004	KP-ARS-332-COC	前学期	瀬尾匡輝、青木香代子、 塚田純、八若壽美子	機構	2		集中	1 年全学共通	水戸開講	

第 IV 部

全学共通プログラム

1 全学共通プログラム

1-1 全学共通プログラムの種類

本学では、学生の主体的な学びを推奨し、特定の能力等を育成するとともに、高度な技能等の修得に資するため、次の全学共通プログラムを設けています。

この全学共通プログラムの修了は卒業要件ではありませんが、効果的な学修のため、積極的に全学共通プログラムを履修することを推奨します。

また、このほかに、学部によって様々な教育プログラムが用意されていることもあります。各学部の履修要項等を確認してください。

○**グローバル英語プログラム (GEP)**：プラクティカル・イングリッシュを基礎に、全学共通科目と専門科目を系統的に履修して、海外の大学で学ぶ、あるいはグローバルな視点を持って活躍できる能力を養成する教育プログラムです。TOEIC 550点相当以上を取得している学生を対象とします。

○**日本語教育プログラム**：外国語としての日本語を指導するために必要な専門的基礎知識と基礎能力を修得するための教育プログラムです。人文社会科学部、及び教育学部の学生を対象とします。

○**COC地域志向教育プログラム**：地域課題を解決し、地域を活性化する、地域に頼られ、地域を先導できる学生をアクティブ・ラーニングの手法を用いて育成する教育プログラムです。
COC とは、Center of Community の略です。

○**地域協創人材教育プログラム**：地域志向教育プログラムに加えて、「地域理解力」、「地域の課題発見・解決能力」及び「実践に即したプロジェクト企画能力」を有する学生を育成する教育プログラムです。茨城大学をはじめとして、茨城キリスト教大学、茨城県立医療大学、常磐大学、茨城工業高等専門学校が協働して実施します。

○**AIMSプログラム**：アジアを舞台に、未来を担う学生の相互学習交流を飛躍的に促進し、国際的な視野をもった専門職業人を育成し輩出することを目的とした、アジア発の国際共同教育プログラムです。人文社会科学部、理学部、農学部 of 学生を対象とします。
AIMS とは、ASEAN International Mobility for Students の略です。

1-2 全学共通プログラムの履修方法

全学共通プログラムを構成する個々の授業（基盤教育科目、全学共通科目及び専門科目）の履修申告や履修登録の手続きは、前掲の基盤教育科目と同じです（p. 30～参照）。全学共通科目の履修申告には「基盤教育科目履修申告票」を使ってください。

各全学共通プログラムの詳細は次ページ以降を確認してください。

2 各教育プログラムの説明

2-1 グローバル英語プログラム（GEP）

(1) 「グローバル英語プログラム」について

グローバル英語プログラム（GEP：Global English Program）とは、「プラクティカル・イングリッシュ」に加えて、GEPを構成する全学共通科目および専門科目を発展的かつ系統的に履修し、学生が主体的に英語で学修を行うことを促進するプログラムです。学生のニーズに合わせて、4技能の向上、専門分野における英語力の向上、留学への動機づけと準備、グローバル社会に対応するキャリア形成の意識向上をめざすプログラム科目を提供します。学生として、社会人として、研究者として国内外において実践的英語力を活かしてグローバルな視点を持って活躍できる能力を養成します。このプログラムの授業は、原則として英語で行います。

(2) 「グローバル英語プログラム」で育成する英語力

このプログラムでは、ディプロマ・ポリシーのうち、特に①（世界の俯瞰的理解）、②（専門分野の学力）、③（課題解決能力・コミュニケーション力）、④（社会人としての姿勢）の4つを踏まえて教育を行い、以下の英語力を育成することを目指します。

- ・基盤教育科目で学んだ時事問題や自国の文化等について見解を述べることができる英語力
- ・学部の専門教育で学んだ知識を前提として、専門分野の論文を理解することができる英語力、さらに、専門分野の研究発表（口頭発表、論文発表）をすることができる英語力
- ・英語圏の大学で専門分野を学ぶことができる英語力
- ・企業で必要とされる英語力

(3) 「グローバル英語プログラム」の履修資格と修了証の要件

1) 履修資格

「プラクティカル・イングリッシュ」6単位修得かつTOEIC 550点相当以上を履修要件とします。

2) プログラム修了の要件

全学部生必修の基盤教育科目「プラクティカル・イングリッシュ」を基礎に、表1のプログラム科目（全学共通科目）、AIMS科目（全学共通科目）及び各学部が指定する専門科目（留学などの単位修得により専門科目として認定された単位を含む。）を履修し、下表の単位を修得した者を修了認定し、修了証を発行します。修了証の発行の手続きについては、別途お知らせします。

なお、プログラムの修了要件ではありませんが、プログラム修了時に英語力の向上度を測定する指標として外部検定試験（TOEIC）の受験を推奨します。

プログラム名	プラクティカル・イングリッシュ (1年次前学期～3年次前学期)	全学共通科目及び専門科目 (2年次後学期～)	合計
GEP	6単位（必修）	6単位（選択）	12単位
Advanced GEP ※	6単位（必修）	14単位（選択）	20単位

※ GEPの修了要件よりも全学共通科目又は専門科目から8単位多く単位を修得した学生にはAdvanced GEPとして修了認定します。

表1 GEP 構成科目

区分	授業科目	単位数	必修/選択	
G E P 構 成 科 目	基盤教育科目 プラクティカル・イングリッシュ Integrated English IA、IIA、IIIA	2	必修 (2 単位)	
	プラクティカル・イングリッシュ Integrated English IB、IIB、IIIB	1	必修 (1 単位)	
	プラクティカル・イングリッシュ Advanced English IA、IB、IIA、IIB、IIIA、IIIB、IIIC	1	必修 (3 単位)	
	English for Socializing	1	選択	
	Reading & Discussion	1	選択	
	Presentations in English	1	選択	
	TOEIC & TOEFL	1	選択	
	Academic Speaking	1	選択	
	Academic Writing	1	選択	
	Studies in Particular Fields	1	選択	
	Studying Abroad	1	選択	
	Bilingualism	1	選択	
	Studies in Contemporary Japan	1	選択	
	A I M S 科 目	AIMSプログラム科目のうち、講義科目として開講されているもの	1~2	選択 4 単位までとする
	専 門 科 目 ※	各学部開講の英語による専門科目 (所属学部以外も含む)	1~2	選択
	留学などの単位修得により専門科目として認定された科目	所属学部における認定単位数		

4 単位以上推奨

- ・専門科目における GEP 構成科目は、各学部の履修要項等で確認してください。
- ・1 年次後学期から 2 年次前学期に英語で開講されている基盤教育科目の一部を「プレ GEP 科目」として指定します。GEP の履修要件を満たし、GEP プログラム修了認定を受ける場合は、2 単位までを GEP 構成科目として認定します。指定科目は表 3 のとおりです。

表2 全学共通科目の授業概要

これらの授業は、以下のような内容で平成30年度後学期からの開講が予定されています。

授業科目名	授業の概要（予定）	使用言語
English for Socializing	スピーキング力だけでなく、様々な国の人たちと英語で意思疎通を図り、人間関係を構築する際に求められるコミュニケーション力ならびにソーシャル・スキルなどを養成する。	英語主
Reading & Discussion	時事問題やアカデミックなトピックについての記事や論文などの内容を理解し要約できるリーディング力、それを基に論理的に自分の主張を組み立て主張できるディスカッション力を養成する。	日英併用
Presentations in English	主張を論理的に組み立て、かつ先行研究のデータを入れるなど客観性を持たせた内容に基づいて、聴衆にとって聞きやすく説得力のあるプレゼンテーションを行うのに必要な能力を養う。	日英併用
TOEIC & TOEFL	TOEIC で800点以上を目指すためのトレーニングを行う。また、(交換)留学を視野にいれ、TOEFL (ITP)で550点以上を目指すためのトレーニングを行う。	日英併用
Academic Speaking	伝えるべき内容を論理的に組み立てる能力、プレゼンテーションやディスカッションなどで必要とされるアイコンタクトやジェスチャーなどを取り入れた相手に伝わるスピーキング力を養成する。	英語主
Academic Writing	英語でレポート、エッセイ、論文を書く際に必要とされるライティング力を養成する。実例を教材として効果的な構成方法や表現方法を学ぶ。	日英併用
Studies in Particular Fields	専門分野に関わる書物や論文を理解できる語彙力(特に専門用語)や読解力などの養成を通じて、特定の専門分野について英語で学べるようになることを目標とする。	英語主
Studying Abroad	留学する際に必要とされる様々な国における常識の違いや価値観の相違などを理解する力を養成する。	英語のみ
Bilingualism	グローバル社会におけるバイリンガリズム(2言語併用)の概念や考え方を言語学、心理言語学、第二言語習得理論など様々な観点からの見解を学ぶ。	英語のみ
Studies in Contemporary Japan	現在の日本について担当者の専門分野のトピックを中心に学ぶ。	英語のみ

表3 平成30年度「プレGEP科目」一覧

平成30年度に開講される「プレGEP科目」は下表のとおりです。

基盤教育科目

科目区分	授業科目区分	授業題目	単位数	対象年次
異文化コミュニケーション	人間とコミュニケーション	Cross-cultural Understanding: Japan and America	1	1
異文化コミュニケーション	人間とコミュニケーション	International Exchange	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修I(ブルネイ)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修II(ブルネイ)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修I(マレーシア)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修II(マレーシア)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修I(オーストラリア)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修II(オーストラリア)	1	1
ヒューマニティーズ	メディア文化	主権者としてのメディア学A (Media and Democratic Citizenship A)	1	1
ヒューマニティーズ	メディア文化	主権者としてのメディア学B (Media and Democratic Citizenship B)	1	1
グローバル化と人間社会	グローバルスタディーズ	Diversity and Social Issues in Japan A	1	1
グローバル化と人間社会	グローバルスタディーズ	Diversity and Social Issues in Japan B	1	1
グローバル化と人間社会	グローバルスタディーズ	Media and Politics in Japan A	1	1
グローバル化と人間社会	グローバルスタディーズ	Media and Politics in Japan B	1	1

2-2 日本語教育プログラム

(1) 「日本語教育プログラム」について

本プログラムは、外国語としての日本語を指導するために必要な専門的基礎知識と基礎能力の習得を目的とします。

本プログラム修了に必要な単位数は 26 単位 (必修科目 12 単位、選択科目 14 単位) です (注 1)。

必要単位数を取得した者には、「茨城大学日本語教育プログラム修了証」を交付します。本修了証は、本プログラムの所定の単位を取得し、本プログラムを修了したことを証明するもので、日本語教員資格などを認定するものではないことに注意してください。なお、現在、教育職員免許状のような公的な日本語教員免許制度はありません (注 2)。

(注 1) 本プログラムの教育課程編成は、文化庁が平成 12 年 3 月 30 日に取りまとめた「日本語教育のための教員養成について」において示された教育内容に準拠します。また、法務省による日本語教育機関の告示基準(平成 29 年 8 月 1 日施行)の第 1 条第 1 項 13 号及び「日本語教育機関の告示基準解釈指針」に示された「日本語教育機関における教員の要件」(平成 29 年度 4 月以降入学者から適用)を満たす教育課程となっています。

(注 2) 日本語教員の知識・能力を判定するものとしては、(財)日本国際教育支援協会(JEES)が実施している「日本語教育能力検定試験」があります。

(2) 「日本語教育プログラム」の受講対象者について

本プログラムを受講できるのは人文社会科学部と教育学部の学生です。なお、本プログラムは人文社会科学部のサブメジャーとなっています。詳しくは人文社会科学部の履修要項等を確認してください。

本プログラムは学年進行で開講されます。

(3) 「日本語教育プログラム」の履修科目及び履修基準について

本プログラムは選択科目と必修科目から構成されています。それぞれの履修科目及び履修基準は次のとおりです。

1) 選択科目

- ① 選択科目は、指定された基盤教育科目及び人文社会科学部・教育学部開講の専門科目から選択すること。
※基盤教育科目は、異なる授業題目であれば同一授業科目を複数履修することができる。
- ② 履修に当たっては、所属学部の履修基準に従い、各授業科目の履修上の注意をよく読んで履修すること。
- ③ 選択科目は、領域 1「言語、言語と心理、言語と教育」、領域 2「言語と社会、社会・文化・地域」の各領域 4 単位以上含み、14 単位以上を履修すること。

2) 必修科目

- ① 「思想・文学[日本語を考える]」は(日本語文法)、(日本語の諸相)の計 2 単位を履修すること。
- ② 「日本語教授法」は I、II の順で履修すること。
- ③ 「日本語教授法演習」「日本語教授法演習(海外)」はいずれか 1 科目を履修すること。
- ④ 「日本語教授法演習」及び「日本語教授法演習(海外)」は 3 年次後学期又は 4 年次前学期に受講するが「日本語教授法演習」「日本語教授法演習(海外)」開始前に当該授業以外の所

要単位をすべて取得済みであることが履修条件なので注意すること。また、「日本語教授法演習（海外）」は学内の交換留学に応募し、受入校への交換留学派遣候補者として推薦を受けることが履修条件となっている。

- ⑤ 必修科目の「日本語教育概論」、「多文化社会と日本語教育」、「日本語教授法Ⅰ」、「日本語教授法Ⅱ」、「日本語教授法演習」「日本語教授法演習（海外）」は、全学共通科目として開講される。
- ⑥ 「日本語教授法演習」の受講者数は、3年次以上後学期10名程度、4年次前学期10名程度であり、希望者が受入可能数を超えた場合は、必修科目(思想・文学[日本語を考える] [1年次第4クォーター・2年次第1クォーター]、日本語教育概論 [2年次前学期]、多文化社会と日本語教育 [2年次前学期]、日本語教授法Ⅰ [2年次後学期]、日本語教授法Ⅱ [3年次前学期])の成績によって選抜する。選抜の時期は、3年次前学期の成績が出た時点(9月中旬頃)とする。その結果、「日本語教授法演習」を受講できず、本プログラムを修了できないことがあるので注意すること。
- ⑦ 「日本語教授法演習」及び「日本語教授法演習（海外）」以外の必修科目は、必ずしも本プログラム修了を目指さない人文社会科学部・教育学部の学生も履修できる。
- ⑧ 「日本語教授法演習及び「日本語教授法演習（海外）」は履修条件を満たしているかどうか、確認の上、履修申告すること。

表1 必修科目(12単位)

※基盤： 基盤教育科目 全学： 全学共通科目

	授業科目	履修年次	開講学期	単位
基盤	思想・文学「日本語を考える(日本語文法)」	1年次以上	1年第4クォーター	1
基盤	思想・文学「日本語を考える(日本語の諸相)」	2年次以上	2年第1クォーター	1
全学	日本語教育概論	2年次以上	前学期	2
全学	多文化社会と日本語教育	2年次以上	前学期	2
全学	日本語教授法Ⅰ	2年次以上	後学期	2
全学	日本語教授法Ⅱ	3年次以上	前学期	2
全学	日本語教授法演習 または 日本語教授法演習 (海外)	3年次以上	後学期 (前学期)	2

(注1) 「日本語教授法演習」の期間は3週間である。その期間中に茨城大学の日本語クラスでの教壇実習を含む15回(30時間)の授業を行う。詳細は「日本語教授法演習」履修条件確認時に渡される「日本語教授法演習案内」を参照のこと。

(注2) 「日本語教授法演習（海外）」は大学間交流協定校との協力で行う。渡航前に全学教育機構教員によるガイダンスを受ける。受入協定校で、担当教員の指導のもと、1学期に26時間以上日本語教育に関する学修(授業見学、採点補助、会話パートナー、教材作成補助、教壇実習など)を行う。帰国後レポートを提出し、帰国報告会を行う。履修登録方法等、詳細は履修条件確認時に渡される「日本語教授法演習（海外）案内」を参照のこと。受入協定校はインドネシア教育大学、仁済大学、トゥラキットバンディット大学、ソフィア大学、アイダホ州立大学、ウィスコンシン州立大学、レンヌ第一大学。

(4) 「日本語教育プログラム」の開講科目について

「日本語教育プログラム」に対応する科目は表2「日本語教育プログラム」対応科目一覧のとおりです。平成30年度1年次向けに開講される具体的な授業は次ページの「平成30年度 日本語教育プログラム開講科目一覧表 平成30年度入学者用」を確認してください。

表2 「日本語教育プログラム」対応科目一覧

区分	領域	学部	授業科目	対象年	単位	学部	授業科目	対象年	単位
必修科目		基盤	思想・文学【日本語を考える(日本語文法)】	1年	1	全学	日本語教授法Ⅰ	2年	2
		基盤	思想・文学【日本語を考える(日本語の諸相)】	2年	1	全学	日本語教授法Ⅱ	3年	2
		全学	日本語教育概論	2年	2	全学	日本語教授法演習 または 日本語教授法演習(海外)	3年	2
		全学	多文化社会と日本語教育	2年	2				
選択科目	領域1	人	国語学概論	1年	2	基盤	思想・文学	1年	1
		人	国語史Ⅰ	2年	2	基盤	ドイツ語Ⅰ	1年	2
		人	国語史Ⅱ	2年	2	基盤	ドイツ語Ⅱ	1年	2
		人	社会言語学入門	1年	1	基盤	フランス語Ⅰ	1年	2
		人	社会言語学概論	2年	2	基盤	フランス語Ⅱ	1年	2
		人	言語学概論	1年	1	基盤	中国語Ⅰ	1年	2
		人	言語文法論	2年	2	基盤	中国語Ⅱ	1年	2
		人	応用言語学入門	1年	1	基盤	朝鮮語Ⅰ	1年	2
		人	応用言語学概論	2年	2	基盤	朝鮮語Ⅱ	1年	2
		人	英語学概論	1年	2	基盤	スペイン語Ⅰ	1年	2
		人	認知心理論Ⅰ	2年	2	基盤	スペイン語Ⅱ	1年	2
		教	英語科教育法Ⅰ(注1)	1年	2	基盤	ドイツ語入門	1年	1
		教	英語科教育法Ⅱ(注1)	2年	2	基盤	フランス語入門	1年	1
		教	英語学概論A	1年	2	基盤	中国語入門	1年	1
		教	英語科内容研究(注1)	2年	2	基盤	朝鮮語入門	1年	1
		教	初等国語科内容研究(注1)	1年	1	基盤	スペイン語入門	1年	1
		教	初等国語科教育法(注1)	2年	2	基盤	学術日本語Ⅰ(注2)	1年	1
	教	中等国語科教育法Ⅲ(注1)	2年	2	基盤	学術日本語ⅡA(注2)	1年	1	
	教	国語学概論	1年	2	基盤	学術日本語ⅡB(注2)	1年	1	
	教	国語表現法	2年	2	基盤	学術日本語ⅡC(注2)	1年	1	
	教	人間教育の心理学(注1)	1年	2					
	領域2	人	日本文化再考	2年	2	教	異文化理解概論	2年	2
		人	異文化コミュニケーション論	2年	2	教	言語と文化の諸相	2年	2
人		国際開発学	2年	2	基盤	人間とコミュニケーション	1年	1	
人		国際協力論	2年	2	基盤	多文化共生	1年	1	
人		平和学	2年	2	基盤	グローバルスタディーズ	1年	1	
	人	比較文化論	2年	2					

◆必修科目…12単位履修

◆選択科目…領域1「言語、言語と心理、言語と教育」、領域2「言語と社会、社会・文化・地域」の各領域4単位以上を含み、14単位以上を3年次後学期開始前までに取得しておくこと。

注1:「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」、「初等国語科内容研究」、「初等国語科教育法」、「中等国語科教育法Ⅲ」、「英語科内容研究」、「人間教育の心理学」は、教育学部生向け教職科目。(他学部生受講不可)

注2:「学術日本語Ⅰ」「学術日本語ⅡA」「学術日本語ⅡB」「学術日本語ⅡC」は外国人留学生対象の科目。(日本人学生受講不可)

■平成30年度 日本語教育プログラム開講科目一覧表 平成30年度入学用

領域	基礎/専門	授業科目	授業題目	担当教員	所属学部	開講区分	単位	曜日・講時	対象等	
領域1	人・専	国語学概論		櫻井豪人	人文	後	2	金2	人文社会科学部1年次	
	人・専	社会言語学入門		杉本妙子	人文	3Q	1	金1	人文社会科学部1年次	
	人・専	言語学概論		西山國雄	人文	3Q	1	火3	人文社会科学部1年次	
	人・専	応用言語学入門		永井典子	人文	4Q	1	月5	人文社会科学部1年次	
	人・専	英語学概論		岡崎正男	人文	4Q	2	火4 & 金2	人文社会科学部1年次	
	教・専	英語科教育法 I		猪井新一 他	教育	後	2	木2	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	教・専	英語学概論A		安原正貴	教育	後	2	金5	教育学部1年次向け	
	教・専	初等国語科内容研究		川嶋秀之	教育	4Q	1	火3	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	教・専	初等国語科内容研究		宮崎尚子	教育	4Q	1	火3	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	教・専	初等国語科内容研究		川嶋秀之	教育	3Q	1	火3	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	教・専	初等国語科内容研究		増子和男	教育	3Q	1	火3	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	教・専	国語学概論		川嶋秀之	教育	前	2	月5	教育学部1年次向け	
	教・専	人間教育の心理学		丸山広人	教育	前・後	2	木1	教育学部1年次向け、他学部学生履修不可	
	リ・多・ヒ	思想・文学	変体仮名を読む		櫻井豪人	人文	3Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次
	リ・多・ヒ	思想・文学	茨城の方言と民俗		杉本妙子	人文	3Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次
	リ・多・ヒ	思想・文学	日本古典文学講読		堀口育男	人文	3Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次
	リ・多・ヒ	思想・文学	子どもと若者をめぐる文化		伊藤聡	人文	4Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次
	リ・多・ヒ	思想・文学	日本近代文学		宮崎尚子	教育	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次
	リ・多・異	ドイツ語 I					前	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	ドイツ語 II					後	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	フランス語 I					前	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	フランス語 II					後	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	中国語 I					前	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	中国語 II					後	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
	リ・多・異	朝鮮語 I					前	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次
リ・多・異	朝鮮語 II					後	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次	
リ・多・異	スペイン語 I					前	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次	
リ・多・異	スペイン語 II					後	2	月2 & 木4	人文社会科学部1年次	
リ・多・異	ドイツ語入門					後	1	木4	人社、教育学部1年次(人間文化を除く)	
リ・多・異	フランス語入門					後	1	木4	人社、教育学部1年次(人間文化を除く)	
リ・多・異	中国語入門					後	1	木4	人社、教育学部1年次(人間文化を除く)	
リ・多・異	朝鮮語入門					後	1	木4	人社、教育学部1年次(人間文化を除く)	
リ・多・異	スペイン語入門					後	1	木4	人社、教育学部1年次(人間文化を除く)	
リ・多・異	学術日本語 I	学術日本語 I (総合)		安龍洙	機構	前	1	月4	1年全学共通(外国人留学生)	
リ・多・異	学術日本語 I	学術日本語 I (応用)		青木香代子	機構	後	1	金5	1年全学共通(外国人留学生)	
リ・多・異	学術日本語 II A	学術日本語 II A(総合)		権賢貞	非	前	1	月4	1年全学共通(外国人留学生)	
リ・多・異	学術日本語 II A	学術日本語 II A(応用)		池田庸子	機構	後	1	金5	1年全学共通(外国人留学生)	
リ・多・異	学術日本語 II B	学術日本語 II B(アカデミック・ライティング)		権賢貞	非	前	1	月2	人社、教育、理学部1年次(外国人留学生)	
リ・多・異	学術日本語 II C	学術日本語 II C(口頭表現)		松田勇一	非	後	1	木4	人社、教育、理学部1年次(外国人留学生)	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	子ども理解と異文化コミュニケーション		新井英靖	教育	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	多文化コミュニケーション		横溝環	人文	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	人間科学への招待		伊藤哲司	人文	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	倫理学入門		田原彰太郎	人文	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	International Exchange		塚田純	機構	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	討議活動によるアクティブラーニングの実践		小川哲哉	教育	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	言語と科学		藤井文男	人文	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	人間とコミュニケーション	日本語の世界		川嶋秀之	教育	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	多文化共生	シルクロードの文化と歴史		澁谷浩一	人文	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	多文化共生	世界の中のヨーロッパ		森下嘉之	人文	3Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	多文化共生	多文化共生		青木香代子	機構	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次(外国人留学生優先)	
リ・多・異	多文化共生	異文化コミュニケーションとマネジメント		三輪徳子	人文	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	多文化共生	南アジアの言語と文化		山田桂子	人文	4Q	1	金4	人社、教育、理学部1年次	
リ・多・異	多文化共生	短期海外研修(韓国、スペイン、ブルネイ、シンフランシスコ、マレーシア、オーストラリア)		安、池田、瀬尾、青木、塚田	機構		各2	集中	1年全学共通	
リ・自・グ	グローバルスタディーズ	Diversity and Social Issues in Japan A		青木香代子	機構	3Q	1	月4	人社、教育、理学部1年次(外国人留学生優先)	
リ・自・グ	グローバルスタディーズ	観光地理学概論		小原規宏	人文	3Q	1	月4	人社、教育、理学部1年次	
リ・自・グ	グローバルスタディーズ	環境と経済のサステナビリティ：気候変動編		田村誠	ICAS	3Q	1	月4	人社、教育、理学部1年次	
リ・自・グ	グローバルスタディーズ	Diversity and Social Issues in Japan B		青木香代子	機構	4Q	1	月4	人社、教育、理学部1年次(外国人留学生優先)	
リ・自・グ	グローバルスタディーズ	環境と経済のサステナビリティ：エネルギー編		田村誠	ICAS	4Q	1	月4	人社、教育、理学部1年次	
必修	リ・多・ヒ	思想・文学	日本語を考える(日本語文法)	池田庸子・八若壽美子	機構	4Q	1	木3	人社、教育、理学部1年次	

※領域1:「言語、言語と心理、言語と教育」、領域2:「言語と社会、社会・文化・地域」

- ※ 人・専 人文社会科学部専門科目
- 教・専 教育学部専門科目
- リ・多・異 リベラルアーツ・多文化理解・異文化コミュニケーション
- リ・多・ヒ リベラルアーツ・多文化理解・ヒューマニティーズ
- リ・自・グ リベラルアーツ・自然と社会の広がり・グローバル化と人間社会
- 必修 日本語教育プログラム必修科目

2-3 COC 地域志向教育プログラム

(1) 地域志向教育プログラムについて

茨城大学では、文部科学省の平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）の採択を受け、地域を多角的に捉えながら地域課題と向き合い、学部 1 年次から大学院まで一貫して取り組める、学部横断型のアクティブ・ラーニングである「地域志向教育」を行います。

地域志向教育プログラムでは、地域志向科目や地域 PBL への取り組みから、地域に頼られ地域を先導できる学生を育成し、さらには地域の課題解決と活性化を行うことを目的としています。育成する具体的な人材像は、「地域志向で協創力ある学生」、「現場志向で課題解決力ある学生」、「未来志向でリーダー力ある学生」です。

参考：COC (Center of Community) 事業とは

大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

(2) 地域志向教育プログラムの修了証の要件

プログラムでは修了証を発行します。この修了証は、それを持った学生が地域に役立つ人材であることを、茨城大学が認定するものです。そのため、1) 要件の 8 単位以上の修得に加え、2) 地域 PBL 科目における報告書や、3) プログラム対象科目以外も含めた卒業年次前学期（夏季集中講義を含む）までの成績（*）も勘案して発行します。

卒業年次の後学期になりましたら、COC 統括機構で、申請書などの提出を受け付け、審査のうえ卒業時に発行します。

* ①プログラム対象科目以外も含めたすべての科目について、通算 GPA を用いた学部ごとの上位 75%以上が要件です。かつ②履修したすべてのプログラム対象科目について、通算 GPA を用いた学部ごとの上位 50%以上に該当する場合は、「優秀」を記載した修了証を出します。

なお、3 年次前学期（同上）までに修了要件の 8 単位以上を修得している 3 年次生には、「修了見込証明書」を発行することができます。これにより、当該教育プログラムを履修していることを就職活動等においてアピールすることができます。3 年次後学期になりましたら、COC 統括機構から手順などを連絡します。

(3) 地域志向教育プログラムの履修科目について

1) 基盤教育科目

1 年次に必修科目の「茨城学」2 単位を履修します。また、1 年次以降に（「茨城学」以外の）「地域志向科目」から 2 単位以上を履修できます。ただし、後者については、修了証の要件に算入できるのは 4 単位までです。

* 「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学生が卒業に単位修得が必要な必修科目です。

2) 全学共通科目・専門科目

1年次～4年次に科目が配置されています。

全学共通科目である「5学部混合地域PBL科目」あるいは学部の専門科目である「地域PBL科目」から2単位以上（2単位選択必修）を履修します。PBLには、問題解決を主目的として、学生の皆さんが主体となり実践するグループ学習（Problem-Based Learning）と、各チームが具体的な学修課題をたてて、プロジェクトを遂行しながら行う学習（Project-Based Learning）があり、本プログラムではいずれも地域課題等をテーマに行います。そして、これらに学部横断で取り組むのが「5学部混合地域PBL科目」であり、学部の専門性をより用いて取り組むのが学部の「地域PBL科目」です。シラバスをよく読んで履修してください。

また、学部の専門科目である「地域志向科目」から2単位以上を履修できます。

地域志向教育プログラムの科目区分

科目の区分	科目名・授業題目名	必修・選択必修・選択	履修年次 **	備考	
全学教育 機構	基盤教育科目	「茨城学」*	2単位必修	1年次	
		地域志向科目	選択	1～4年次	修了要件に算入できるのは4単位まで
	全学共通科目	5学部混合地域PBL科目	2単位選択必修	1～4年次	「自由履修」の科目
学部	専門科目	地域PBL科目		2～4年次	工学部は3年次から開始
		地域志向科目	選択	2～4年次	
修了要件単位数		合計8単位以上			

* 「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学部学生が卒業に単位修得が必要な必修科目です。

** 修了証の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（夏季集中講義を含む）までです。

地域志向教育プログラムのカリキュラムマップ

(Q: クォーター)

1年次	前学期	1Q 2Q 3Q	茨城学			5学部混合地域PBL	
	後学期	4Q					
2年次	前学期	1Q 2Q 3Q	「茨城学」以外の 基盤教育科目の地 域志向科目	学部の地域志向科目	5学部混合地域PBL		学部の地域PBL*
	後学期	4Q					
3年次	前学期	1Q 2Q 3Q					
	後学期	4Q					
4年次	前学期	1Q 2Q 3Q					
	後学期	4Q					

* 工学部の地域PBLは3年次から開始。

** 3年次前学期（夏季集中講義を含む）までに修了要件の8単位以上を修得している3年次生には、「修了見込証明書」を発行することができます。

*** 「修了証」の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（同上）までの成績です。

(4) 基盤教育科目・全学共通科目における「地域志向科目」一覧

平成30年度に基盤教育科目・全学共通科目において開講される「地域志向科目」は下表のとおりです。

「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学生が卒業のために単位修得が必要な必修科目です。基盤教育科目において、「茨城学」を除く「地域志向科目」で修了要件に算入できるのは4単位までです。開講授業科目一覧(p.75～)では、「ナンバリングコード」に、「地域志向科目」に該当する授業には「COC」のコードが付されています。

基盤教育科目

科目区分	授業科目区分	授業題目	単位数	対象年次
茨城学	茨城学		2	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	多文化共生	1	1
ヒューマニティーズ	思想・文学	茨城の方言と民俗	1	1
パフォーマンス&アート	ダンス・演劇文化	水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	サステイナビリティ学入門	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	霞ヶ浦と流域活動	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	霞ヶ浦の自然	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	自然災害と地域防災	1	1
自然・環境と人間	技術と社会	茨城の産業・技術と社会(地域産業・技術編)	1	1
自然・環境と人間	技術と社会	茨城の産業・技術と社会(河川航路・鉄道編)	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	大学生と消費生活	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	ボランティア活動	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	現代社会論A	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	都市の歴史的景観	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	地域社会学概論 基礎編	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	地域社会学概論 応用篇	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～	1	1
グローバル化と人間社会	法律・政治	生き残るための政治学	1	1

全学共通科目

科目名	学期	単位数	対象年次	備考
5 学部混合地域 PBL I	前学期(集中講義)	2	1	自由履修
5 学部混合地域 PBL II	前学期(集中講義)	2	2	自由履修
5 学部混合地域 PBL III	前学期(集中講義)	2	1	自由履修
5 学部混合地域 PBL IV	前学期(集中講義)	2	1	自由履修 使用言語は英語

2-4 地域協創人材教育プログラム

(1) 地域協創人材教育プログラムにおける地域協創人材の認定について

地域協創人材教育プログラムとは、茨城大学をはじめとして、茨城キリスト教大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学が協働して行う人材教育プログラムです。このプログラムは、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC プラス事業)」として採択されました。

茨城大学では、地域協創人材教育プログラムの中で、COC 地域志向教育プログラムの修了に加えて、「就業支援科目」並びに「インターンシップ科目」を修得し、「地域理解力」、「地域の課題発見・解決能力」及び「実践に即したプロジェクト企画能力」を有する学生を育成します。

これらの能力を有する学生を、茨城県という地域を理解し、そこでの課題を発見し、解決するための方法を企画することのできる人材とみなし、「地域協創人材」として認定します。

参考：「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC プラス事業)」とは

「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地(知)の拠点整備事業(COC 事業)」を発展させ、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とする事業です。

(2) 「地域協創人材」認定の要件

認定は、地域志向教育プログラムを修了していること、及び下記の「地域協創人材認定のための対象科目(2単位以上)」を修得していることが要件となります。この要件を満たした者を「地域協創人材」として認定し、卒業時に認定証を交付します。

なお、3年次後学期までに認定要件の10単位以上を修得している4年次生には、「認定見込証明書」を発行することができます。これにより地域協創人材に認定見込みであることを就職活動等においてアピールすることができます。3年次後学期になりましたら、手順などを連絡します。

「地域協創人材」認定のための対象科目

科目の区分	科目	必修	履修年次 (Q:クォーター)	備考
基盤教育科目	ライフデザイン	1単位	3年次 1Q 又は 2Q	
専門科目	インターンシップ科目	1単位以上	学部が定める履修年次による	茨城県内の企業等が対象
認定要件：COC 地域志向教育プログラム 8 単位に上記 2 単位を加えた 10 単位以上				

(3) 「地域協創人材」認定のための履修科目について

1) 地域志向教育プログラムの対象科目

対象とされている基盤教育科目（修了要件に算入できるのは4単位まで ※）と専門科目から合計8単位以上履修します。

※ 基盤教育科目からは、「茨城学」及びリベラルアーツ科目のうち全学教育機構が「地域志向科目」として位置づける授業（年度によって変わります）を履修。

2) 就業支援科目

「就業支援科目」として「ライフデザイン」（1単位必修）を3年次の第1クォーターまたは第2クォーターに指定のクラスで履修します。

このほか、リベラルアーツ科目の「公共社会」において開講される授業「仕事を考える」を推奨科目として指定します（認定要件には入りません）。履修対象は、1年次は工学部及び農学部学生、2年次は人文社会科学部、教育学部及び理学部学生です。「仕事を考える」は、インターンシップや就職にあたり、働くことの意味や実態を予め知ることに役立つ授業ですので、できるだけ履修してください。

3) インターンシップ科目

各学部が開講するインターンシップ科目を1単位以上履修してください。「インターンシップ科目」の履修年次は各学部の履修要項等を参考にしてください。

地域協創人材教育プログラムのカリキュラムマップ

1年次	1Q、2Q	COC 地域志向教育プログラムの対象科目 (1~4年次)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> (就業支援科) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(1年TA) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(2年LPS) </div>												
	3Q、4Q																
2年次	1Q、2Q					COC 地域志向教育プログラムの対象科目 (1~4年次)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> (就業支援科) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(1年TA) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(2年LPS) </div>								
	3Q、4Q																
3年次	1Q、2Q									COC 地域志向教育プログラムの対象科目 (1~4年次)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> (就業支援科) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(1年TA) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(2年LPS) </div>				
	3Q、4Q																
4年次	1Q、2Q													COC 地域志向教育プログラムの対象科目 (1~4年次)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> (就業支援科) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(1年TA) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推奨科目「仕事を考える」(2年LPS) </div>
	3Q、4Q																

2-5 AIMS プログラム

(1) AIMS プログラムについて

AIMS (ASEAN International Mobility for Students) プログラムとは、マレーシア・インドネシア・タイの各国政府共同による学生交流支援事業 (2010 年開始) が起源となる、アジア発の国際共同教育プログラムです。

アジアが「環境と調和した多文化共生社会の持続的発展」の道をたどるのかどうかは、世界の未来を左右する影響があり、その実現に貢献することは、私たちにとって重要な課題です。本プログラムでは、「アジアの持続可能な成長に貢献する地域リーダーの育成」を目標として、ASEAN 地域の提携校に 1 学期留学します。さまざまな産業を取り巻く環境と地域社会の抱える問題に直接触れることで、持続可能な社会を実現するための自立的な問題解決能力を有するグローバル人材へと成長していきましょう！

【注意】以下の説明は、平成 30 年度の 3 年次を対象としたものです。今後変更になる可能性があるため、皆さんを対象に開催される説明会に参加して、最新の情報を入手してください。また、このプログラムの詳細を知りたい学生は、共通教育センター又は各学部にお問い合わせください。

(2) 対象学部・対象年次

人文学部、理学部、及び農学部学生の 3 年次生 (以上) が対象となります。

(3) 留学先・募集人数・応募資格等

1) 留学先

○インドネシア共和国

- ・ボゴール農科大学 (IPB) 農学部／農業工学部食料科学技術学科 (農学・食品科学系)
- ・ガジャ・マダ大学 (UGM) 農学部 (農学系)
- ・スリウィジャヤ大学 (UnSri) 農学部 (農学系)

○タイ王国

- ・カセサート大学 (KU) 農学部熱帯農学国際プログラム等 (農学・理学系)
- ・チェンマイ大学 (CMU) 国際カレッジ (理工学・人文社会科学系)

○ブルネイ・ダルサラーム国

- ・ブルネイ・ダルサラーム大学 (UBD) 理学部等 (理工学・人文社会科学系)

2) 開講科目

各大学で開講される科目一覧については、派遣前年度の後期に通知される AIMS プログラム派遣学生募集要項を参照してください。

3) 募集人数

6 大学合計で 14 名程度 (希望状況を考慮して各大学への派遣人数を調整します)

4) 応募資格

学修意欲及び目的意識をしっかりと持ち、積極的に学業に臨み、留学先の学生や教職員等とも積極的にコミュニケーションをとることができる者で、下記要件を満たしている者。また、TOEIC、TOEFL- ITP または TOEFL- iBT を受験している者。

(参考：平成 29 年度の各学部の応募資格)

- ・農学部生：3 年終了時に総単位数が、生物生産科学科の学生は 93 単位以上 (推奨)、資源生物科学科の学生は 100 単位以上 (内必修科目 45 単位以上)、地域環境科学科の学生は 96 単位以上修

得見込である者。

- ・理学部生：4年次前学期までに通年・後学期開講科目を除き、卒業に必要な単位がすべて修得見込みである者。
- ・人文学部生：TOEFL- ITP 550点またはTOEFL- iBT80点以上を取得している者。

4) 選考基準

- ・書類審査：志望理由、英語力、学業成績を総合して判断します。
 - ・面接：派遣学生に相応しい人物であるかを判断します。
- ※ 募集人数に満たない場合でも、選考基準により採用されない場合があります。

(4) 費用

- ・原則として渡航費用は自己負担となります（10～25万円程度）。渡航日程の調整や航空券の手配は大学がサポートします。
- ・派遣先大学での授業料は徴収しません。
- ・生活費用（食費、宿舎等）は自己負担となります（月3～6万円程度）。
- ・留学前に予防接種や査証取得にかかる費用が必要となります（2～4万円程度）。
- ・海外留学保険（学研災付帯海外留学保険）に加入して頂きます（5万円程度）。

(5) 奨学金

- ・（独）日本学生支援機構の海外留学支援制度（短期派遣・5か月×7万円）に応募することができます（学業成績および所得の基準あり）。
- ・応募者数が奨学金の割り当て人数を超える場合は、学業成績（GPA）によって受給者を決定します。
- ・その他の助成金（海外旅費支援金等）の利用可否については、別途通知します。
- ・奨学金を得られない場合に AIMS プログラムへの参加を取りやめる場合は、AIMS プログラム履修願に明記をお願いします。
- ・奨学金の初回振り込みは、渡航後に在籍確認をおこなってからとなります。

(6) 修了要件

- ・派遣先大学では、およそ9～15単位分の科目を履修します。ただし、推奨される単位数が個別に定められていたり、履修科目が指定されていたりする場合があります。
- ・修了要件を満たした学生には、東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター（SEAMEO-RIHED）で定めた「AIMS プログラム修了証」が各大学から与えられます。ただし、大学独自の修了証が発行される場合もあります。

(7) 単位認定

- ・留学先で修得した単位は、申請により所属学部の審議を経たうえ、茨城大学における修得単位として認められます。
- ※ 派遣中に履修科目情報を提供するほか、帰国後すぐに「単位認定願」を提出する必要があります。
- ・認定された科目の成績は GPA には算入されません。

(8) 事前・事後教育

- ・東京農工大学・茨城大学・首都大学東京が事前共通教育を提供する場合は、可能な限り参加し

てください。

- ・ 帰国後、留学の効果測定にご協力いただく場合があります（学内で実施する TOEIC または TOEFL の受験等）。
- ・ 派遣学生は本学における広報活動（学内説明会及びオープンキャンパス等）において積極的に参加していただきます。

(9) 注意事項

- ・ 派遣先大学で履修する講義はすべて英語で行われます。
- ・ 派遣先大学の事情により、予定通り授業が開講されない場合があります。
- ・ 留学期間中は、休学とはなりません。
- ・ このほか、学部毎に様々な注意事項があります。詳細は、共通教育センター又は各学部にお問い合わせください。

次ページに、参考に海外協定校から受け入れる AIMS プログラム留学生向けに本学で開講している全学共通科目一覧を掲載しています。AIMS プログラムに興味がある学生や、留学生とともに英語による授業を履修したい学生も履修することができますが、自由履修となるので注意してください。

全学共通科目

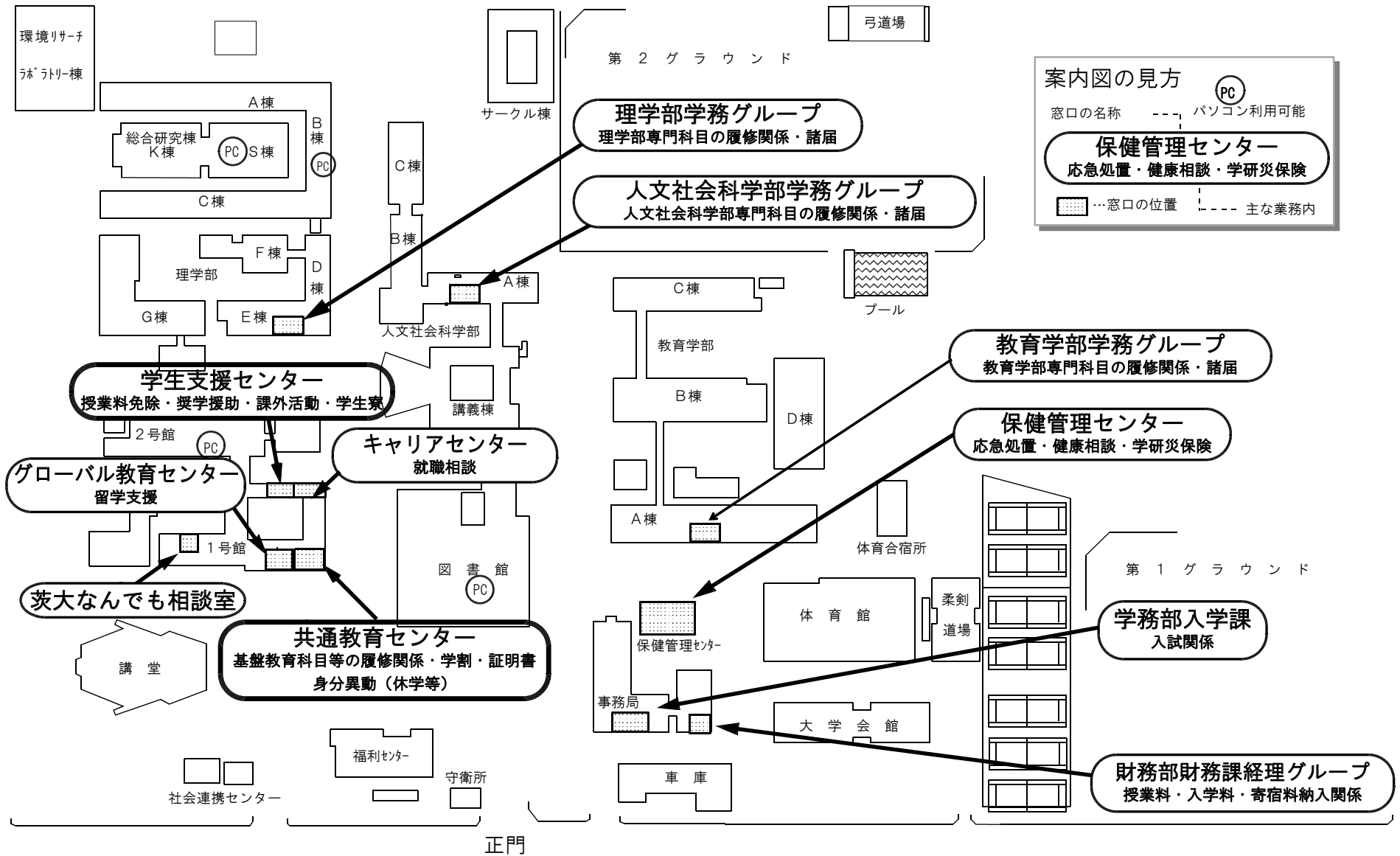
授業科目	区分	単位数
地域サステイナビリティ学概論	講義	1
環境共生論	講義	2
環境保全型農業論	講義	2
フィールド実践演習	演習	1
環境変動適応・防災論	講義	2
地域環境管理論	講義	2
地域サステイナビリティ学特別講義Ⅰ	講義	1
地域サステイナビリティ学特別講義Ⅱ	講義	1
地域サステイナビリティ学ゼミナール	演習	1
地域サステイナビリティ学ラボワーク	実験・実習	2

第 V 部

付 録

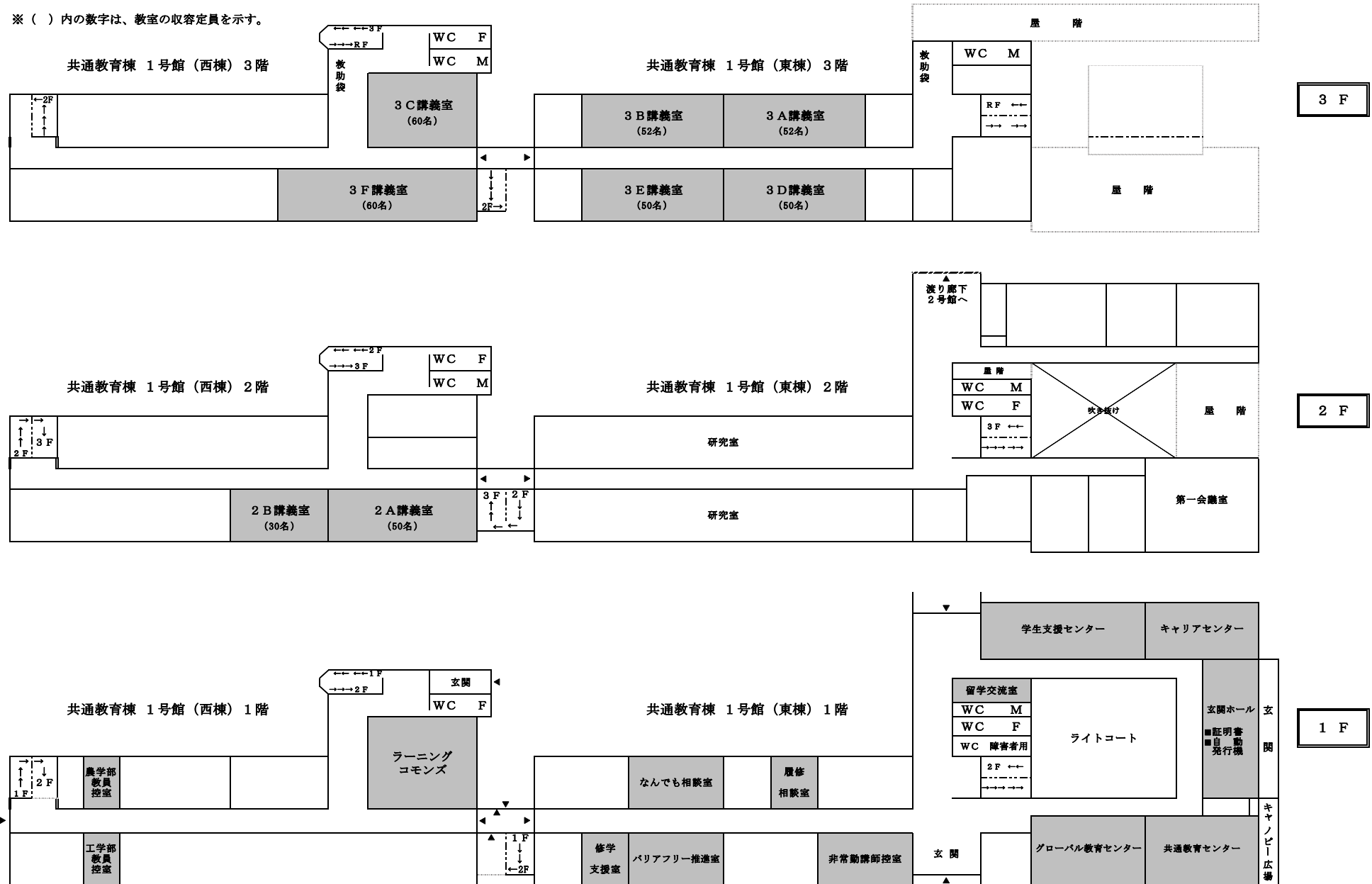
施設配置図

(1) 茨城大学（水戸地区）学生窓口案内図



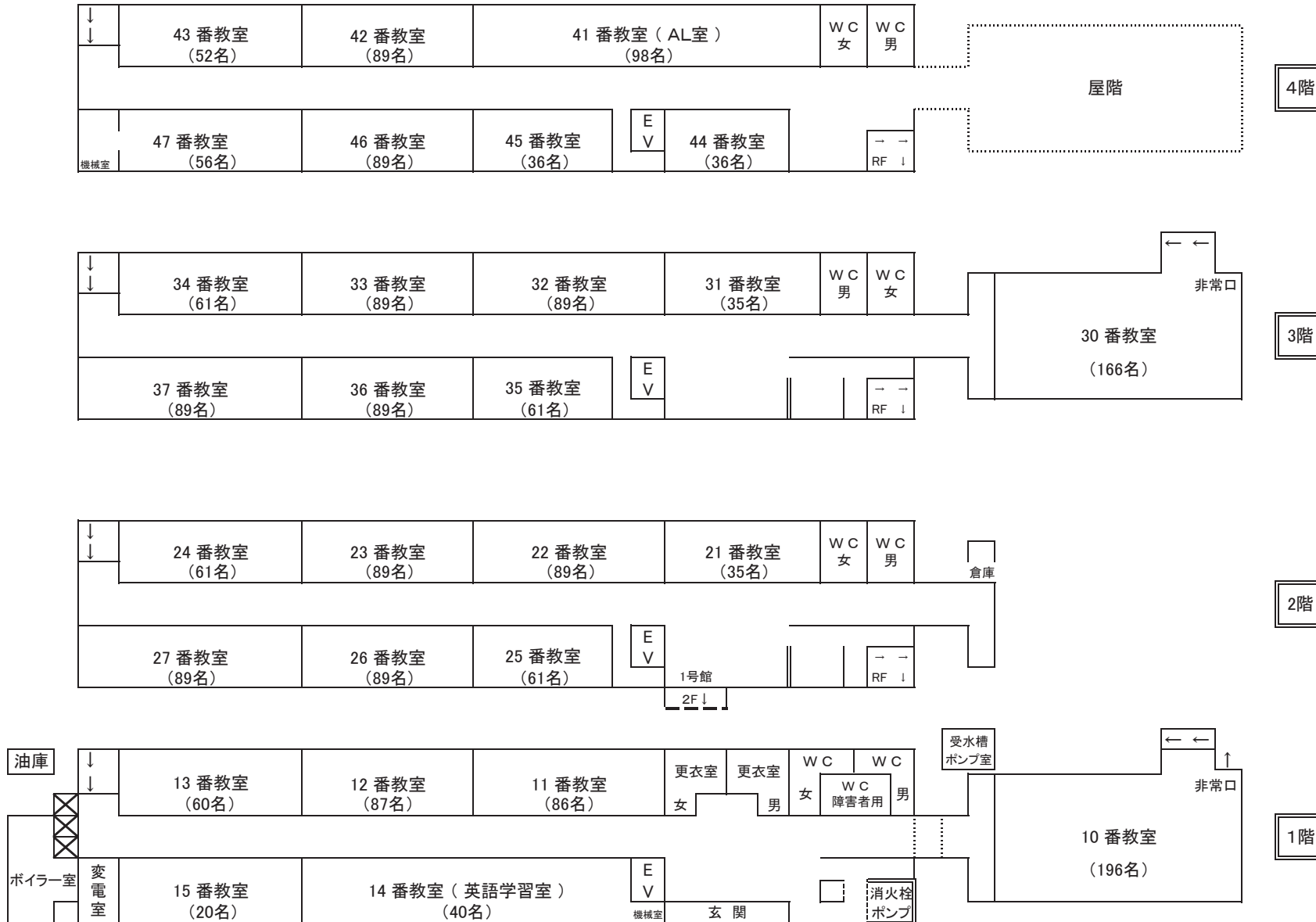
(2) 共通教育棟 1号館配置図

※ () 内の数字は、教室の収容定員を示す。

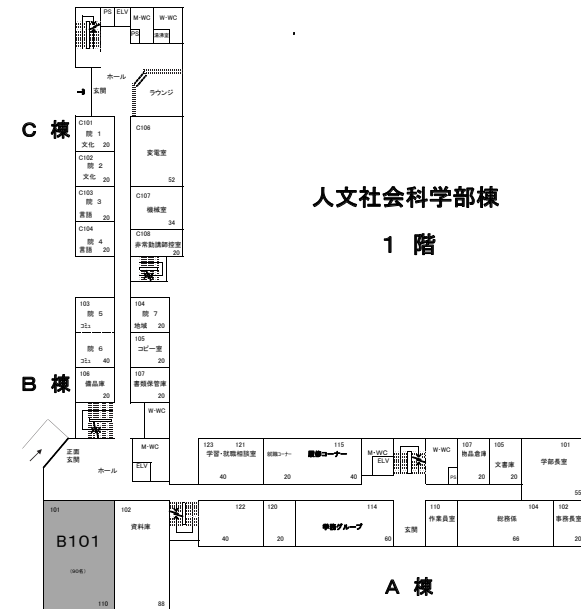
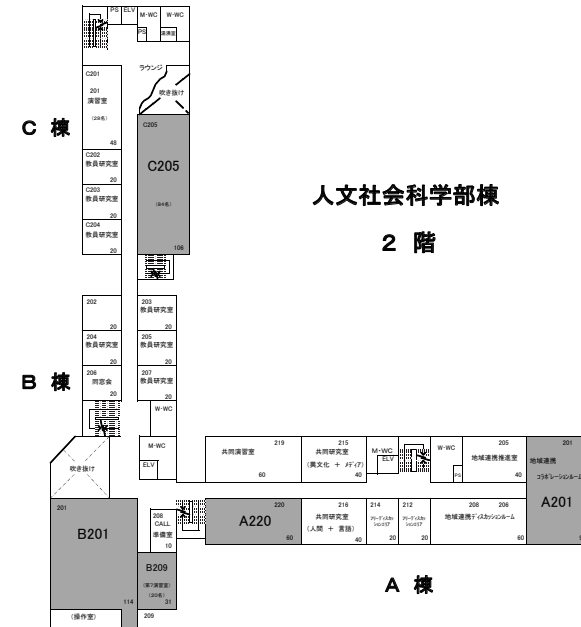
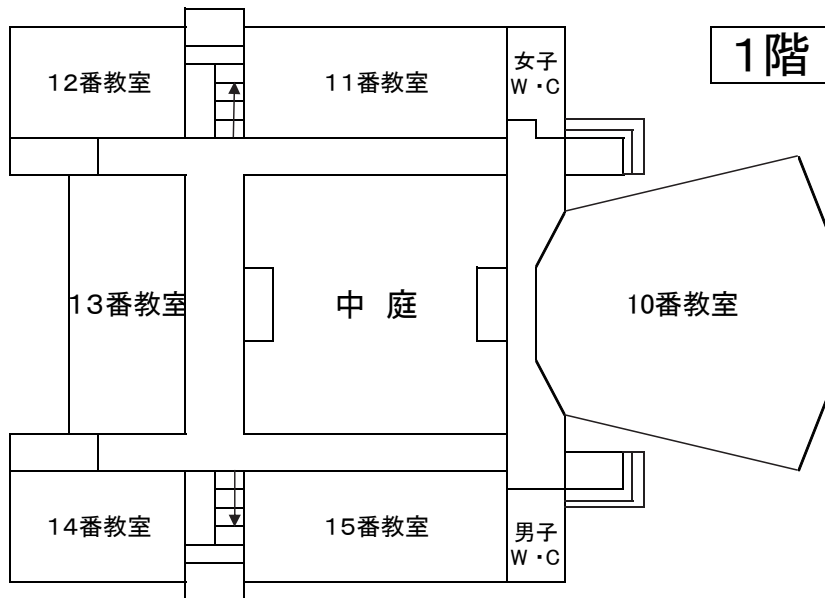
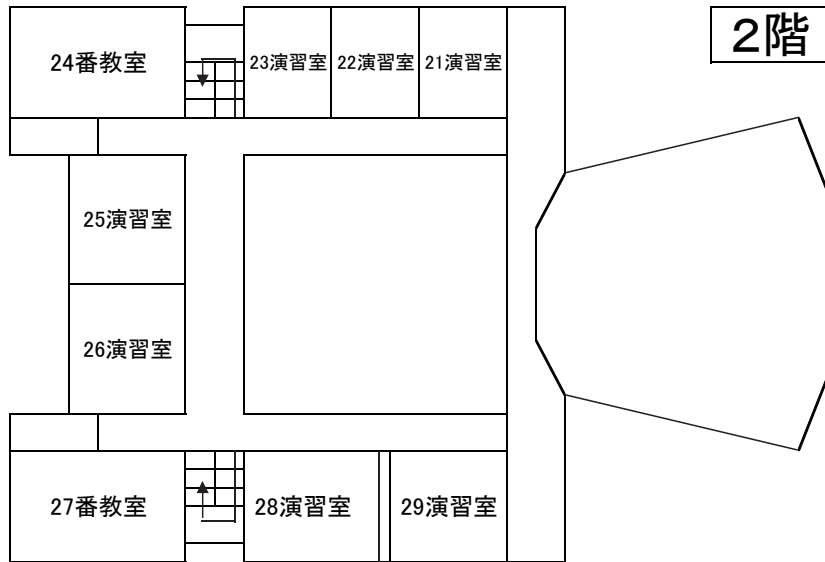


共通教育棟 2号館配置図

※ () 内の数字は、教室の収容定員を示す。



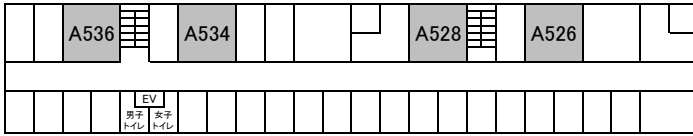
(3) 人文社会科学部配置図



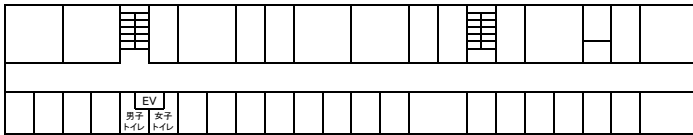
(4) 教育学部配置図

A棟配置図

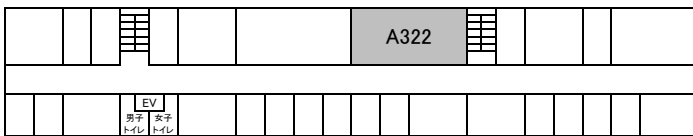
5階



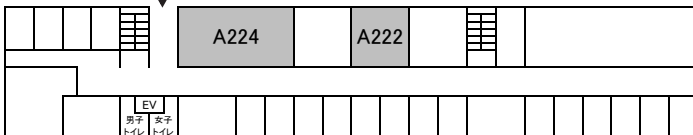
4階



3階



2階

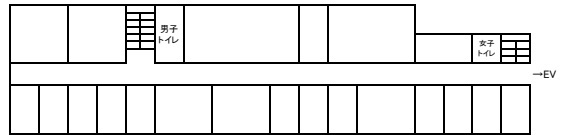


1階

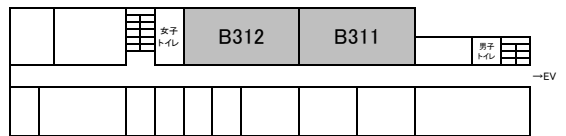


B棟配置図

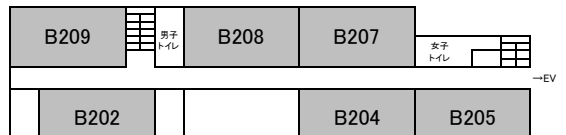
4階



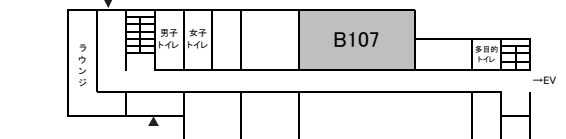
3階



2階

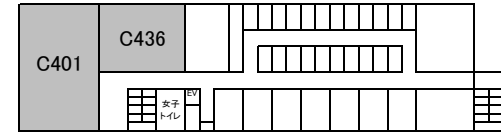


1階

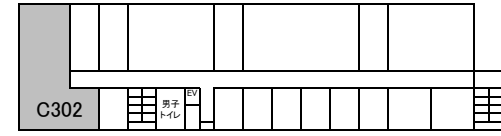


C棟配置図

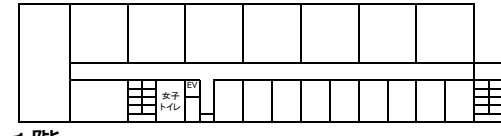
4階



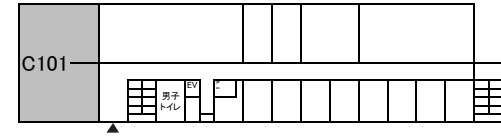
3階



2階

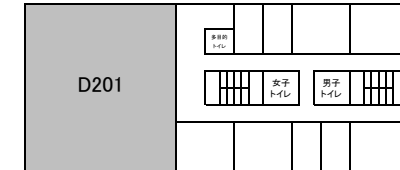


1階

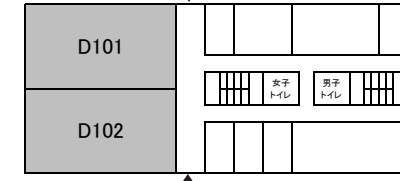


D棟配置図

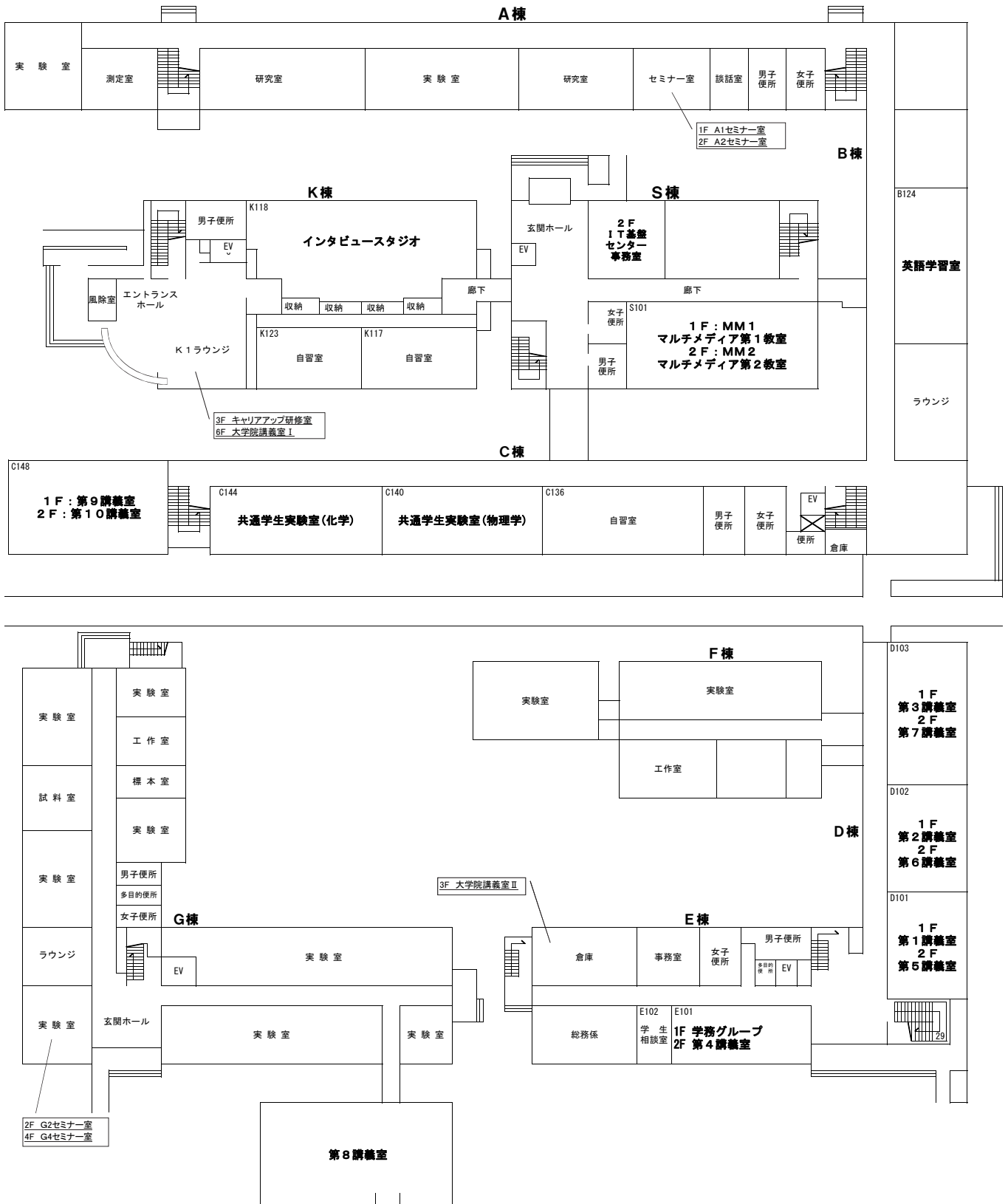
2階



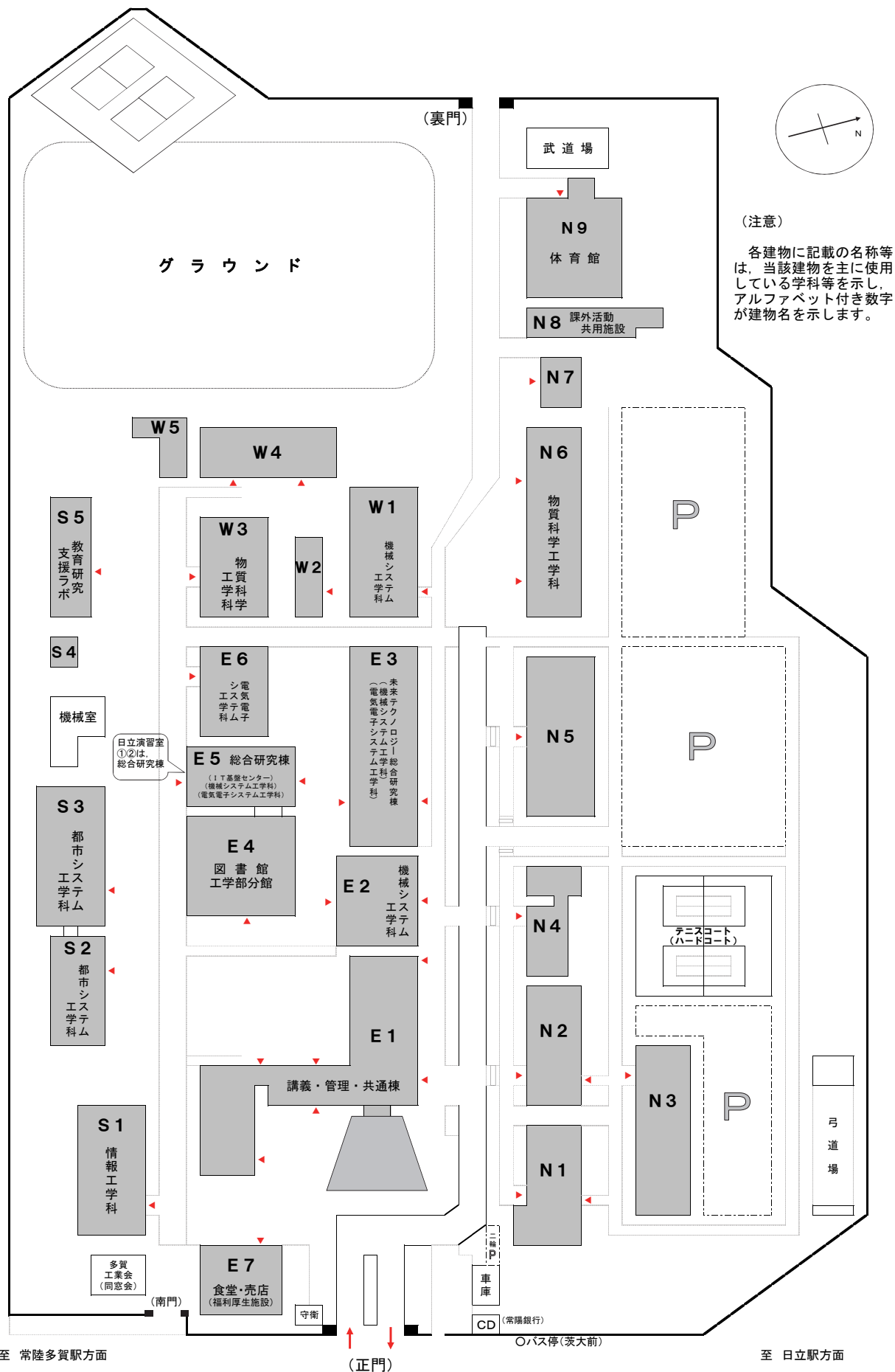
1階



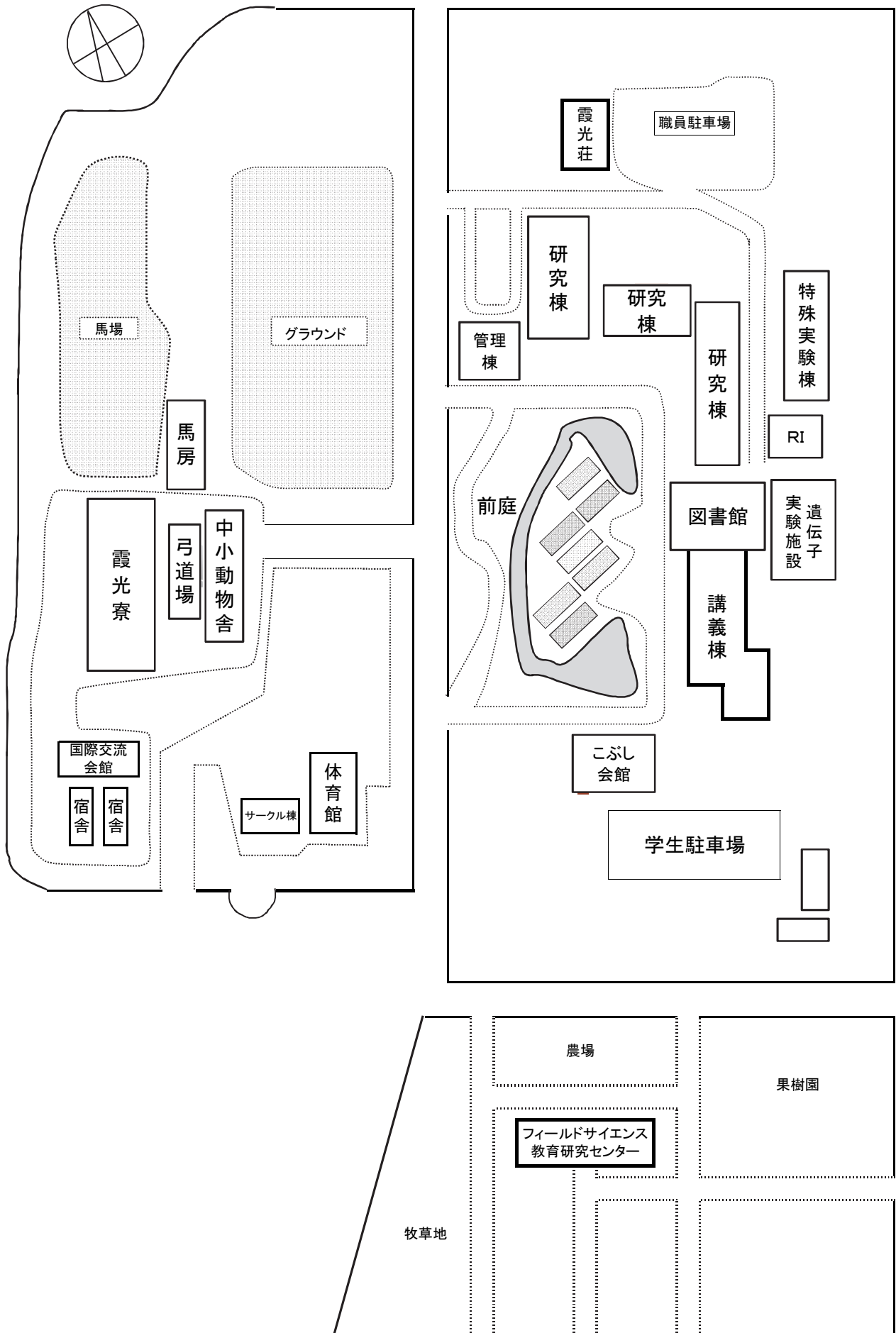
(5) 理学部配置図



(6) 日立地区 (工学部) 配置図



(7) 阿見地区 (農学部) 配置図



初修外国語の紹介

初修外国語の紹介

はじめに

いよいよ大学生活が始まります。いろいろな期待で胸をふくらませていることでしょう。例えば「新しい外国語を学んでみたい」とか。茨城大学は皆さんのそんな期待に応えるため、初歩からの**ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語**の授業を開講しています。

さてそれでは、どの外国語を学んだらよいのでしょうか？

自分が興味を持つ学問分野に関連して、もう既に決めてあるのであれば結構です。でも、まだ決めていない人がほとんどだと思います。そこで、次のページ以降、**それぞれの言語についての紹介文**をのせました。履修する外国語がまだ決まっていないあなた、そして「決めつつも」のあなたも念のため、どうぞこれらの紹介文を読み、考え、そして選択してください。

では、楽しく外国語を学びましょう！

(注意) 教科書や辞書は返品できませんので、「クラス分け掲示」で自分の学生番号を確認し、第1回目の授業に出席し、担当教員の説明を聞き、分からないことを質問して疑問を解消してから、教科書売り場で購入するようにしてください。

ドイツ語を学ぼう！

(1) 英語に近い

ドイツ語はゲルマン語派のなかの1つです。ゲルマン語派は北ゲルマン語と西ゲルマン語に分かれています。北ゲルマン語はアイスランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、デンマーク語に分かれますが、西ゲルマン語は英語、オランダ語、ドイツ語から成っています。つまりドイツ語と英語は、家族にたとえれば姉妹や兄弟の関係にあります。ちなみにフランス語とスペイン語はイタリック語派に属していますから、ドイツ語や英語から見ると、いとこ同士にあたります。

(2) むずかしい？

なにごととも最初はむずかしいものです。これはドイツでもことわざになっていて、アラー・アンファング・イスト・シュヴェア (Aller Anfang ist schwer.) と言います。aller は英語の all、ist は英語の be動詞とおなじです。Anfang が「最初」、「初め」という意味ですが、ドイツ語では普通名詞でも頭文字を大文字で書きます。schwer は形容詞で「むずかしい」。でも schwer には「重い」、「大切な」という意味もありますから、なにごととも最初が肝心で、むずかしい。これはなにもドイツ語に限ったことではありません。

島国イギリスで使われている英語とちがひ、ヨーロッパ大陸の言語は、人称変化や名詞の性別など、複雑な仕組みをよく保存しています。ドイツ語も例外ではなく、「わたしは飲む」イッヒ・トリンケ (ich trinke)、「彼女は飲む」ズィー・トリンクト (sie trinkt) のように、主語の人称に応じて動詞の語尾が変わります。名詞の性別もあらかじめ決まっています。「太陽」ゾンネ (Sonne) は女性名詞、「月」モント (Mond) は男性名詞、「少女」メートヒェン (Mädchen) は中性名詞です。

4月あるいは9月からはじまる1年次生向けの授業は、ドイツ語についてなにも知らないことを前提にしてスタートしますから、まったく心配はいりません。英語と比べると文法上の決まりが多いので、複雑な言語であるかのような印象を受けますが、基礎をしっかりと学べば、あとは順調についていくことができます。発音はおおむねローマ字式なので、日本人にとってありがたい側面もあります。むしろドイツ人に言わせれば、文字が50もある日本語のほうがずっとむずかしいのだそうです。やっと思えたかと思うとカタカナもあるし、漢字にいたってはいくら覚えてもきりがありませんよね。

(3) ことばを学ぶことの意義

ことばは、人の心のとびらを開く大切な鍵です。ドイツ語を学ぶことによって始めて、ドイツ人の心や文化に、じかに触れることができるようになります。和歌や俳句を味わうには日本語の知識が必要であるのおなじように、音楽、美術、映画、スポーツ、演劇、思想、文芸、歴史、科学などドイツの文化や社会を深く知るためには、ドイツ語の初級程度の知識は最低限必要不可欠なものです。

そして、これはドイツ語に限りませんが、外国語を学ぶことにはもうひとつ、わたしたちの日本語を見つめ直すという大切な意義があります。ドイツの詩人ゲーテのことばを引いておきましょう。「複数の外国語を知らない人は、自国語についてなにも知らない。」(Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiß nichts von seiner eigenen.)

フランス語を学ぼう！

(1) フランスは、どんな国？

ヨーロッパの地図を思い出して下さい。フランスはヨーロッパの主要4カ国（イギリス、スペイン、イタリア、ドイツ）に取り巻かれ、「ヨーロッパの十字路」に位置します。政治や経済のみならず、首都パリは芸術の都でもあり、美術や映画、ファッションや音楽など、世界中の注目を集めています。

また、フランスは名だたる観光国です。ルーヴルを始め、パリには美術館がたくさんありますし、街並みも美しく、世界中から観光客がやって来ます。また、世界遺産モン・サン・ミッシェルも有名で、パリ以外にも見どころがたくさんあります。あなたもフランス語を少し話せるようになって、フランスを旅行してみたいはいかが？

(2) スイス連邦とカメルーン共和国の共通点は？

「2014年のサッカー・ワールドカップ・ブラジル大会に出場した国である。」はい、正解です。でも、他にも共通することがあります。どちらの国もフランス語を公用語としている点です。

フランス語を話す人々は世界にほぼ3億人。フランス以外のヨーロッパの国々や、カナダ、アフリカ、中近東の国々でもフランス語が通じます。そんなあちこちから人が移り住み、フランスは人種のるつぼとなっています。ユダヤ系、スラヴ系、アフリカ系、そして東南アジアや中国系の人々がいて、とてもバラエティーに富んだ国なのです。なにしろモロッコ生まれの小説家ターハル・ベン・ジェルーンがフランス語で小説を書いて賞をもらい、フランス文化使節団の一員に任命されたくらいですから、「フランス人」といっても実に様々で、まさに十人十色だと言えるでしょう。

(3) フランス語は、なんか難しそうだけど・・・

さて、そんな多様なフランス人の共通語である「フランス語」を勉強し始めたあなたが、最小の努力で最大の効果を上げるためには、まず、動詞に注目して下さい。「行く」とか「持つ」とか電車に「乗る」とか、動詞が上達のポイントです。

私は／きみは／彼・彼女は／私たちは／きみたちは／彼ら・彼女らは。一人称と二人称と三人称、単数と複数で計6種類の主語があり、それに応じて動詞の形が決まります。それぞれ語尾が変わるので見た目は難しそうですが、しかし実はこれには「法則」があり、それさえ分かればあとは簡単です。動詞は文の幹なので、先ず動詞を押さえ、そこから少しずつ枝葉を伸ばして行ってください。

発音にもパターンがあります。英語のように「同じ read でも読み方が違う」などということはフランス語にはありません。この綴りならこう読む、と決まっていますから、そのルールさえ覚えれば自動的に読めるようになるのです。やったね！

(4) 学び始めて、その先は？

あなたが入学してからしばらくすると、大学構内の掲示板で「実用フランス語技能検定試験」のポスターを目にすることでしょう。略称「仏検」と呼ばれるこの検定試験の第一段階「仏検5級」は、茨城大学の「フランス語Ⅰ」にほぼ相当しますので、1年次の前学期に週2回の授業を修得すれば、仏検5級をクリアできるでしょう。続けて後学期の「Ⅱ」が、4級です。その次の3級となるとちょっと難しくなりますが、毎年何人もチャレンジしています。試験会場はいずれの級も水戸市内なので、気軽に受けられますよ。

パティシエールと聞いて「ああ、エールだから女性ね」なんて分かったり、CMのセリフの一言が聞き取れれば、コミュニケーションの世界が広がり、心がはずみます。さあ、あなたもフランス語を学んでみませんか！

中国語を学ぼう！

新入生の皆さん、入学おめでとう！

初修外国語を選択する際、色々迷ったりしてはいませんか。躊躇なく中国語を選ぼう、と強く推薦します。理由は次の二点です。

まず中国語は他の言語と比べ、使えるようになりやすいからです。基盤教育科目とはいえ、最初に履修するなら中国人と話せるようになります。中国語の新聞・文章等も読めるようになります。中国人および中国社会におけるコミュニケーションの道具として使えるようになるのです。卒業すると同時に、習ったことをきれいに忘れてしまうようなことは、まずありません。それは中国語が同じ漢字文化圏の日本人にとって身に付けやすいからです。中国語は漢字で書くので、発音が分からなくても大体の意味はつかめます。発音を覚え、基本的な文法を理解したら、すぐに簡単な会話ができるようになります。とはいえ一つの民族言語としてそれなりの構造と理論もあり、漢字の発音も日本語とは違います。

中国の文字は漢字しかありません。しかし発音を表すものとしてピンインがあります。このピンインを通して中国語の発音を学びますが、日本の音読とは違うところがあるので、徐々に慣れることが必要です。たとえば、電話の中国発音はピンインで **Dianhua** (ディエンフア)、新幹線は **Xingnaxian** (シンカンシエン) といいます。また中国語を話す際、「声調」という音の高低のパターンを間違えずに発音することが非常に大切です。

ちょっと困るのは中国の略字です。昔は日本と同様に旧漢字でしたが、1955年の文字改革でたくさんの略字(簡体字)が作られたからです。たとえば「習」は「习」、「話」は「话」と書きます。でも字形が似ているので、簡単に慣れることができます。このような内容をマスターすると、もう中国語の学習はかなり楽です。基盤教育科目の履修時間からすれば、この程度の理解は大きな問題でもありません。

推薦するもう一つの理由は、何よりも中国語の実用性です。世界総人口の約四分の一を占めているのは中国人です。日本経済の最大パートナーも中国です。日本に来ている外国人で最も多いのも中国人です。中国語ができるようになれば、皆さんの今後の社会生活や就職などに大いに役に立つに違いありません。これまで中国語を履修した皆さんの先輩たちの就職を見ても、この点は十分に分かるでしょう。

本学では中国語が十分身に付くようにするため、ネイティブおよび日本人の先生方がいます。どのクラスに割り振られても同じ内容の授業を受けられるように、統一教材を使用して行われます。

中国語を学びましょう、そして来たる **2022** 年冬季オリンピックが開催される北京に行きましょう。

朝鮮語/韓国語/ハングルを学ぼう！

茨城大学では、朝鮮語とっていますが、韓国語とも、またハングルともいいます。あの、○やーや|を組み合わせたような文字をどこかで見たことがあるかと思います。ちょっと見るとむずかしく見えるのですが、心配いりません。最初の授業で、それが子音と母音の組み合わせからなるローマ字のような表音文字であることがすぐ理解できます。文字の謎が分かってしまえば、学習は半分終わったようなものです。なぜかという、語順は日本語とほぼ同じですし、文法構造は驚くほど日本語とよく似ていますので、日本語を話している人にとっては、じつに学びやすい言語といえます。

しかも 2002 年サッカー・ワールドカップ日韓共催以降の韓流ブームもあり、この言語を使う人々やその社会・歴史・文化などに触れる機会も多くなってきていますし、歌や映画やテレビドラマなどが日本でもかなり紹介されています。このように、学ぶにはとてもよい環境になっているのではないのでしょうか。さらにインターネットを使えば韓国の歌や映画などの情報も簡単に手に入れることができます。最初は日本語で、そのうち韓国語で検索することも可能になります。授業だけが学習の場ではありません。

実際、最近はいろいろな機会に「アンニョンハセヨ」とのあいさつを聞くことが多いかと思います。これは、「お元気ですか」という意味ですので、朝昼晩一日中いつでも使える便利な出会いのあいさつ言葉です。カタカナをそのまま読めばそれで通じてしまいます。最初は、文字を気にせずに、とにかくカタカナの音で十分です。まずはとにかくしゃべって、この言語を使う人々と交流することが重要です。文字はその後で必要にせまられて真剣に学ぶようになるはずです。また、食文化でも「キムチ」、「カルビ」などはかなり原音に近いですから、知っている単語や人名などがどのように文字で表記されるのかを確認することもおもしろい体験です。

なおこの言語を使う人々が住む地域と日本列島はずっと昔から交流があり、それは現在もさまざまなレベルで交流が続いていますし、韓国旅行は人気です。実際、韓国旅行は格安でもあるので、休暇を利用して授業で学んだ成果を試してみたいかでしょうか。韓国料理を自分で注文したり、同世代の友人を作ったり、映画やドラマのロケ地を自分たちだけで見学したりなど、ツアー旅行では味わえない体験も可能です。また茨城大学は、現在韓国の忠北大学・仁済大学・国民大学と交流協定を結んでいて、仁済大学では韓国語短期留学研修制度がありますので、興味のある方は直接現地へ行って韓国の大学生と学んだり食べたりしながら交流すれば、急速に実力がアップします。今までに多くの先輩たちが韓国で貴重な体験をしてきています。さらに、現在茨城大学には韓国からの留学生も多いですので、留学生と交流しながら学ぶことも可能です。

さあ、「アンニョンハセヨ」からはじめましょう。

スペイン語を学ぼう！

スペイン語は、ローマ帝国の公用語であったラテン語から派生したロマンス諸語の一つです。発音と読み方は日本人にとって比較的容易で、ほぼ一回の授業でマスターできます。また、一度スペイン語の文法をマスターしてしまえば、他のロマンス諸語の言語、すなわちポルトガル語・イタリア語・フランス語などにも、その知識を応用することができます。

スペイン語はスペインと南北アメリカ大陸で広く用いられている言語で、その話者数は少なく見積もっても4億人を超えるといわれます。また近年では、アメリカ合衆国においてスペイン語圏に出自をもつ人々が増加しており、現代アメリカの文化や社会を知る上でも、スペイン語は欠かせない言語になりつつあります。

今、私たちは西洋文化に端を発する近代的世界に生きています。近代化やグローバリゼーションと呼ばれる現象は、いつ始まったのでしょうか？16世紀のスペイン人によるアメリカ大陸の征服・植民地化の時代に、その起源を置く説もあります。西洋の世界覇権は、のちにイギリス、オランダ、フランス、アメリカ合衆国などの国々に移りますが、南北アメリカ大陸は、今日に至るまでスペイン語が優勢な地域であり続けています。

スペイン語世界はとても広大であり、その文化や歴史は一枚岩ではありません。私たちはスペイン語を通じて、その多様な文的・歴史的世界に触れることができるようになります。例えばスペイン本国の文化は歴史的に、アラブ系・ユダヤ系文化の影響を強く受けてきました。またスペインの各地方には、カタルーニャ語やバスク語など、固有の歴史を持った言語文化が並存しています。

またスペイン語を学ぶことで、多様な中南米の文化に触れることもできます。かつて中米で栄華を誇ったマヤ文明・アステカ文明や、南米大陸を広く統治したインカ文明などのアメリカ大陸独自の文化、あるいは、カリブ海地域などに奴隷として連れてこられたアフリカ系の人々の人々によって育まれた文化などがそうです。

このようにスペイン語世界は、複数の文化が混交する驚異的な世界です。その多様な歴史・文化・地理について知ることで、皆さんは自らの知識や感覚を広げることができるはずです。

一番わかりやすいのは、食文化の豊かさでしょう。スペイン北部のバスク地方は、世界の料理人たちが腕を磨きにやってくる、食の一大中心地です。一方、地中海に面した地域は、パエリアに代表されるような魚介類をふんだんに用いた料理が有名です。また中南米では、スパイスの効いたメキシコ料理、インカ・ヨーロッパ・アジアの文化的交流の中から生まれたペルー料理、世界一洗練されたアルゼンチンのステーキなど、どこへ行っても美味しい食べ物に出会うことができます。

スペイン語は、こうした豊かなスペイン語世界へ皆さんを誘う、一種のパスポートとなるはずで
す。¡ Bienvenidos al mundo fantástico de español（驚異のスペイン語の世界へようこそ）！

学問分野コード
教育プログラムコード一覧

学問分野コード・教育プログラムコード一覧

● 学問分野コード一覧（アルファベット順）

コード	学問分野	英訳名			
AAG	代数幾何学	Algebra and geometry	BIO	生物学	Biology
AAS	水圏応用化学	Applied aquatic science	BIS	生物科学	Biological Science
ABE	建築学	Architecture and building engineering	BMS	生体分子科学	Biomolecular science
ABS	農学基礎科目	Agricultural Basic Subjects	BOA	境界農学	Boundary agriculture
AEE	建築環境・設備	Architectural environment/Equipment	BRS	脳科学	Brain sciences
AGC	農芸化学	Agricultural chemistry	BSM	建築構造・材料	Building structures/Materials
AGE	農業工学	Agro-engineering	CAM	文化財科学・博物館学	Cultural assets study and museology
AHD	建築史・意匠	Architectural history/Design	CBR	生物資源保全学	Conservation of biological resources
ALG	代数学	Algebra	CCC	土木材料・施工・建設 マネジメント	Civil engineering materials/ Construction/Construction management
ALS	動物生命科学	Animal life science	CEE	土木環境システム	Civil and environmental engineering
ANA	解析学	Analysis	CHC	漢文学	Chinese Classic
ANT	人類学	Anthropology	CHD	保育学	Child Development
APC	複合化学	Applied chemistry	CHE	化学	Chemistry
APM	応用数学	Applied Mathematics	CHI	中国語	Chinese
APP	応用物理学	Applied physics	CHS	子ども学	Childhood science
APS	畜産学	Animal Production Science	CIE	土木工学	Civil engineering
ARC	考古学	Archaeology	CLM	臨床医学	Clinical medicine
ARS	地域研究	Area studies	CMS	計算材料学	Computational Materials Science
ART	芸術学	Art studies	CNE	通信・ネットワーク工学	Communication/Network engineering
ASE	社会経済農学	Agricultural science in society and economy	COA	コンピュータ応用	Computer Application
AST	天文学	Astronomy	COE	制御工学/ 制御・システム工学	Control engineering
BAA	解析学基礎	Basic analysis	COM	コミュニケーション学	Communication
BAB	基礎生物学	Basic biology	COP	調理学実習	Cooking Practicum
BAC	基礎化学	Basic chemistry	COS	認知科学	Cognitive science
BAM	基礎医学	Basic medicine	CPS	計算機システム	Computer system
BAN	看護学	Basic nursing	CRC	異文化コミュニケーション	Cross-cultural communication
BIE	人間医工学	Biomedical engineering	CSC	計算科学	Computational science

CSN	コンピュータシステムとネットワーク	Computer Systems and Networks	FOI	情報学フロンティア	Frontiers of informatics
CTE	土木計画学・交通工学	Civil engineering project/Traffic engineering	FOS	食物学	Food Science
CTS	被服学	Clothing and Textile Science	FQS	量子基礎科学	Fundamental Quantum Science
CUA	文化人類学	Cultural anthropology	FRE	フランス語	French
CUL	栽培学	Cultivation	FRM	生活経営学	Family Resource Management
CUS	文化研究	Cultural studies	GEE	地盤工学	Geotechnical engineering
DEE	設計工学	Design engineering	GEL	地質学	Geology
DES	デザイン学	Design science	GEM	幾何学	Geometry
EAE	環境解析学	Environmental analyses and evaluation	GEN	ジェンダー	Gender
EAS	地学	Earth science	GEO	地理学	Geography
ECC	電気回路	Electric Circuit	GER	ドイツ語	German
ECO	経済学	Economics	GHS	グローバル化と人間社会	Globalization and Human society
EDS	教育科学	Educational science	GNS	ゲノム科学	Genome science
EDT	教育工学	Educational technology	GRE	ギリシア語	Greek
EDU	教育学	Education	GRT	卒業論文・卒業研究	Graduation thesis
ELC	電子回路	Electronic Circuit	HEE	家庭科教育学	Home Economics Education
ELD	電子デバイス・電子機器	Electron device	HII	ヒューマンインタフェース・インタラクション	Human interface and interaction
ELE	電気エネルギー	Electric Energy	HIS	歴史学	History
ELM	電子・電気材料工学	Electric materials	HLS	生活科学	Human life science
EMA	電磁気学	Electromagnetic	HOS	住居学	Housing Science
ENC	環境保全学	Environmental conservation	HSS	健康・スポーツ科学	Health/Sports science
ENE	エネルギー工学	Energy engineering	HUG	人文地理学	Human geography
ENG	英語	English	HUI	人間情報学	Human informatics
EPS	地球惑星科学	Earth and planetary science	HUM	ヒューマニティーズ	Humanities
EST	組込みシステム技術	Embedded System Technology	HYE	水工学	Hydraulic engineering
ETH	倫理学	Ethics	IBS	茨城学	Ibaraki Studies
EXP	実験（特別実験等）	Experiment	ICT	情報とコンピュータ	Information and Computer Technology
FFP	森林圏科学	Forest and forest products science	IFS	情報セキュリティ	Information security
FLE	流体工学	Fluid engineering	IIP	情報処理概論	Introduction to Information Processing
			INE	生産工学	Industrial engineering

INF	情報学	Informatics	MMP	材料組織・プロセス学	Materials Microstructure & Processing Engineering
INI	知能情報学	Intelligence Informatics	MOM	材料力学	Mechanics of Materials
INL	情報リテラシー	Information Literacy	MUD	マルチメディア・データベース	Multimedia database
INM	知能機械学	Intelligent mechanics	MUL	総合・複合分野	Multi
INS	学際科目・総合科目	Interdisciplinary Studies	NEH	自然・環境と人間	Nature, the Environment and the human Race
INT	インターンシップ	Internship	NEM	中性子材料科学	Neutron Materials Science
ISS	社会科学入門	Introduction to Social Science	NEU	神経科学	Neuroscience
JPN	日本語	Japanese	NMS	ナノ・マイクロ科学	Nano/Micro science
KOR	朝鮮語	Korean	NUE	原子力工学	Nuclear engineering
LAN	その他の語学	Language	OED	光・電子デバイス	Optical and Electric device
LAS	実験動物学	Laboratory animal science	ONC	腫瘍学	Oncology
LAW	法学	law	OPE	光工学	Optical engineering
LIN	言語学	Linguistics	PAA	パフォーマンス&アート	Performance and Art
LIT	文学	Literature	PCE	プロセス・化学工学	Process/Chemical engineering
LID	ライフデザイン	Life Design	PCI	情報科学基礎	Principles of Computer and Information Sciences
MAC	材料化学	Materials chemistry	PEA	生産環境農学	Plant production and environmental agriculture
MAE	材料工学	Material engineering	PHA	身体活動	Physical Activities
MAI	数理情報学	Mathematical informatics	PHI	哲学	Philosophy
MAN	経営学	Management	PHY	物理学	Physics
MAS	生産技術工学	Manufacturing Systems	PIP	知覚情報処理	Perceptual information processing
MAT	数学	Mathematics	PLS	プラズマ科学	Plasma science
MCI	情報数学	Mathematics for Computer and Information Sciences	POE	パワーエレクトロニクス	Power Electronics
MED	機械力学	Mechanical dynamics	POI	情報学基礎/計算基盤	Principles of Informatics
MEE	計測工学	Measurement engineering	POL	政治学	Politics
MEI	電子機能材料学	Materials Science for Electronic and Information Devices	PRA	実習（特別実習等）	Practice
MEW	金属加工学	Metal Working	PRE	プレゼンテーション	Presentation
MFE	機械機能要素	Machine functional elements	PSY	心理学	Psychology
MFP	数理物理・物性基礎	Mathematical physics/ Fundamental condensed matter physics			
MIT	経営情報技術	Management of Information Technology			

PUH	保健学演習	Public health
QBS	量子ビーム科学	Quantum beam science
RES	研究（特別研究等）	Research
RIS	リスク科学	Risk Science
SCH	学校保健学	School health
SED	環境創成学	Sustainable and environmental system development
SEM	構造工学・地震工学・維持管理工学	Structural engineering/ Earthquake engineering/ Maintenance management engineering
SFC	ソフトコンピューティング	Soft computing
SFH	健康の科学	Science for Health
SHS	科学社会学・科学技術史	Sociology/History of science and technology
SMI	演習・ゼミナール（特別演習、卒業論文関連ゼミナール、卒業研究ゼミナール、基礎演習、主題別ゼミナール等）	Seminars
SNT	養護実践学	School nurse teacher practice
SOC	社会学	Sociology
SOM	材料強度物性学	Strength of Materials
SPA	スペイン語	Spanish
SSS	社会・安全システム科学	Social/Safety system science
SST	ソフトウェア学	Software Science and Technology
STB	構造生物学	Structural Biology
STS	統計科学	Statistical science
TAP	都市計画・建築計画	Town planning/Architectural planning
TEE	技術英語	Technical English
THE	熱工学	Thermal engineering
TOS	観光学	Tourism Studies
WOW	木材加工学	Wood Working

● 教育プログラムコード一覧（アルファベット順）

コード	教育プログラム名
ACI	先進創生情報学教育研究プログラム
AIM	AIMS プログラム
ASP	総合原子科学プログラム
BSP	生物科学プログラム
CHP	化学プログラム
COC	COC 地域志向教育プログラム
COP	地域協創人材教育プログラム
EPP	地球惑星科学プログラム
ESP	地球科学技術者養成プログラム
FRP	食のリスク管理教育プログラム
GEP	グローバル英語プログラム
ILP	国際教養プログラム
INF	情報数理プログラム
ISB	学際理学Bプログラム
ISC	学際理学Cプログラム
ISE	学際理学Eプログラム
ISP	学際理学Pプログラム
JEP	日本語教育プログラム
LCP	地域課題の総合的探求プログラム
MAT	数学プログラム
NEP	原子力工学教育プログラム
NIP	根力育成プログラム
PHP	物理学プログラム
RSA	地域サステイナビリティ実践農学教育プログラム
RSC	地域サステイナビリティ学コース
RSP	地域サステイナビリティ学プログラム
SEP	サステイナビリティ学教育プログラム
QBS	量子線科学プログラム